

令和4年度
馬主に関する意識調査

令和5年3月
日本地方競馬馬主振興協会

目 次

はじめに	1
I 調査概要	2
II 調査結果要約	8
馬主について	10
地方競馬の実施事業について	15
幼駒の購入について	17
現役競走馬の購入について	20
所有馬の転厩について	23
引退後の利活用について	25
III 調査結果	30
馬主について	32
地方競馬の実施事業について	48
幼駒の購入について	54
現役競走馬の購入について	60
所有馬の転厩について	68
引退後の利活用について	74
地方競馬へのご意見やご要望	81
IV 巻末資料 調査票	84

はじめに

昨年、地方競馬の売得金額は暦年でのレコードを更新し、コロナ禍特需による後押しもあり多くのお客様に参加いただくとともに、賞典奨励費の増加も相まって馬主および競走馬の登録数も増加傾向にあります。そうした中で、昨年の6月と11月に芝とダートを両輪とする日本競馬の発展を目指し、地方競馬が主体となって「全日本的なダート競走の体系整備」を行うことが発表されました。3歳ダート三冠路線を中心とした体系整備のほか、2・3歳ダート短距離路線の整備、既存ダートグレード競走体系の総括的な見直しが行われ、地方競馬への注目がより一層高まっていくことが期待されます。

こうした期待に応えていくためには、地方競馬の魅力をより高めていくことが必要であり、そのためには強い馬づくり、競走体系の整備に加え、馬資源の有効活用を図っていくことが求められます。

そこで、日本地方競馬馬主振興協会では、地方競馬全国協会からの委託を受けて、地方競馬のさらなる活性化を図ることを目的のひとつとして、ばんえい競馬を除く地方競馬の馬主約5,500名を対象として地方競馬における馬主意向調査を実施し、その結果を本報告書にとりまとめました。

本報告書が、今後の馬資源の有効活用策を検討するための一助となることはもとより、地方競馬の発展へお役に立てれば幸甚です。

なお、本調査の実施に際しまして、ご指導とご助言を賜りました地方競馬全国協会と、調査にご協力いただきました全国12都道府県の地方競馬馬主会会員の皆様に、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

日本地方競馬馬主振興協会

I 調查概要

調査概要

1 調査対象

令和4年11月時点で、全国12の馬主会・馬主協会に馬主登録をされている5,509名が対象

※複数の馬主会・馬主協会に所属されている方がいるため、1名につき複数枚調査票を送付している場合がある

馬主会・馬主協会	北海道馬主会	岩手県馬主会	埼玉県馬主会	千葉県馬主会	東京都馬主会	神奈川県馬主協会
対象者(名)	333	649	432	526	1,012	631

馬主会・馬主協会	石川県馬主協会	岐阜県馬主会	愛知県馬主協会	兵庫県馬主協会	高知県馬主協会	佐賀県馬主会	合計
対象者(名)	295	107	155	628	287	454	5,509

2 調査期間

令和4年12月上旬に発送・令和5年1月13日(金)までに事務局に返送された調査票が対象

3 調査方法

郵送調査法

4 調査項目

馬主について	年齢	現役競走馬の購入について	現役競走馬の購入状況
	性別		購入する現役競走馬の年齢
	職業		購入する現役競走馬の所属
	業種		現役競走馬の購入方法
	軽種馬の生産、育成、販売等の 業務関係有無		購入する現役競走馬の平均的な価格帯
	所属している馬主会		現役競走馬を購入する魅力
	地方競馬の馬主歴		現役競走馬の販売希望馬情報の情報源
	馬主登録種別		現役競走馬の販売情報の提供状況
地方競馬所属の所有頭数 (専有の競走馬)	地方競馬所属の所有頭数 (共有の競走馬)	所有馬の転厩について	所有馬の転厩意向
			転厩させる場合の所有馬の継続所有意向
			転厩させる場合の相談相手
			地方競馬場の転入条件等の認知状況
			中央競馬から地方競馬に転入する際に 重視する点
			中央競馬から地方競馬に転入する際の 改善点
			クラブ法人(愛馬会)の会員登録状況 今後の競走馬所有意向
所有馬の引退後の利活用についての考え			
地方競馬の実施事業について	新しい競走体系についての興味	所有馬の引退後について	所有馬の引退後の相談相手
	新しい競走体系による入厩意向		繁殖に供したいと考えた場合の相談相手
	出走奨励金・褒賞金等の施策認知		乗馬に転用させたいと考えた場合の 対応方法
	優良2歳馬導入促進事業による入厩意向		乗馬に転用させたいと考えた場合の障害
	グランダム・ジャパンによる入厩意向		所有馬が乗馬に転用になった場合の関心
	国際競走出走奨励金による出走意向		地方競馬へのご意見やご要望
幼駒の購入について	幼駒の情報の取得方法		
	幼駒を購入する際の相談相手		
	幼駒を購入する際の購入方法		
	購入する幼駒の平均的な価格帯		
	幼駒を購入する際に実馬を見るか		
	幼駒の販売情報の提供状況		

5 対象者数と回収結果

発送数	回収数	回収率
5,509	1,209	21.9%

6 調査実施機関

株式会社日本リサーチセンター

本報告書を読む際の注意

1. n は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す、比率算出の基数である。
2. 数値結果 (%) は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないことがある。
3. 統計表等に用いた符号は以下のとおりである。
0.0 : 表章単位に満たないが、回答者がいるもの
- : 回答者がいないもの
4. 小計の値は、各選択肢の表章されたものを合算しているので、回答数を合算したものから算出した場合と一致しないことがある。

II 調查結果要約

馬主について

- ・全体で、70才以上が最も多く、男性が9割を占める
- ・馬主歴20年以上が36.8%で最も多く、個人馬主が9割
- ・馬主になろうと思った動機は「馬が好き」が最も高い
- ・地方競馬所属の所有頭数は、専有馬・共有馬ともに「2~4頭」が最も多い
- ・約半数が中央競馬にも登録しており、うち83.5%が中央競馬所属の専有馬、49.4%が共有馬を所有
- ・今後の競走馬所有継続意向は7割

年齢

- ▶『全体』で「70才以上」(34.7%)が最も高く、「60代以上」が全体の約6割を占めている。回答者に「20代」はいなかった。
- ▶多くの馬主会で、「60代以上」が半数を超えているが、『高知県馬主協会』は「50代以下」が半数を超えている。

	N	年齢							20~50代		60代以上
		20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答	(%)	(%)	(%)
全体	1,209	3.1	15.9	21.9	23.8		34.7	0.6	40.9	58.5	

性別

- ▶『全体』で「男性」が90.2%を占めており、「女性」は8.8%。
- ▶いずれの馬主会も、「男性」が約9割を占めている。

	N	性別		
		男性	女性	無回答
全体	1,209	90.2	8.8	1.1

職業

- ▶『全体』で「会社役員」が半数を占める。
- ▶いずれの馬主会も、「会社役員」が半数を占め、『東京都馬主会』(58.0%)で特にその割合が高い。

	N	職業								
		会社役員	自営業	会社員	自由業	公務員	その他	無回答		
全体	1,209	50.0			30.7	7.7	2.7	7.7	0.3	0.9

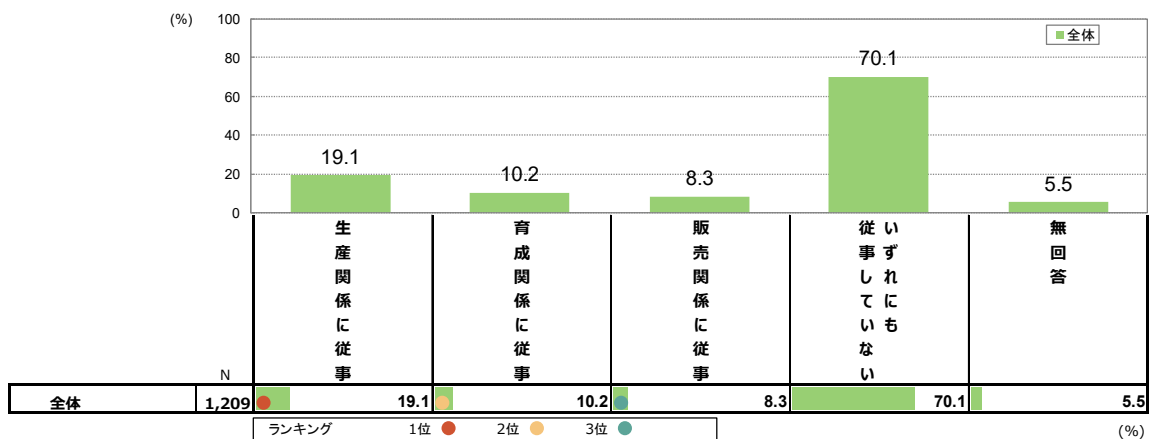
業種

- ▶ 「自営業」または「会社役員」のうち、最も多い業種は、「サービス業」(22.7%)。
- ▶ いずれの年代も「サービス業」が最も多く、年代が下がるほど多い。
- ▶ 『北海道馬主会』は「農林水産業」、『千葉県馬主会』、『高知県馬主協会』は「建設業」、それ以外の馬主会は「サービス業」が最も多い。

N	業種 (%)								
	サービス業	建設業	農林水産業	不動産業	卸売・小売業	製造業	その他	無回答	
全体	975	22.7	13.9	13.8	13.4	10.2	6.6	18.6	0.8

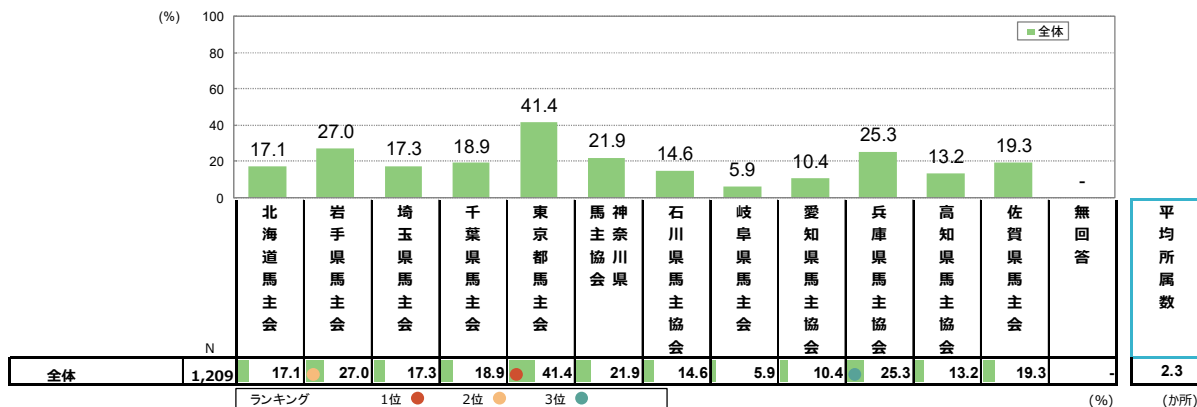
軽種馬の生産、育成、販売等の業務関係有無

- ▶ 『全体』で「生産関係に従事」が19.1%、「育成関係に従事」が10.2%、「販売関係に従事」が8.3%、「いずれにも従事していない」が70.1%。
- ▶ いずれの年代も「生産関係に従事」が2割前後で、「いずれにも従事していない」が7割。
- ▶ 『北海道馬主会』は「生産関係に従事」が4割を超えることから、軽種馬の生産、育成、販売等の業務の関係者が多いことが窺える。



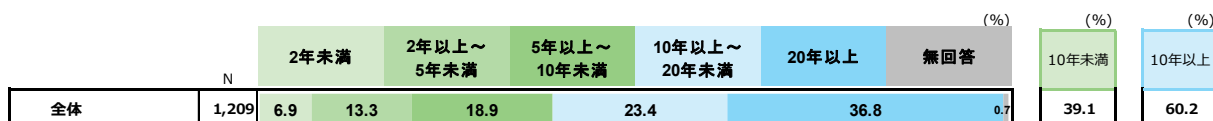
所属している馬主会

- ▶ 所属している馬主会の数は平均 2.3 か所。
- ▶ その中でも、『50代』は平均 2.5 か所で最も多い。
- ▶ 馬主会別では、『岐阜県馬主会』所属者は平均 5.2 か所で、複数所属者が多いことが窺える。



地方競馬の馬主歴

- ▶ 『全体』で馬主歴「20年以上」(36.8%)が最も多い。
- ▶ 『70代以上』では、馬主歴「20年以上」が7割を占め、長期継続している人が多い。
- ▶ 『岐阜県馬主会』は、馬主歴「10年以上」が73.2%で、他の馬主会と比べて最も高い。



馬主登録種別

- ▶ 『全体』で「個人馬主」が90.6%、「法人馬主」が12.0%、「組合馬主」が1.4%。
- ▶ 年代別、馬主会別でも、「個人馬主」が約9割を占める。



地方競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）

- ▶ 地方競馬所属の専有馬は、『全体』の9割が所有。所有頭数は「2～4頭」(33.9%)が最も多い。
- ▶ いずれの年代も「2～4頭」の所有頭数が最も多く、所有率が最も高いのは『70代以上』(90.7%)。
- ▶ 『岐阜県馬主会』の約4人に1人(26.8%)は「20頭以上」を所有。



地方競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）

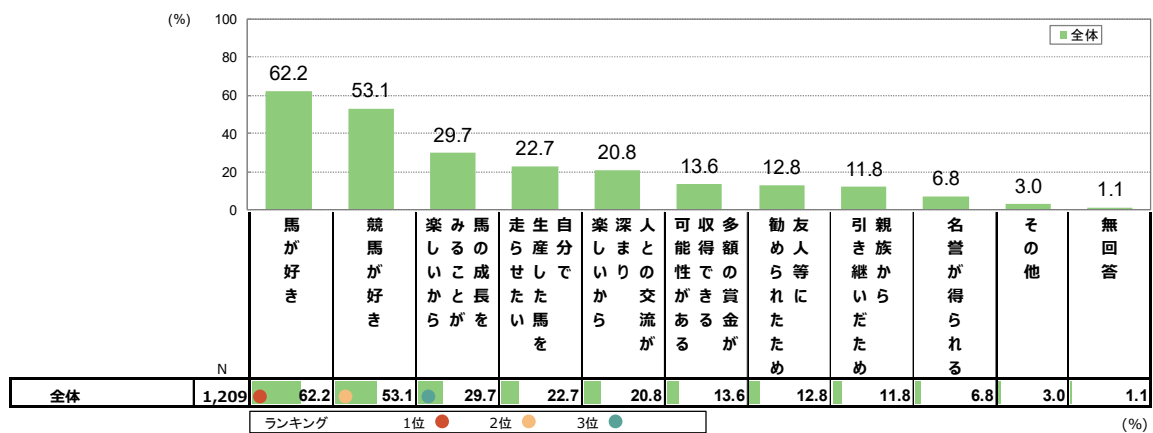
- ▶ 地方競馬所属の共有馬は、『全体』の3割強が所有。所有頭数は「2～4頭」(14.6%)が最も多い。
- ▶ いずれの年代も「2～4頭」が最も多く、年代が下がるほど、所有率は上がる傾向。
- ▶ 共有馬の所有率が最も高いのは、『岐阜県馬主会』(47.9%)。

調査結果要約

N	(%)						(%)		(%)		(%)
	1頭	2~4頭	5~9頭	10~14頭	15~19頭	20頭以上	現在はいない	無回答	10頭未満	10頭以上	所有あり計
全体	1,209	12.2	14.6	4.1	1.2	0.4	60.1	7.1	31.0	1.7	32.8

馬主になろうと思った動機

- ▶ 『全体』で「馬が好き」(62.2%)が最も高く、以下「競馬が好き」(53.1%)、「馬の成長をみるのが楽しいから」(29.7%)などの順。
- ▶ いずれの年代も「馬が好き」が最も高く、「競馬が好き」、「多額の賞金が取得できる可能性がある」、「名誉が得られる」は、年代が下がるほど高い。
- ▶ 『高知県馬主協会』は「競馬が好き」、そのほかの馬主会は「馬が好き」が最も高い。
- ▶ 『北海道馬主会』は、唯一「自分で生産した馬を走らせたい」が4割を超えている。



中央競馬の馬主登録の有無

- ▶ 『全体』の48.7%が、中央競馬の馬主登録者。
- ▶ 『30~40代』は35.7%、それ以上の年代は約半数が中央競馬の馬主に登録。
- ▶ 馬主会別では、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』がともに63.8%で登録率が最も高い。

N	(%)			
	登録をしている	登録をしていない	無回答	
全体	1,209	48.7	50.3	1.0

中央競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）

- ▶中央競馬の馬主登録者『全体』のうち、83.5%が中央競馬の専有馬を所有。「2～4頭」の所有者が最も多い。
- ▶いずれの年代も、「2～4頭」の所有が最も多い。所有率が最も高いのは、『70代以上』（88.9%）。
- ▶いずれの馬主会も、「2～4頭」の所有が最も多い。所有率が最も高いのは、『兵庫県馬主協会』（91.2%）。

N	1頭							2～4頭		5～9頭			10～14頭			15～19頭			20頭以上			現在はいない		無回答		10頭未満		10頭以上		所有あり計	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			
全体	589	22.8			32.9			16.6		4.2	1.5	5.4		14.4	2.0											72.3		11.2		83.5	

中央競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）

- ▶中央競馬の馬主登録者のうち、49.4%が中央競馬の共有馬を所有。「2～4頭」の所有者が最も多い。
- ▶いずれの年代も、「2～4頭」の所有が最も多い。所有率が最も高いのは、『50代』（55.5%）。
- ▶いずれの馬主会も、「2～4頭」の所有が最も多い。所有率が最も高いのは、『石川県馬主協会』、『高知県馬主協会』（ともに58.1%）。

N	1頭		2～4頭		5～9頭		10～14頭		15～19頭		20頭以上		現在はいない		無回答		10頭未満		10頭以上		所有あり計								
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)							
全体	589	14.9		23.8		8.5	1.5	0.5	0.2			44.5				6.1									47.2		2.2		49.4

クラブ法人（愛馬会）の会員登録状況

- ▶『全体』の23.7%が、クラブ法人（愛馬会）会員。
- ▶年代別では、年代が下がるほど会員率が高く、『30～40代』で最も高い（33.0%）。
- ▶馬主会別では、会員率が最も高いのは、『兵庫県馬主協会』（31.0%）。

N	会員になっている		会員になっていない		無回答	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	1,209	23.7		58.6		17.7

今後の競走馬所有意向

- ▶『全体』の70.1%が、今後も競走馬を所有する意向（馬主を続けていこうと考えている）。
- ▶『60代以下』の所有意向は7割台だが、『70代以上』は6割台で、所有意向がやや低い。
- ▶馬主会別では、所有意向が最も高いのは、『高知県馬主協会』（77.5%）。

N	馬主を続けていこうと考えている		馬主をやめようと考えている		何とも言えない		無回答	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	1,209	70.1		2.4		12.0		15.6

地方競馬の実施事業について

- ・新しい競走体系について、約 6 割が興味を持っており、それにより、約半数が入厩意向があると回答
- ・施策については、3 人に 1 人が「いずれも知らない」と回答
- ・優良 2 歳馬導入促進事業など、各施策による入厩意向や出走意向は、年代が下がるほど意向が高い傾向

新しい競走体系についての興味

- ▶『全体』の約 6 割が、興味あり（興味あり・計）と回答。
- ▶年代別では、『50 代以下』で興味がある傾向。
- ▶馬主会別で、最も興味が高いのは『高知県馬主協会』（70.0%）。

N	興味						計	
	とても興味がある	少し興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	全く興味がない	無回答	興味あり・計	興味なし・計
全体	1,209	33.4	28.5	22.5	10.8	3.7	62.0	14.6

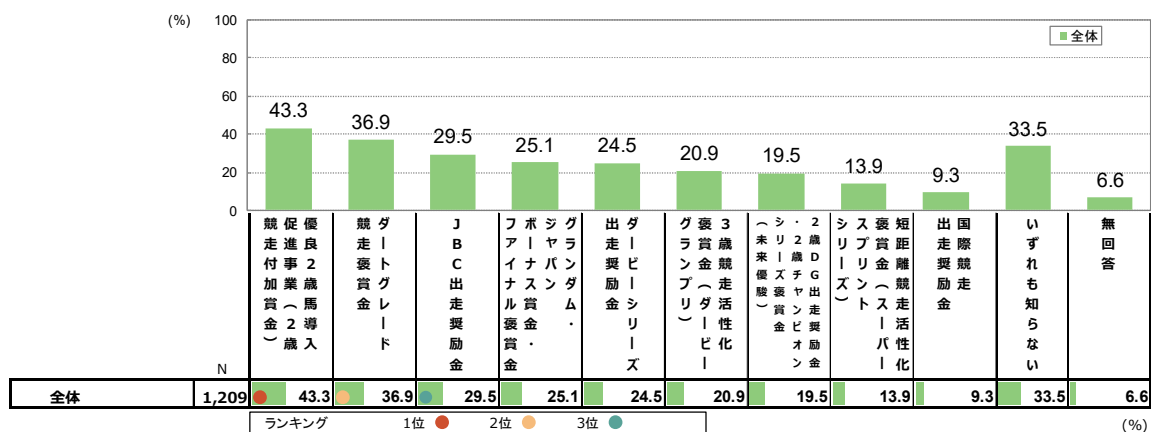
新しい競走体系による入厩意向

- ▶『全体』の 48.5%が、入厩意向あり（思う・計）と回答。
- ▶年代別では、『30～40 代』で「とてもそう思う」（22.6%）が高い。
- ▶所属馬主会別で、入厩意向が最も高いのは『千葉県馬主会』（57.6%）。

N	入厩意向						計	
	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	思う・計	思わない・計
全体	1,209	13.4	35.1	33.4	10.8	5.0	48.5	15.8

出走奨励金・褒賞金等の施策認知

- ▶『全体』で「優良 2 歳馬導入促進事業」（43.3%）の認知率が最も高い。一方、「いずれも知らない」は 33.5%で、3 人に 1 人は「いずれも知らない」という結果。
- ▶いずれの年代も、「優良 2 歳馬導入促進事業」の認知が最も高い。『30～40 代』は「グランダム・ジャパン ボーナス賞金・ファイナル褒賞金」の認知が高い。
- ▶いずれの馬主会も、「優良 2 歳馬導入促進事業」の認知が最も高く、中でも認知率が最も高いのは『岐阜県馬主会』（60.6%）。



優良2歳馬導入促進事業による入厩意向

- ▶『全体』の67.0%が、入厩意向あり(思う・計)と回答。
- ▶年代別では、年代が下がるほど、入厩意向が高い。
- ▶所属馬主会別で、最も入厩意向が最も高いのは『岐阜県馬主会』(76.1%)。

N	意向						計	
	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	思う・計	思わない・計
全体	22.7		44.3		21.0	6.8	67.0	8.9

グランダム・ジャパンによる入厩意向

- ▶『全体』の51.9%が、入厩意向あり(思う・計)と回答。
- ▶年代別では、年代が下がるほど、入厩意向が高い。
- ▶所属馬主会別で、最も入厩意向が最も高いのは『北海道馬主会』(65.2%)。

N	意向						計	
	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	思う・計	思わない・計
全体	14.1	37.9		32.5	9.0	3.1	51.9	12.1

国際競走出走奨励金による出走意向

- ▶『全体』の37.6%が、出走意向あり(思う・計)と回答。
- ▶年代別では、年代が下がるほど、出走意向が高い。
- ▶所属馬主会別で、出走意向が最も高いのは『神奈川県馬主協会』(44.5%)。

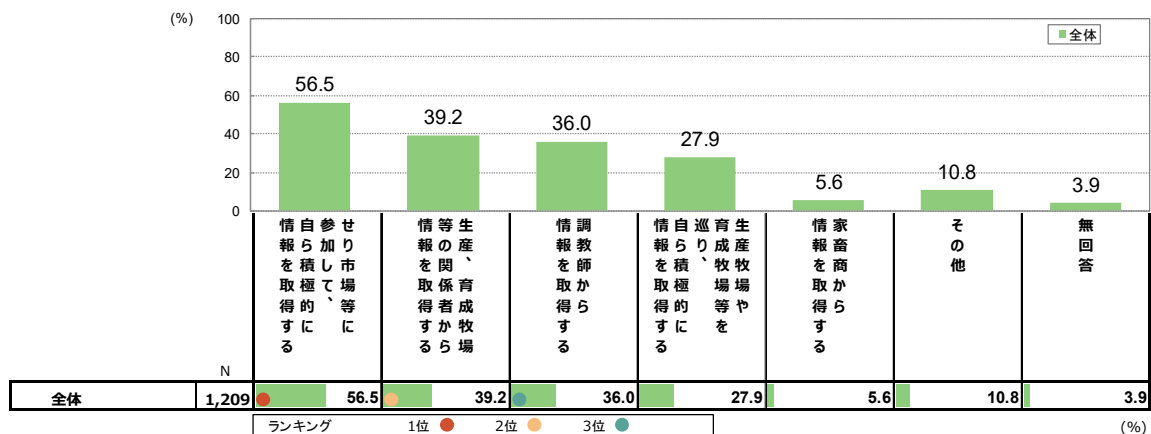
N	意向						計	
	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	思う・計	思わない・計
全体	10.2	27.5		32.6	16.2	10.0	37.6	26.2

幼駒の購入について

- ・約半数が「せり市場等」で幼駒情報を取得しており、購入方法としても「せり市場等」が最多
- ・幼駒を購入する際の相談相手は「調教師」が最も多い
- ・幼駒の購入金額帯は「100万～300万円未満」がボリュームゾーンで、半数が「必ず見て購入」をすると回答
- ・幼駒の販売情報の提供が、不十分だと回答した人のほうが、十分と回答した人より多い

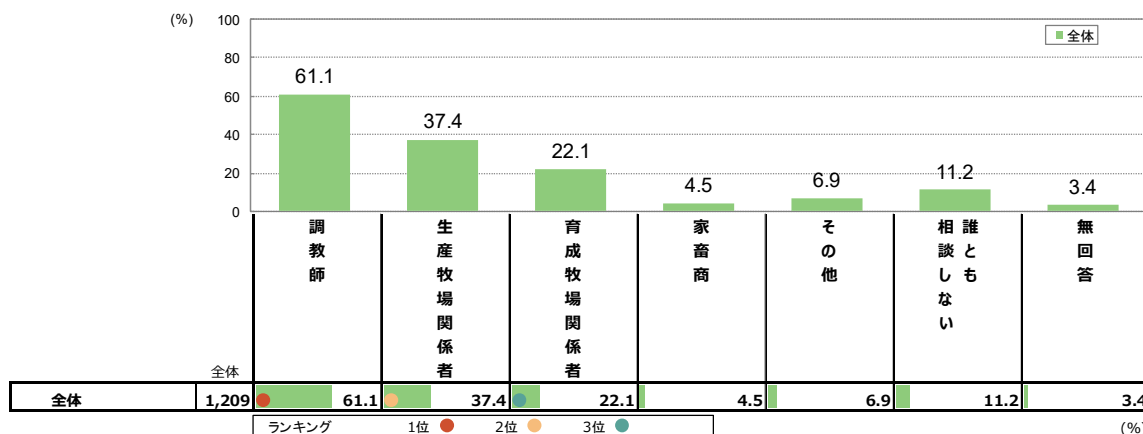
幼駒の情報の取得方法

- ▶ 『全体』で「せり市場等に参加して、自ら積極的に情報を取得する」(56.5%)が最も高い。
- ▶ いずれの年代も、「せり市場等に参加して」が最も高く、『50代以下』で特に高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「せり市場等に参加して」が最も高く、『岐阜県馬主会』で特に高い。
- ▶ 『北海道馬主会』は、唯一「生産牧場や育成牧場等を巡る」が4割を超えている。



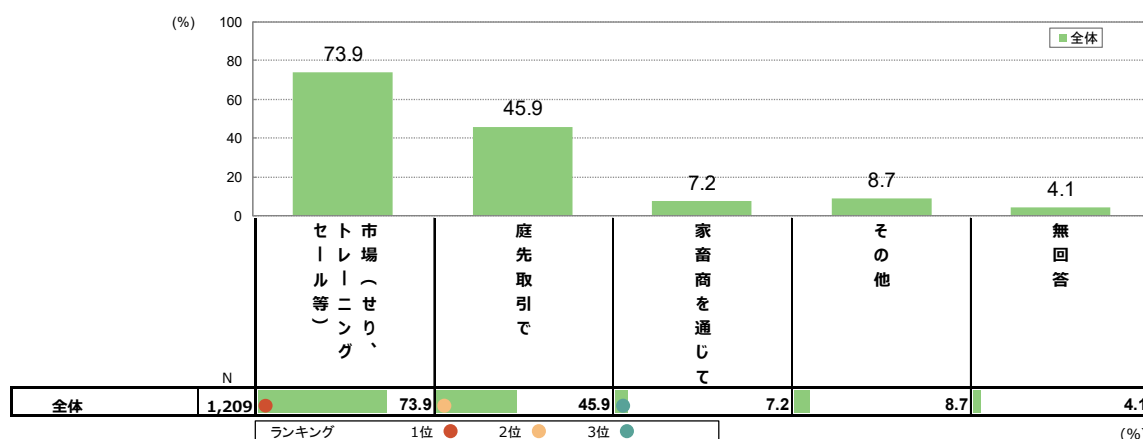
幼駒を購入する際の相談相手

- ▶ 『全体』で「調教師」(61.1%)が最も多い。
- ▶ いずれの年代も、「調教師」が最も高く、『50代以下』で特に高い。
- ▶ 『北海道馬主会』は「生産牧場関係者」(48.8%)が最も高い。その他の馬主会では「調教師」が最も高い。



幼駒を購入する際の購入方法

- ▶ 『全体』で「市場（せり、トレーニングセール等）」（73.9%）が最も高い。
- ▶ いずれの年代も、「市場」が最も高く、『30～40代』で特に高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「市場」が最も高く、『岐阜県馬主会』で特に高い。



購入する幼駒の平均的な価格帯

- ▶ 『全体』で「100万～300万円未満」（31.2%）が最も高い。
- ▶ 『70代以上』は「300万～500万円未満」、その他の年代は「100万～300万円未満」が最も高く、年代が上がるほど、500万円以上の高額な価格帯の比率が高くなる。
- ▶ 『高知県馬主協会』は「100万～300万円未満」、その他の馬主会は「300万～500万円未満」が最も高い。『東京都馬主会』、『兵庫県馬主協会』は、「500万円以上」が4割を超えている。



幼駒を購入する際に実馬を見るか

- ▶ 『全体』で「必ず見て購入している」(50.6%)が最も高く、「その時々による」(31.5%)が続く。
- ▶ いずれの年代も、「必ず見て購入している」が最も高く、年代が下がるほど高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「必ず見て購入している」が最も高く、『北海道馬主会』は特に高い。

	N	(%)					
		必ず見て購入している	その時々による	あまり見ないで購入している	全く見ないで購入している	無回答	
全体	1,209	50.6		31.5	7.3	5.5	5.0

幼駒の販売情報の提供状況

- ▶ 『全体』で、情報提供が不十分と回答した人(思わない・計)は29.2%で、十分と回答した人(思う・計)(27.0%)を上回っている。
- ▶ 年代別では『60代以下』で、不十分だと思う人のほうが多い。
- ▶ 所属馬主会別では、『北海道馬主会』、『東京都馬主会』以外は、不十分だと思う人のほうが多い。

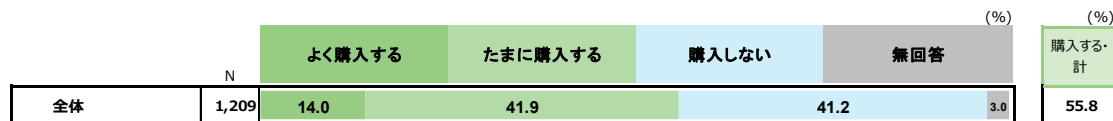
	N	(%)						(%)		(%)	
		とても思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答	思う・計	思わない・計		
全体	1,209	2.5	24.6	39.9		25.1	4.1	3.9	27.0	29.2	

現役競走馬の購入について

- ・全体の 55.8%が現役競走馬を購入すると回答
- ・購入する現役競走馬の年齢は「3歳」が最も多く、所属は「中央・地方どちらでも」購入している
- ・購入方法は「ネットオークション」が最も多く、年代が下がるほど高い
- ・現役競走馬の購入価格帯は「100万～200万円未満」がボリュームゾーン
- ・現役競走馬を購入する魅力は、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」
- ・現役競走馬の販売情報源は、全体で「ネットオークション」が最も多いが、70代以上では「地方競馬調教師」が最も多い
- ・現役競走馬の販売情報の提供も、不十分だと回答した人のほうが、十分と回答した人より多い

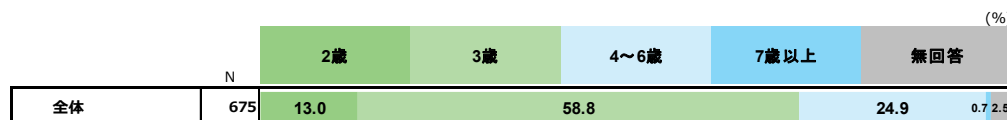
現役競走馬の購入状況

- ▶『全体』の 55.8%が現役競走馬を購入する（購入する・計）と回答。
- ▶『30～40代』は約7割が購入しており、他の年代と比べて高い。
- ▶『高知県馬主協会』は、7割強が購入しており、特に高い。



購入する現役競走馬の年齢

- ▶現役競走馬を購入する人の購入馬の年齢は、「3歳」（58.8%）が最も多く、年代別、馬主会別でも、同様の結果となった。



購入する現役競走馬の所属

- ▶現役競走馬を購入する人の購入馬の所属は、「中央・地方競馬の所属のどちらでも」（47.4%）が最も高く、以下「中央競馬」は 37.8%、「地方競馬」は 13.8%。地方競馬の競馬場名には、「南関東や北海道（門別）」などが挙がっている。
- ▶年代別、馬主会でも、「中央・地方競馬の所属のどちらでも」が最も高い。



現役競走馬の購入方法

- ▶現役競走馬の購入方法は、「ネットオークションを通じて」(46.2%) が最も多い。
- ▶『60代以下』は「ネットオークションを通じて」、『70代以上』は「調教師等を介して」が最も高い。「ネットオークションを通じて」は年代が下がるほど高く、「調教師等を介して」は年代が上がるほど高い。
- ▶いずれの馬主会も、「ネットオークションを通じて」が最も高く、特に『岩手県馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』は、5割を超えている。

N	購入方法 (%)					無回答 (%)
	ネットオークションを通じて	調教師等を介して	馬主と直接交渉して	家畜商を通じて	その他	
全体	675	46.2		34.2	12.0	3.7 2.5 1.3

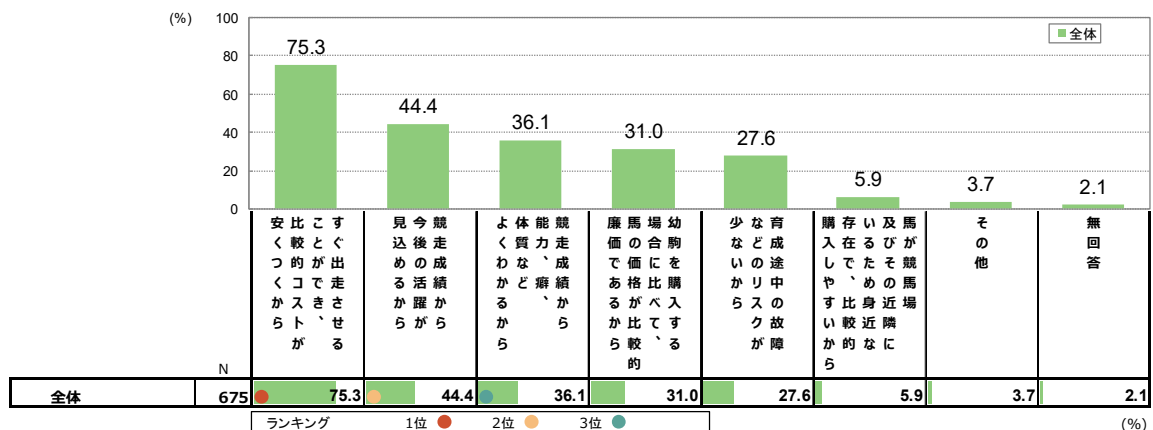
購入する現役競走馬の平均的な価格帯

- ▶現役競走馬を購入する際の平均価格は、「100万～200万円未満」(39.0%) が最も高い。
- ▶『60代以下』では、「100万～200万円未満」が最も多いが、『70代以上』は「200万円以上」が約半数を占めている。
- ▶いずれの馬主会も、「100万～200万円未満」が最も多い。

N	価格帯 (%)							200万円以上 (%)
	50万円未満	50万～100万円未満	100万～200万円未満	200万～300万円未満	300万～500万円未満	500万～1,000万円未満	1,000万円以上	
全体	675	4.1	20.6	39.0	21.5	9.3	3.4 1.0 1.0	35.3

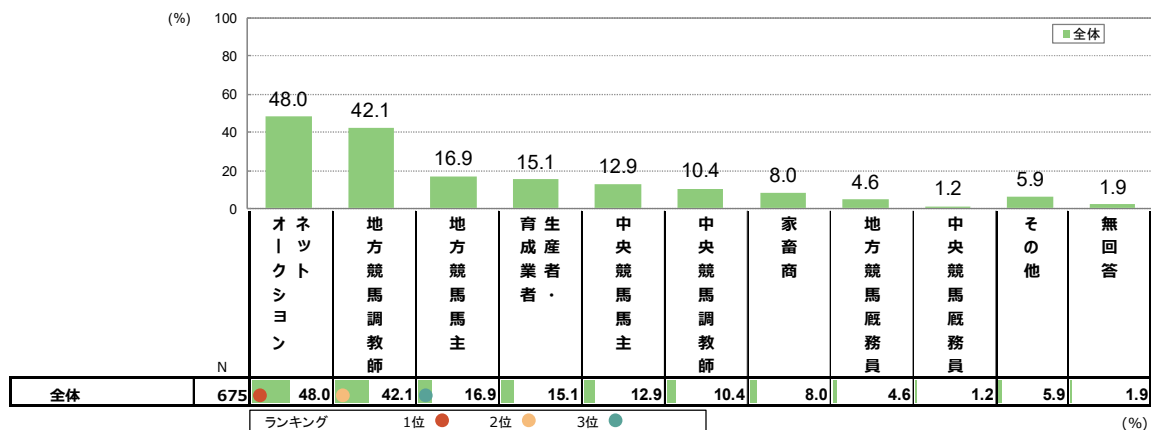
現役競走馬を購入する魅力

- ▶現役競走馬を購入する魅力は、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」(75.3%) が最も高い。
- ▶いずれの年代も、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」が最も高い。『50代以下』では、「競走成績から能力、癖、体質などよくわかるから」も高い。
- ▶いずれの馬主会も、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」が最も高い。



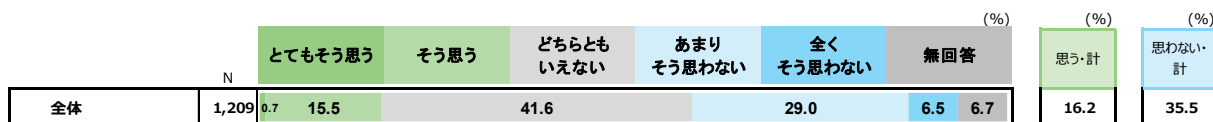
現役競走馬の販売希望馬情報の情報源

- ▶ 『全体』で「ネットオークション」(48.0%)が最も高い。
- ▶ 『60代以下』は「ネットオークション」、『70代以上』は「地方競馬調教師」が最も高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「ネットオークション」が最も高く、『高知県馬主協会』で特に高い。



現役競走馬の販売情報の提供状況

- ▶ 『全体』で、情報提供が不十分だと回答した人(思わない・計)は35.5%で、十分だと回答した人(思う・計)(16.2%)を上回っており、年別、馬主会別にみても、同様の結果となった。



所有馬の転厩について

- ・所有馬の転厩意向について、“転厩させたくない”人の方が多い
- ・転厩させた場合でも、半数は「引き続き馬主として所有する」と回答
- ・転厩させる場合の相談相手は「管理調教師」が最も高い
- ・転入条件の認知は39.5%。約6割は転入条件が分からないと回答
- ・中央競馬から地方競馬へ転入させる場合に重視する点は、「厩舎関係者の人材」が最も多く、改善点は「本賞金」が最も多い

所有馬の転厩意向

- ▶『全体』で、所有馬を“転厩させたくない”人（40.7%）の方が多い。
- ▶年代別では、“転厩させたい”は、年代が下がるほど高い。
- ▶『埼玉県馬主会』、『東京都馬主会』、『兵庫県馬主協会』は、所有馬を“転厩させたくない”人のほうが多い。

N	意向					計		
	積極的に 転厩させたい	転厩させたい	どちらとも いえない	あまり転厩 させたくない	転厩 させたくない	無回答	転厩させ たい計 (%)	転厩させ たくない計 (%)
全体	1,209	10.3	17.0	31.1	31.3	9.3	27.3	40.7

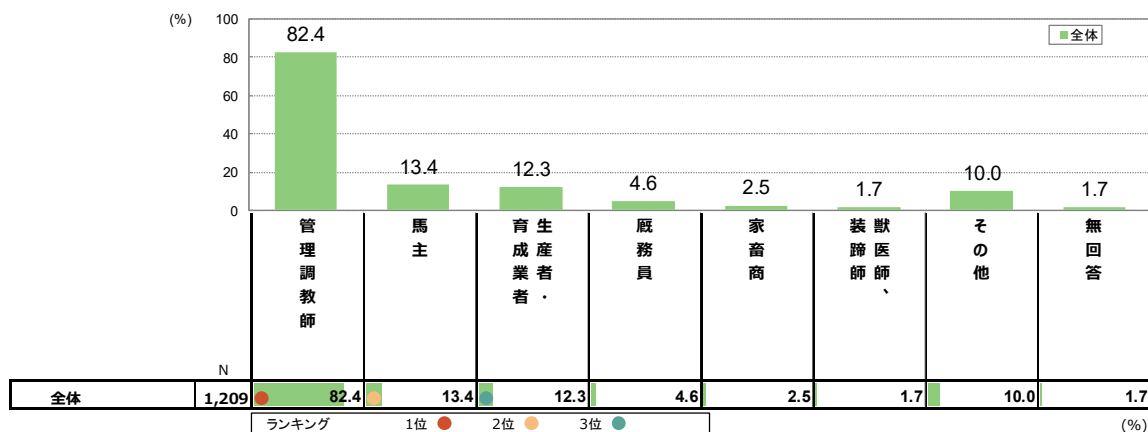
転厩させる場合の所有馬の継続所有意向

- ▶『全体』で「引き続き馬主として所有する」（54.0%）が最も高い。
- ▶いずれの年代も、「引き続き馬主として所有する」が最も高い。「他場に転厩させる場合は転売する」は、年代が上がるほど高い。
- ▶いずれの馬主会も、「引き続き馬主として所有する」が最も高い。

N	意向			
	引き続き馬主 として所有する	その時々による	他場に転厩させる 場合は転売する	無回答
全体	1,209	54.0	39.2	5.2

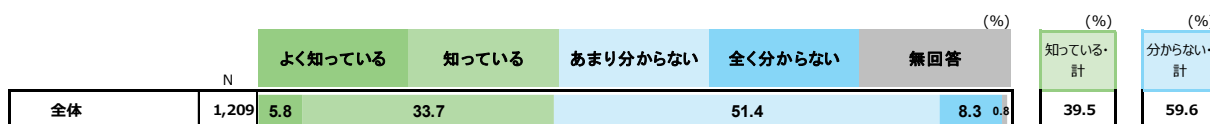
転厩させる場合の相談相手

- ▶相談相手としては、『全体』で「管理調教師」（82.4%）が最も多く挙げられ、年代別、馬主会別で見ても、最も多かった。



地方競馬場の転入条件等の認知状況

- ▶ 『全体』で、知っている（知っている・計）が39.5%、分からない（分からない・計）が59.6%となっており、転入条件を”分からない”人のほうが多い。
- ▶ いずれの年代も、”分からない”人のほうが多い。
- ▶ 『北海道馬主会』、『岩手県馬主会』、『埼玉県馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『高知県馬主協会』は、”知っている”人のほうが多い。



中央競馬から地方競馬に転入する際に重視する点

- ▶ 中央競馬の馬主登録者『全体』で「厩舎関係者の人材」（36.7%）が最も高い。
- ▶ 『50代』は「本賞金」、それ以外の年代は「厩舎関係者の人材」が最も高く、「厩舎関係者の人材」は、年代が上がるほど高い。
- ▶ 『岐阜県馬主会』は「本賞金」、その他の馬主会は「厩舎関係者の人材」が最も高い。



中央競馬から地方競馬に転入する際の改善点

- ▶ 中央競馬の馬主登録者『全体』で「本賞金」（39.6%）が最も高い。
- ▶ いずれの年代も、「本賞金」が最も高く、年代が下がるほど高い。
- ▶ 『高知県馬主協会』は「出走手当」、その他の馬主会は、「本賞金」が最も高い。

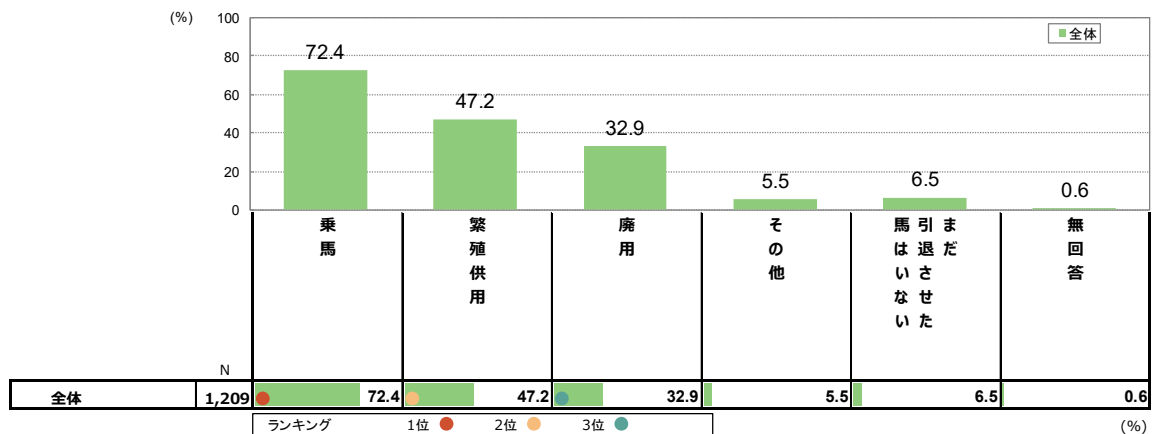


引退後の利活用について

- ・所有馬の引退後の利活用状況は、「乗馬」が最も多く、今後も「できるだけ乗馬に転用したい」と考えている人が多い
- ・引退後の相談相手は、「調教師」が最も多く、繁殖に供したいと考えた場合の相談相手も「調教師」が最多
- ・乗馬に転用させたい場合は、「調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」が最も多い
- ・乗馬に転用させる際に、障害だったことは「馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった」
- ・乗馬に転用された後の関心は、58.4%が関心があると回答

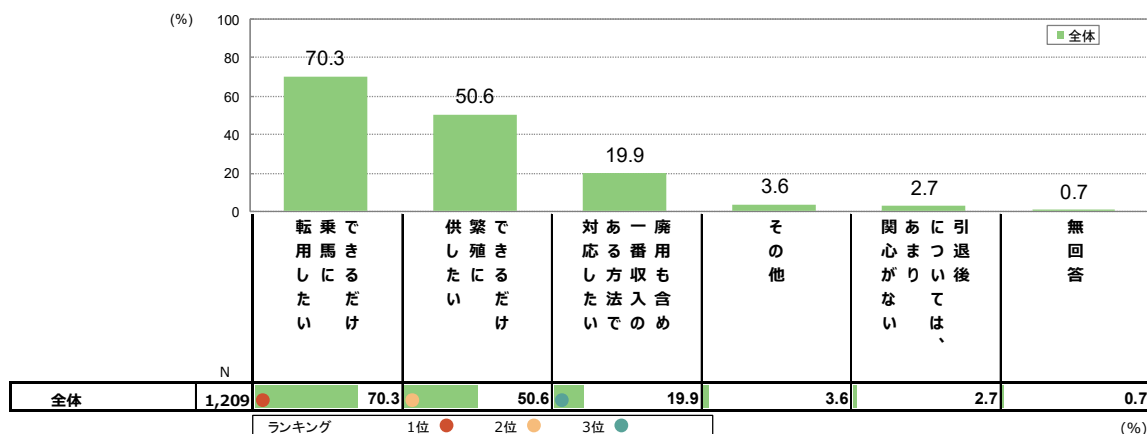
所有馬の引退後の利活用状況

- ▶ 『全体』で「乗馬」(72.4%) が最も高い。
- ▶ いずれの年代も、「乗馬」が最も高い。「繁殖供用」は、年代が上がるほど高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「乗馬」が最も高い。



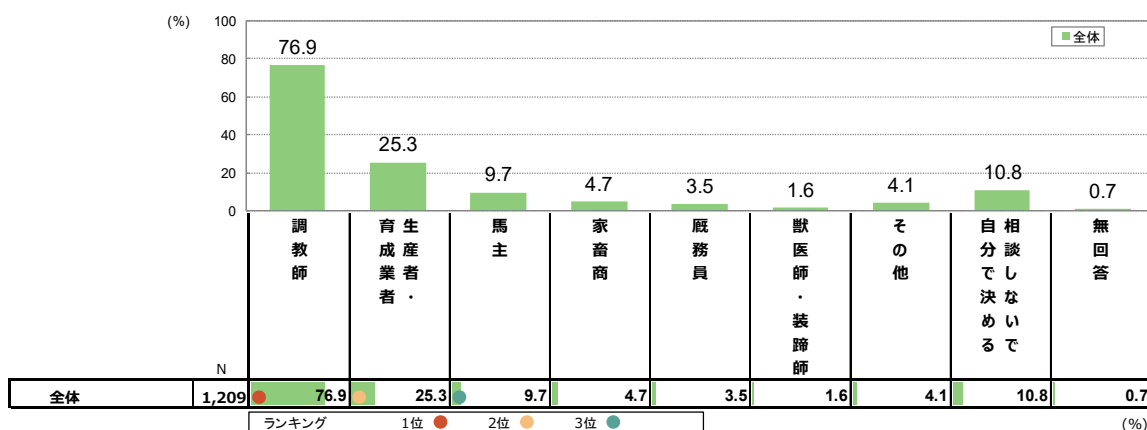
所有馬の引退後の利活用についての考え

- ▶ 『全体』で「できるだけ乗馬に転用したい」(70.3%) が最も高い。その他の自由回答では「養老牧場」などが挙げられている。
- ▶ いずれの年代も、「できるだけ乗馬に転用したい」が最も高い。「できるだけ繁殖に供したい」は、年代が下がるほど高い。
- ▶ 『北海道馬主会』は「できるだけ繁殖に供したい」(62.3%) が最も高く、その他の馬主会は「できるだけ乗馬に転用したい」が最も高い。



所有馬の引退後の相談相手

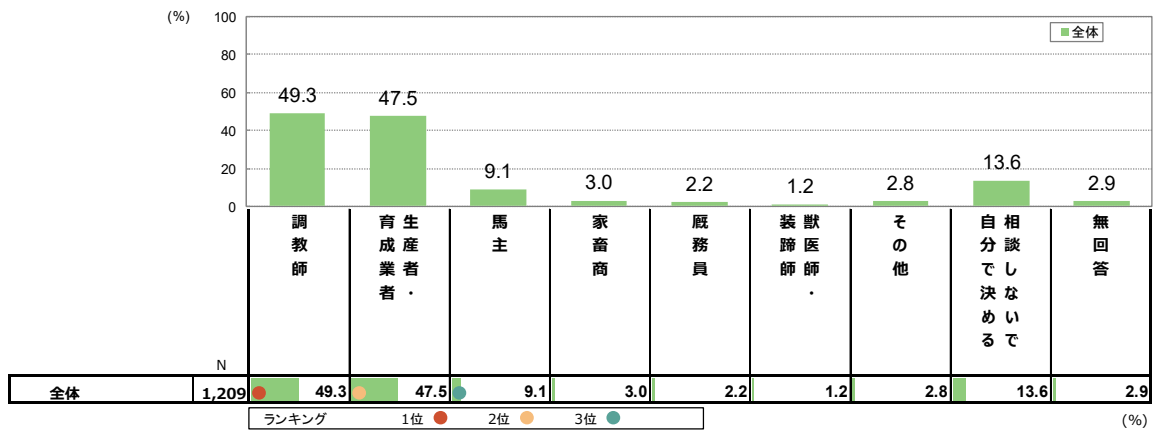
- ▶ 『全体』で「調教師」(76.9%)が最も高い。
- ▶ いずれの年代も、「調教師」が最も高い。「馬主」は、年代が下がるほど高い。
- ▶ いずれの馬主会も、「調教師」が最も高い。



繁殖に供したいと考えた場合の相談相手

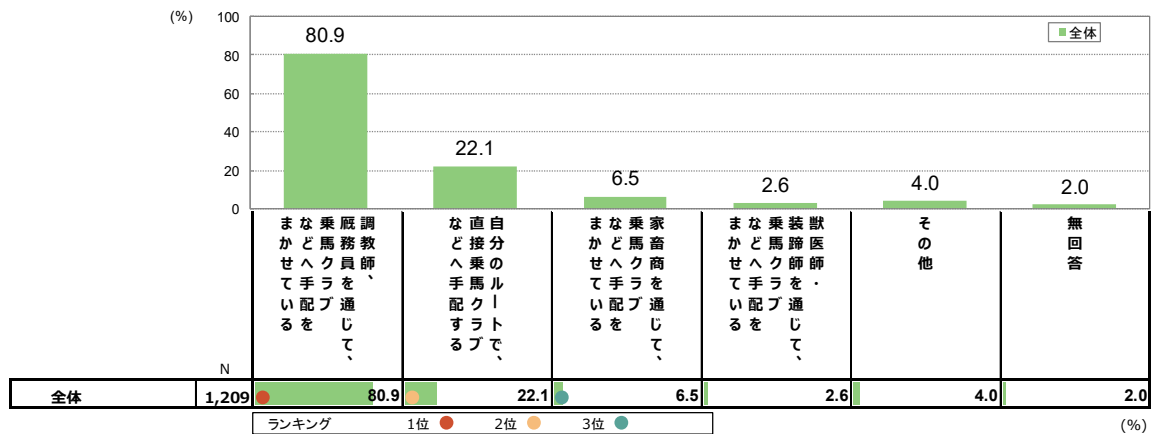
- ▶ 『全体』で「調教師」(49.3%)が最も高い。「相談しないで自分で決める」は13.6%。
- ▶ 『50代以下』は「生産者・育成業者」、『60代以上』は「調教師」が最も高い。年代が下がるほど、「生産者・育成業者」が高い。
- ▶ 『愛知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』は「調教師」が最も高く、その他の馬主会は「生産者・育成業者」が最も高い。
- ▶ 『北海道馬主会』は、「相談しないで自分で決める」が25.6%で、4人に1人は相談せずに、自分で決めている。

調査結果要約



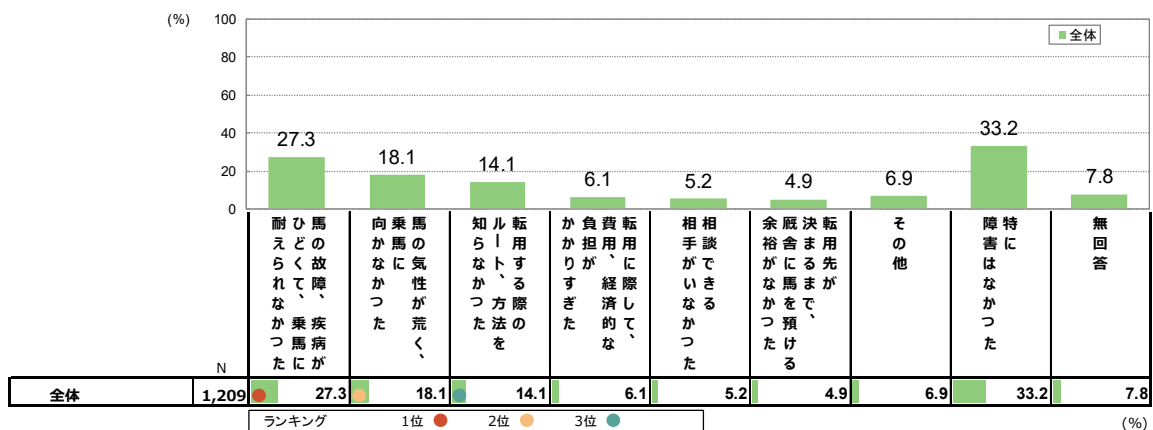
乗馬に転用させたいと考えた場合の対応方法

▶ 『全体』で「調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」(80.9%) が最も多く、年代別、馬主会別でも最も多かった。



乗馬に転用させたいと考えた場合の障害

▶ 『全体』で「馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった」(27.3%) が最も多く、年代別、馬主会別でも最も多かった。



所有馬が乗馬に転用になった場合の関心

- ▶ 『全体』の58.4%が関心がある（関心がある・計）と回答。
- ▶ 年代別では、『50代以下』は関心が高い。
- ▶ 『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『愛知県馬主協会』、『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』で6割台が、関心があると回答。

	N	関心度 (%)					無回答 (%)	関心度 (%)	
		大いに 関心がある	少し 関心がある	どちらとも いえない	あまり 関心はない	全く 関心はない		関心 がある計	関心 はない計
全体	1,209	25.6	32.8	16.3	17.9	6.0	58.4	23.9	

III 調查結果

年齢

【すべての方に】

問 1 あなたの年齢についてお知らせください。(○は1つだけ)

▶回答者『全体』は「70才以上」(34.7%)が最も高く、以下「60代」(23.8%)、「50代」(21.9%)などの順となっている。回答者に「20代」はいなかった。

【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「70才以上」が最も高く、『神奈川県馬主協会』は「60代」も同率で高い。多くの馬主会で、「60代以上」が半数を超えているが、『高知県馬主協会』は「50代以下」が半数を超えている。

馬主について

【図表Ⅲ-1 年齢】

		N	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答	20~50代	60代以上
全体		1,209	3.1	15.9	21.9	23.8	34.7	0.6		40.9	58.5
年代別	30~40代	230	16.5	83.5				---	---	100.0	-
	50代	265	---	100.0				---	---	100.0	-
	60代	288	---	100.0				---	---	-	100.0
	70代以上	419	---	100.0				---	---	-	100.0
馬主会別	北海道馬主会	207	3.9	16.4	22.2	23.2	34.3	---	---	42.5	57.5
	岩手県馬主会	327	3.1	16.5	23.5	26.6	30.0	0.3	---	43.1	56.6
	埼玉県馬主会	209	4.3	19.1	23.0	22.5	30.6	0.5	---	46.4	53.1
	千葉県馬主会	229	3.1	12.7	22.7	22.7	38.9	---	---	38.4	61.6
	東京都馬主会	500	2.8	11.6	25.0	25.4	35.0	0.2	---	39.4	60.4
	神奈川県馬主協会	265	4.5	18.9	24.5	25.7	25.7	0.8	---	47.9	51.3
	石川県馬主協会	176	4.5	12.5	22.2	21.0	39.2	0.6	---	39.2	60.2
	岐阜県馬主会	71	2.8	14.1	25.4	16.9	40.8	---	---	42.3	57.7
	愛知県馬主協会	126	1.6	11.1	28.6	15.9	42.9	---	---	41.3	58.7
	兵庫県馬主協会	306	2.6	16.7	23.9	20.6	36.3	---	---	43.1	56.9
	高知県馬主協会	160	3.1	25.0	22.5	19.4	29.4	0.6	---	50.6	48.8
	佐賀県馬主会	233	2.6	17.2	22.7	21.5	36.1	---	---	42.5	57.5

(%) (%) (%)

性別

【すべての方に】

問 2 あなたの性別についてお知らせください。(○は1つだけ)

▶ 『全体』で「男性」が90.2%を占めており、「女性」は8.8%。

【年代】

▶ いずれの年代も、「男性」が約9割を占めている。

【所属馬主会】

▶ いずれの馬主会も、「男性」が約9割を占めている。

▶ 「男性」比率は、『佐賀県馬主会』が94.4%で最も高く、『岐阜県馬主会』が87.3%で最も低い。

【図表Ⅲ-2 性別】

		N	男性	女性	無回答
全体		1,209	90.2	8.8	1.1
年代別	30~40代	230	93.5	6.1	0.4
	50代	265	89.4	10.6	-
	60代	288	92.4	6.6	1.0
	70代以上	419	88.8	10.7	0.5
馬主会別	北海道馬主会	207	91.3	8.2	0.5
	岩手県馬主会	327	90.8	8.6	0.6
	埼玉県馬主会	209	89.5	9.1	1.4
	千葉県馬主会	229	89.5	10.0	0.4
	東京都馬主会	500	91.0	8.4	0.6
	神奈川県馬主協会	265	91.7	6.8	1.5
	石川県馬主協会	176	90.3	9.1	0.6
	岐阜県馬主会	71	87.3	12.7	-
	愛知県馬主協会	126	88.9	11.1	-
	兵庫県馬主協会	306	89.2	9.8	1.0
	高知県馬主協会	160	87.5	11.9	0.6
	佐賀県馬主会	233	94.4	5.6	-

(%)

職業

【すべての方に】

問3 あなたの職業についてお知らせください。(○は1つだけ)

▶ 『全体』で「会社役員」(50.0%)が最も高く、以下「自営業」(30.7%)の順となっている。

【年代】

▶ いずれの年代も、「会社役員」が最も高く、以下「自営業」などの順となっている。

▶ 「会社員」は、『30～40代』が17.8%、『50代』が11.7%、『60代』が4.2%、『70代以上』が2.1%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶ いずれの馬主会も、「会社役員」が約半数を占め、最も高い。次いで「自営業」、「会社員」などの順となっている。『岐阜県馬主会』は、「自由業」が4.2%で「会社員」と同率で並ぶ。

▶ 「会社役員」は、『東京都馬主会』が58.0%で最も高く、『石川県馬主協会』が44.9%で最も低い。

馬主について

【図表III-3 職業】

		N	会社役員	自営業	会社員	自由業	公務員	その他	無回答
全体		1,209	50.0	30.7	7.7	2.7	0.3	7.7	0.9
年代別	30～40代	230	47.0	30.4	17.8	2.2	1.7	0.4	0.4
	50代	265	57.4	26.4	11.7	1.1	2.6	0.8	0.8
	60代	288	49.7	38.2	4.2	3.1	4.5	0.3	0.3
	70代以上	419	48.0	28.9	2.1	3.8	16.5	0.7	0.7
馬主会別	北海道馬主会	207	48.8	36.7	4.8	4.3	4.8	0.5	0.5
	岩手県馬主会	327	53.8	29.4	7.3	3.7	4.9	0.3	0.6
	埼玉県馬主会	209	54.1	30.6	5.7	2.9	5.3	1.4	1.4
	千葉県馬主会	229	55.0	32.3	5.2	2.2	4.8	0.4	0.4
	東京都馬主会	500	58.0	28.4	4.2	2.4	6.6	0.2	0.2
	神奈川県馬主協会	265	54.3	30.2	6.0	3.0	4.5	1.5	0.4
	石川県馬主協会	176	44.9	30.1	8.0	5.1	11.4	0.6	0.6
	岐阜県馬主会	71	52.1	36.6	4.2	4.2	1.4	1.4	1.4
	愛知県馬主協会	126	45.2	35.7	7.9	6.3	4.0	0.8	0.8
	兵庫県馬主協会	306	51.3	31.7	6.2	3.3	6.2	0.7	0.7
	高知県馬主協会	160	52.5	31.3	6.9	0.6	7.5	1.3	1.3
	佐賀県馬主会	233	51.9	30.0	7.3	3.0	6.4	0.9	0.9

(%)

業種

【問3で「1 自営業」または「2 会社役員」とお答えの方に】

問4 問3でご回答いただいた職業の業種についてお知らせください。(○は1つだけ)

- ▶ 職業を「自営業」または「会社役員」と回答された方に、業種について聞いたところ、『全体』で「サービス業」(22.7%)が最も高く、以下「建設業」(13.9%)、「農林水産業」(13.8%)などの順となっている。

【年代】

- ▶ いずれの年代も、「サービス業」が最も高い。次いで『30～40代』は「農林水産業」、「卸売・小売業」(ともに15.7%)、『50代』は「卸売・小売業」(15.3%)、『60代』は「農林水産業」(16.2%)、『70代以上』は「建設業」(18.0%)が続く。
- ▶ 「サービス業」は、『30～40代』で25.8%、『50代』で23.9%、『60代』で23.3%、『70代以上』で19.6%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『北海道馬主会』は「農林水産業」(30.5%)、『千葉県馬主会』は「建設業」(18.0%)、『高知県馬主協会』も「建設業」(18.7%)が最も高く、それ以外の馬主会は、「サービス業」が最も高い。

【図表III-4 業種】

		N	サービス業	建設業	農林水産業	不動産業	卸売・小売業	製造業	その他	無回答	
全体		975	22.7	13.9	13.8	13.4	10.2	6.6	18.6	0.8	
年代別	30～40代	178	25.8	13.5	15.7	15.7	10.1	2.2	16.9		
	50代	222	23.9	10.8	12.2	13.1	15.3	7.2	16.7	0.9	
	60代	253	23.3	11.9	16.2	13.8	6.3	5.9	22.5		
	70代以上	322	19.6	18.0	12.1	12.1	9.6	9.0	17.7	1.9	
馬主会別	北海道馬主会	177	15.3	15.8	30.5		10.2	7.3	4.0	16.4	0.6
	岩手県馬主会	272	24.6	12.5	12.1	14.3	11.0	5.9		18.8	0.7
	埼玉県馬主会	177	27.7	12.4	12.4	17.5	7.3	5.6		15.8	1.1
	千葉県馬主会	200	17.0	18.0	11.5	17.0	10.5	8.5		17.0	0.5
	東京都馬主会	432	22.5	14.4	16.2	13.9	8.8	6.0		18.1	0.2
	神奈川県馬主協会	224	21.0	13.4	14.3	15.2	10.3	8.5		17.4	
	石川県馬主協会	132	24.2	15.2	16.7	9.8	12.1	3.0		18.9	
	岐阜県馬主会	63	38.1		12.7	6.3	6.3	19.0	1.6	15.9	
	愛知県馬主協会	102	31.4	12.7	5.9	10.8	15.7	4.9		16.7	2.0
	兵庫県馬主協会	254	22.0	14.6	7.9	12.6	13.8	7.9		20.9	0.4
	高知県馬主協会	134	16.4	18.7	10.4	12.7	17.2	5.2		18.7	0.7
	佐賀県馬主会	191	27.7	12.0	10.5	6.3	13.6	6.8		21.5	1.6

(%)

軽種馬の生産、育成、販売等の業務関係有無

【すべての方に】

問5 あなたは、軽種馬の生産、育成、販売等の業務に関係されていますか。(○はいくつでも)

▶軽種馬の生産、育成、販売等の業務関係に関する回答を、複数回答で聞いたところ、『全体』で「生産関係に従事」が19.1%、「育成関係に従事」が10.2%、「販売関係に従事」が8.3%となっており、「いずれにも従事していない」が70.1%となっている。

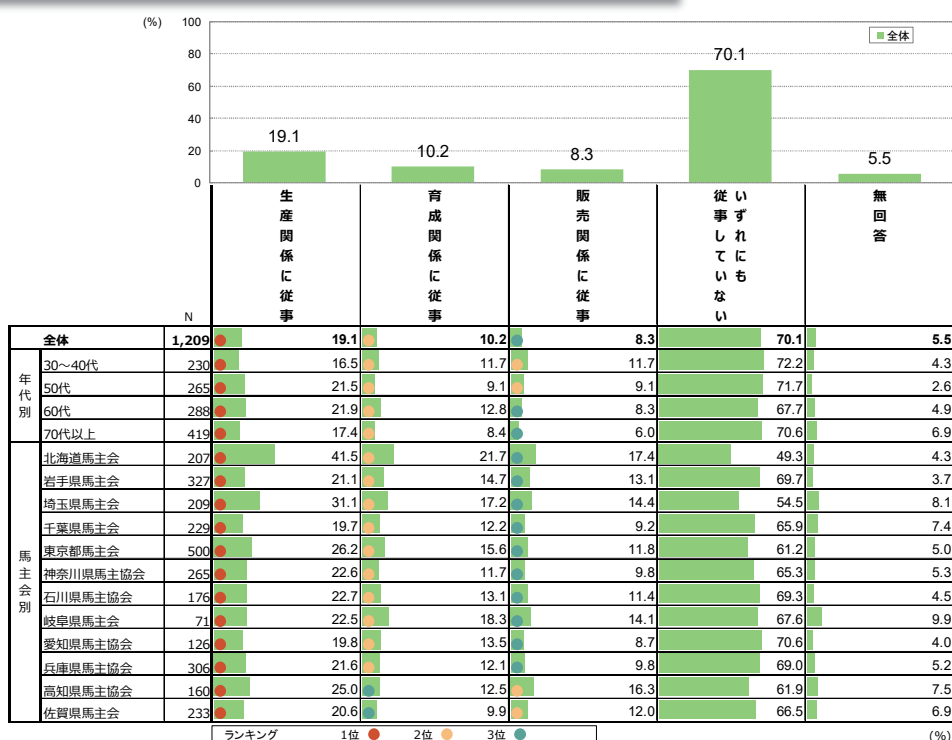
【年代】

- ▶いずれの年代も、「生産関係に従事」が従事者の中で最も高く、以下「育成関係に従事」の順となっている。『50代以下』は、「販売関係に従事」が「育成関係に従事」と同率で並ぶ。
- ▶いずれの年代も、約7割が「いずれにも従事していない」と回答。

【所属馬主会】

- ▶『高知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』は、「生産関係に従事」が最も高く、以下「販売関係に従事」、「育成関係に従事」の順となっている。その他の馬主会は、「生産関係に従事」が最も高く、以下「育成関係に従事」、「販売関係に従事」の順となっている。
- ▶「生産関係に従事」(41.5%)は『北海道馬主会』で最も高く、「いずれにも従事していない」(49.3%)は『北海道馬主会』で最も低いことから、『北海道馬主会』は、軽種馬の生産、育成、販売等の業務に関係にしている方が多いことが窺える。

【図表III-5 軽種馬の生産、育成、販売等の業務関係有無】



馬主について

所属している馬主会

【すべての方に】

問 6 あなたは、どの馬主会に所属されていますか。(○はいくつでも)

▶所属している馬主会について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「東京都馬主会」(41.4%)が最も高く、以下「岩手県馬主会」(27.0%)、「兵庫県馬主協会」(25.3%)などの順となっている。所属している馬主会の数は、『全体』で平均2.3か所。

【年代】

▶いずれの年代も、「東京都馬主会」が最も高い。次いで『30～40代』は、「岩手県馬主会」(27.8%)、「神奈川県馬主協会」(27.0%)、『50代』は、「岩手県馬主会」(29.1%)、「兵庫県馬主協会」(27.5%)、『60代』は、「岩手県馬主会」(30.2%)、「神奈川県馬主協会」(23.6%)、『70代以上』は、「兵庫県馬主協会」(26.5%)、「岩手県馬主会」(23.4%)などの順となっている。

▶所属している馬主会の平均は、『30～40代』は2.3か所、『50代』は2.5か所、『60代』は2.2か所、『70代以上』は2.3か所となっており、『50代』が最も多い。

【所属馬主会】

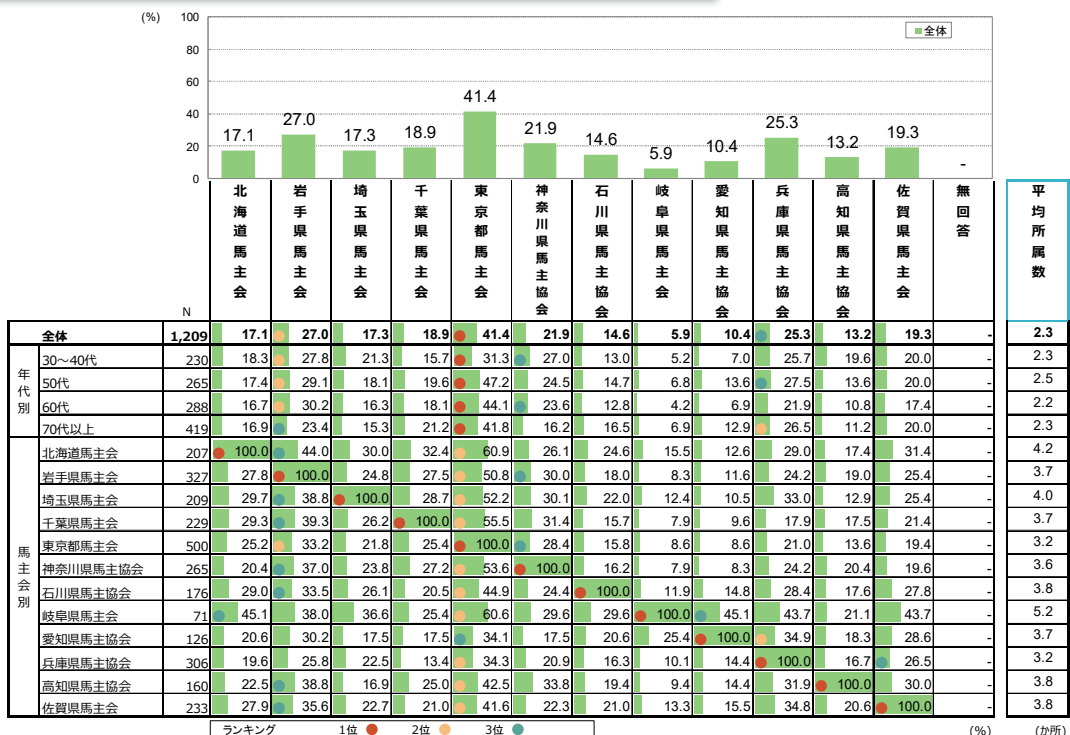
▶『東京都馬主会』所属者は「岩手県馬主会」、『愛知県馬主協会』所属者は「兵庫県馬主協会」、その他の馬主会所属者は「東京都馬主会」にも所属している人が多い。

▶『北海道馬主会』所属者、『岐阜県馬主会』所属者はそれぞれ約6割、『埼玉県馬主会』所属者、『千葉県馬主会』所属者、『神奈川県馬主協会』所属者はそれぞれ約5割が「東京都馬主会」にも所属している。

▶所属している馬主会の平均は、『岐阜県馬主会』が5.2か所で最も多い。

▶『岐阜県馬主会』所属者は、「北海道馬主会」、「愛知県馬主協会」、「兵庫県馬主協会」、「佐賀県馬主会」にもそれぞれ約4割が所属している。

【図表Ⅲ-6 所属している馬主会】



地方競馬の馬主歴

【すべての方に】

問7 あなたは、地方競馬の馬主歴は何年になりますか。(〇は1つだけ)

▶地方競馬の馬主歴を聞いたところ、『全体』で「20年以上」(36.8%)が最も高く、以下「10年以上～20年未満」(23.4%)、「5年以上～10年未満」(18.9%)などの順となっており、馬主歴「10年以上」が約6割を占める。

【年代】

- ▶『30～40代』は「5年以上～10年未満」(31.7%)、『50代』は「10年以上～20年未満」(31.7%)、『60代以上』は「20年以上」が最も高い。
- ▶「2年未満」は、『30～40代』で19.6%、『50代』で10.6%となっている。
- ▶『70代以上』は「20年以上」が69.2%で、長期継続している人が多い。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「20年以上」が3割～4割半ばを占めている。
- ▶馬主歴「10年以上」でみると、『岐阜県馬主会』は73.2%で最も高く、『高知県馬主協会』は53.1%で最も低い。その他の馬主会は、6割～7割が馬主歴10年以上。
- ▶『愛知県馬主協会』は、「2年未満」が10.3%となっている。

馬主について

【図表III-7 地方競馬の馬主歴】

		N	2年未満	2年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答	10年未満	10年以上
全体		1,209	6.9	13.3	18.9	23.4	36.8	0.7	39.1	60.2
年代別	30～40代	230	19.6	27.8	31.7	17.4	3.5	-	79.1	20.9
	50代	265	10.6	18.5	26.0	31.7	13.2	-	55.1	44.9
	60代	288	2.4	12.8	19.4	26.4	38.9	-	34.7	65.3
	70代以上	419	2.6	7.2	19.8	69.2	0.2	-	10.7	89.0
馬主会別	北海道馬主会	207	2.9	9.7	17.4	23.7	46.4	-	30.0	70.0
	岩手県馬主会	327	2.1	11.9	21.1	26.9	37.6	0.3	35.2	64.5
	埼玉県馬主会	209	4.8	12.4	18.2	28.7	35.4	0.5	35.4	64.1
	千葉県馬主会	229	3.5	8.7	18.8	26.2	42.4	0.4	31.0	68.6
	東京都馬主会	500	2.2	7.8	19.6	26.6	43.4	0.4	29.6	70.0
	神奈川県馬主協会	265	5.7	14.7	22.6	23.0	32.8	1.1	43.0	55.8
	石川県馬主協会	176	5.7	14.8	16.5	19.3	43.2	0.6	36.9	62.5
	岐阜県馬主会	71	1.4	9.9	15.5	28.2	45.1	-	26.8	73.2
	愛知県馬主協会	126	10.3	14.3	15.9	19.8	39.7	-	40.5	59.5
	兵庫県馬主協会	306	7.2	13.1	17.3	29.1	33.0	0.3	37.6	62.1
	高知県馬主協会	160	9.4	9.4	27.5	21.3	31.9	0.6	46.3	53.1
	佐賀県馬主会	233	5.6	12.4	15.9	24.9	41.2	-	33.9	66.1

馬主登録種別

【すべての方に】

問 8 馬主の登録としては、あなたは、次のどれに該当しますか。(〇はいくつでも)

- ▶馬主の登録種別について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「個人馬主」が90.6%、「法人馬主」が12.0%、「組合馬主」が1.4%であった。

【年代】

- ▶いずれの年代も、「個人馬主」が約9割。
- ▶『70代以上』は、他の年代と比べて、「個人馬主」(94.7%)が高く、「法人馬主」(7.9%)が低い。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「個人馬主」が約9割。
- ▶「個人馬主」でみると、『石川県馬主協会』は96.0%で最も高く、『神奈川県馬主協会』は87.9%で最も低い。

【図表 III-8 馬主登録種別】

		N	個人馬主	法人馬主	組合馬主	無回答
全体		1,209	90.6	12.0	1.4	0.8
年代別	30~40代	230	90.4	15.2	3.5	-
	50代	265	90.2	12.8	1.5	-
	60代	288	87.2	14.9	0.7	0.7
	70代以上	419	94.7	7.9	0.7	0.2
馬主会別	北海道馬主会	207	89.4	15.5	3.4	0.5
	岩手県馬主会	327	92.7	11.6	2.4	0.6
	埼玉県馬主会	209	89.5	17.7	0.5	0.5
	千葉県馬主会	229	89.1	15.3	3.1	0.4
	東京都馬主会	500	88.0	17.4	0.8	0.2
	神奈川県馬主協会	265	87.9	16.2	1.1	0.8
	石川県馬主協会	176	96.0	7.4	4.5	0.6
	岐阜県馬主会	71	94.4	12.7	4.2	-
	愛知県馬主協会	126	94.4	9.5	0.8	-
	兵庫県馬主協会	306	93.1	9.5	1.0	0.3
	高知県馬主協会	160	91.3	12.5	2.5	1.3
	佐賀県馬主会	233	94.0	7.3	2.6	0.9

(%)

地方競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）

【すべての方に】

問9 現在の地方競馬に所属する所有馬は何頭ですか。（○は1つだけ）

—専有の競走馬について—

▶ 地方競馬所属の専有馬の所有頭数について聞いたところ、『全体』で「2～4頭」（33.9%）が最も高く、以下「5～9頭」（21.0%）、「1頭」（20.0%）などの順となっており、「10頭未満」が7割半ばを占める。地方競馬所属の専有馬が「現在はいない」は10.8%。

【年代】

▶ いずれの年代も「2～4頭」が最も高く、「10頭未満」が7割半ばを占める。

▶ 「所有あり・計」は、『70代以上』（90.7%）で最も高い。

【所属馬主会】

▶ 『岐阜県馬主会』は「20頭以上」、『石川県馬主協会』、『高知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』は「5～9頭」、その他の馬主会は「2～4頭」が最も高い。『北海道馬主会』、『神奈川県馬主協会』は、「5～9頭」と「2～4頭」が同率で最も高い。

【図表Ⅲ-9 地方競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）】

		N	1頭	2～4頭	5～9頭	10～14頭	15～19頭	20頭以上	現在はいない	無回答	10頭未満	10頭以上	所有あり・計
全体		1,209	20.0	33.9	21.0	5.8	2.0	5.0	10.8	1.6	74.9	12.7	87.7
年代別	30～40代	230	22.2	31.7	23.5	7.4	3.0	10.0	0.4	77.4	12.2	89.6	
	50代	265	20.8	28.3	24.2	3.8	0.8	8.7	11.7	1.9	73.2	13.2	86.4
	60代	288	21.2	36.8	15.6	4.5	1.4	5.6	14.2	0.7	73.6	11.5	85.1
	70代以上	419	17.9	37.2	21.7	7.2	3.3	3.3	8.4	1.0	76.8	13.8	90.7
馬主会別	北海道馬主会	207	12.6	28.0	28.0	11.1	3.4	12.6	3.4	1.0	68.6	27.1	95.7
	岩手県馬主会	327	12.2	28.4	23.5	11.9	3.7	11.9	7.0	1.2	64.2	27.5	91.7
	埼玉県馬主会	209	11.0	27.3	25.8	11.0	2.4	14.8	6.7	1.0	64.1	28.2	92.3
	千葉県馬主会	229	8.3	33.6	29.3	10.0	3.9	8.7	5.7	0.4	71.2	22.7	93.9
	東京都馬主会	500	12.8	33.0	24.6	9.8	3.0	8.6	6.8	1.4	70.4	21.4	91.8
	神奈川県馬主協会	265	11.3	27.9	27.9	10.2	3.8	9.4	7.5	1.9	67.2	23.4	90.6
	石川県馬主協会	176	13.1	22.7	34.7	9.1	4.0	11.9	4.0	0.6	70.5	25.0	95.5
	岐阜県馬主会	71	8.5	18.3	22.5	9.9	5.6	26.8	4.2	4.2	49.3	42.3	91.5
	愛知県馬主協会	126	12.7	35.7	27.0	6.3	2.4	12.7	2.4	0.8	75.4	21.4	96.8
	兵庫県馬主協会	306	14.7	31.7	22.9	7.8	2.6	9.2	10.1	1.0	69.3	19.6	88.9
	高知県馬主協会	160	10.0	26.3	32.5	8.8	2.5	12.5	5.6	1.9	68.8	23.8	92.5
	佐賀県馬主会	233	14.2	26.2	27.5	10.7	3.9	12.0	4.3	1.3	67.8	26.6	94.4

地方競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）

【すべての方に】

問 10 現在の地方競馬に所属する所有馬は何頭ですか。（○は1つだけ）

－共有の競走馬について－

▶ 地方競馬所属の共有馬の所有頭数について聞いたところ、『全体』で「2～4頭」（14.6%）が最も高く、以下「1頭」（12.2%）の順となっており、「10頭未満」が約3割を占めている。地方競馬所属の共有馬が「現在はいない」は60.1%。

【年代】

▶ いずれの年代も「2～4頭」が最も高い。『60代』は「1頭」が13.2%で「2～4頭」と同率で並ぶ。
▶ 共有馬「所有あり・計」は、『30～40代』で43.9%、『50代』で38.1%、『60代』で33.3%、『70代以上』で23.4%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶ 『埼玉県馬主会』は、「1頭」（13.9%）、その他の馬主会は、「2～4頭」が最も高い。
▶ 「所有あり・計」は、『北海道馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『高知県馬主協会』で4割台、『佐賀県馬主会』で2割台、その他の馬主会で3割台となっており、『岐阜県馬主会』が47.9%で最も高い。

【図表Ⅲ-10 地方競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）】

N		1頭	2～4頭	5～9頭	10～14頭	15～19頭	20頭以上	現在は いない	無回答	10頭未満	10頭以上	所有あり 計
全体	1,209	12.2	14.6	4.1 1.2 0.4	9.1 0.9 1.3	0.4	60.1	7.1	31.0	1.7	32.8	
年代別	30～40代	230	14.3	17.8	9.1 0.9 1.3	0.4	54.8	1.3	41.3	2.6	43.9	
	50代	265	12.8	20.0	3.0 1.9 0.4	0.4	59.2	2.6	35.8	2.3	38.1	
	60代	288	13.2	13.2	4.9 1.7 0.3	0.3	59.7	6.9	31.3	2.1	33.3	
	70代以上	419	10.3	10.7	1.7 0.7	0.7	64.9	11.7	22.7	0.7	23.4	
馬主会別	北海道馬主会	207	15.9	16.9	7.2 1.4 0.5	0.5	51.2	6.3	40.1	2.4	42.5	
	岩手県馬主会	327	11.9	14.4	6.7 3.4 1.2	0.3	57.5	4.6	33.0	4.9	37.9	
	埼玉県馬主会	209	13.9	11.0	5.7 4.3 0.5	0.5	55.0	9.6	30.6	4.8	35.4	
	千葉県馬主会	229	10.9	14.8	5.7 1.7 0.4	0.4	61.6	4.8	31.4	2.2	33.6	
	東京都馬主会	500	11.4	16.0	5.8 1.8 0.4	0.4	58.2	6.4	33.2	2.2	35.4	
	神奈川県馬主協会	265	14.0	21.1	6.8 2.3 0.8	0.4	49.1	5.7	41.9	3.4	45.3	
	石川県馬主協会	176	13.6	17.6	4.0 1.1 0.6	0.6	56.3	6.8	35.2	1.7	36.9	
	岐阜県馬主会	71	14.1	19.7	5.6 7.0 1.4	1.4	49.3	2.8	39.4	8.5	47.9	
	愛知県馬主協会	126	12.7	17.5	2.4 1.6 0.8	0.8	61.1	4.0	32.5	2.4	34.9	
	兵庫県馬主協会	306	8.8	14.4	4.6 2.9 0.3	0.3	64.7	3.9	27.8	3.6	31.4	
	高知県馬主協会	160	12.5	15.6	6.9 4.4 1.9	0.6	54.4	3.8	35.0	6.9	41.9	
	佐賀県馬主会	233	9.4	9.9	4.7 2.1 0.4	0.4	66.1	6.9	24.0	3.0	27.0	

馬主になろうと思った動機

【すべての方に】

問 11 あなたが、馬主になろうと思われた動機は何でしたか。(○はいくつでも)

馬主について

- ▶ 馬主になろうと思った動機を、複数回答で聞いたところ、『全体』で「馬が好き」(62.2%)が最も高く、以下「競馬が好き」(53.1%)、「馬の成長をみるのが楽しいから」(29.7%)などの順となっている。
- ▶ 「その他」には、「競馬関連の仕事をしていた」などの意見が挙がっている。

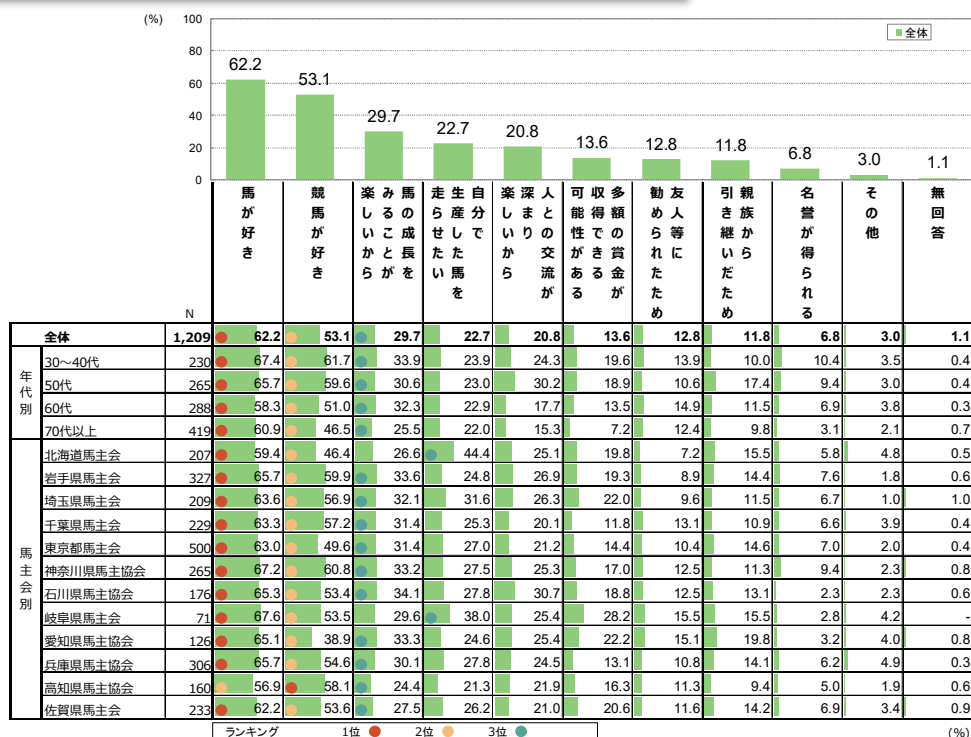
【年代】

- ▶ いずれの年代も、「馬が好き」が最も高く、以下「競馬が好き」、「馬の成長をみるのが楽しいから」などの順となっている。
- ▶ 「競馬が好き」、「多額の賞金が取得できる可能性がある」、「名誉が得られる」は、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『北海道馬主会』、『岐阜県馬主会』は、「馬が好き」が最も高く、以下「競馬が好き」、「自分で生産した馬を走らせたい」などの順となっている。『北海道馬主会』は、唯一「自分で生産した馬を走らせたい」が4割を超えている。
- ▶ 『高知県馬主協会』は、「競馬が好き」(58.1%)が最も高く、以下「馬が好き」(56.9%)、「馬の成長をみるのが楽しいから」(24.4%)などの順となっている。
- ▶ その他の馬主会は、「馬が好き」が6割半ばで最も高く、以下「競馬が好き」、「馬の成長をみるのが楽しいから」などの順となっている。

【図表Ⅲ-11 馬主になろうと思った動機】



中央競馬の馬主登録の有無

【すべての方に】

問 12 あなたは、中央競馬の馬主登録をされていますか。(○は1つだけ)

▶中央競馬の馬主登録の有無について聞いたところ、「登録をしている」は、『全体』で48.7%であった。

【年代】

▶『50代以上』の約半数は、中央競馬の馬主に「登録をしている」が、『30～40代』は35.7%にとどまる。

【所属馬主会】

▶「登録をしている」は、『北海道馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『兵庫県馬主協会』で6割台、『石川県馬主協会』で4割台、その他の馬主会で5割台となっており、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』がともに63.8%で最も高い。

【図表III-12 中央競馬の馬主登録の有無】

		N	登録をしている	登録をしていない	無回答
全体		1,209	48.7	50.3	1.0
年代別	30～40代	230	35.7	63.9	0.4
	50代	265	51.7	47.9	0.4
	60代	288	50.3	49.3	0.3
	70代以上	419	53.7	45.8	0.5
馬主会別	北海道馬主会	207	61.4	38.2	0.5
	岩手県馬主会	327	54.7	45.0	0.3
	埼玉県馬主会	209	52.2	47.4	0.5
	千葉県馬主会	229	63.8	36.2	-
	東京都馬主会	500	63.8	35.6	0.6
	神奈川県馬主協会	265	55.8	43.4	0.8
	石川県馬主協会	176	48.9	49.4	1.7
	岐阜県馬主会	71	57.7	40.8	1.4
	愛知県馬主協会	126	57.1	42.9	-
	兵庫県馬主協会	306	63.4	36.6	-
	高知県馬主協会	160	53.8	45.6	0.6
	佐賀県馬主会	233	51.1	48.1	0.9

(%)

中央競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録をしている」とお答えの方に】

問 13 現在の中央競馬に所属する所有馬は何頭ですか。（○は1つだけ）

—専有の競走馬について—

▶中央競馬の馬主登録をしている方に、中央競馬所属の専有馬の所有頭数について聞いたところ、『全体』で「所有あり・計」は83.5%。「2～4頭」（32.9%）が最も高く、以下「1頭」（22.8%）、「5～9頭」（16.6%）などの順となっており、中央競馬の馬主登録をしている72.3%が「10頭未満」を所有している。

【年代】

- ▶いずれの年代も、「2～4頭」が最も高い。
- ▶「所有あり・計」は、『30～40代』で78.0%、『50代』で83.9%、『60代』で77.9%、『70代以上』で88.9%となっている。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「2～4頭」が最も高い。
- ▶「所有あり・計」は、『兵庫県馬主協会』（91.2%）で最も高く、『高知県馬主協会』（76.7%）で最も低い。その他の馬主会は8割台となっている。

馬主について

【図表 III-13 中央競馬所属の所有頭数（専有の競走馬）】

N		1頭	2～4頭	5～9頭	10～14頭	15～19頭	20頭以上	現在は いない	無回答	10頭未満	10頭以上	所有あり・ 計
全体	589	22.8	32.9	16.6	4.2	1.5	5.4	14.4	2.0	72.3	11.2	83.5
年代別	30～40代	82	24.4	35.4	11.0	2.4	3.7	19.5	2.4	70.7	7.3	78.0
	50代	137	21.2	38.0	13.9	6.6	3.6	15.3	0.7	73.0	10.9	83.9
	60代	145	20.0	27.6	17.2	4.1	2.8	6.2	20.7	64.8	13.1	77.9
	70代以上	225	24.9	32.4	20.0	3.6	1.3	6.7	8.0	77.3	11.6	88.9
馬主会別	北海道馬主会	127	23.6	37.0	16.5	3.1	1.6	6.3	9.4	77.2	11.0	88.2
	岩手県馬主会	179	14.0	35.2	24.0	3.9	0.6	6.1	15.1	73.2	10.6	83.8
	埼玉県馬主会	109	19.3	34.9	18.3	1.8	1.8	8.3	13.8	72.5	11.9	84.4
	千葉県馬主会	146	24.7	27.4	21.2	2.7	1.4	9.6	11.6	73.3	13.7	87.0
	東京都馬主会	319	21.9	32.6	21.3	4.1	2.5	4.7	11.6	75.9	11.3	87.1
	神奈川県馬主協会	148	18.2	36.5	17.6	8.1	2.7	4.7	10.8	72.3	15.5	87.8
	石川県馬主協会	86	19.8	38.4	17.4	3.5	2.3	16.3	1.2	75.6	7.0	82.6
	岐阜県馬主会	41	12.2	48.8	12.2	12.2	12.2	12.2	2.4	73.2	12.2	85.4
	愛知県馬主協会	72	18.1	36.1	23.6	2.8	5.6	13.9	13.9	77.8	8.3	86.1
	兵庫県馬主協会	194	17.0	39.7	21.1	3.1	2.1	8.2	7.2	77.8	13.4	91.2
	高知県馬主協会	86	17.4	31.4	17.4	4.7	5.8	22.1	1.2	66.3	10.5	76.7
	佐賀県馬主会	119	19.3	35.3	20.2	3.4	0.8	7.6	12.6	74.8	11.8	86.6

中央競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録をしている」とお答えの方に】

問 14 現在の中央競馬に所属する所有馬は何頭ですか。（○は1つだけ）

ー共有の競走馬についてー

▶中央競馬の馬主登録をしている方に、中央競馬所属の共有馬の所有頭数について聞いたところ、『全体』で「所有あり・計」は49.4%。「2～4頭」（23.8%）が最も高く、以下「1頭」（14.9%）の順となっている。中央競馬の馬主登録をしている47.2%が「10頭未満」を所有している。

【年代】

▶いずれの年代も、「2～4頭」が最も高い。

▶「所有あり・計」は、『30～40代』で51.2%、『50代』で55.5%、『60代』で48.3%、『70代以上』で45.8%となっている。

【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「2～4頭」が最も高い。

▶「所有あり・計」は、『石川県馬主協会』、『高知県馬主協会』（ともに58.1%）が最も高く、『佐賀県馬主会』（34.5%）で最も低い。

【図表Ⅲ-14 中央競馬所属の所有頭数（共有の競走馬）】

	N	所有頭数							現在はいない	無回答	10頭未満	10頭以上	所有あり・計
		1頭	2～4頭	5～9頭	10～14頭	15～19頭	20頭以上						
全体	589	14.9	23.8	8.5	1.5 0.5	0.2	44.5	6.1	47.2	2.2	49.4		
年代別	30～40代	82	13.4	30.5	6.1	1.2	42.7	6.1	50.0	1.2	51.2		
	50代	137	13.1	32.1	8.0	1.5 0.7	40.9	3.6	53.3	2.2	55.5		
	60代	145	15.2	18.6	12.4	2.1	50.3	1.4	46.2	2.1	48.3		
	70代以上	225	16.4	19.6	7.1	1.8 0.4	43.6	10.7	43.1	2.7	45.8		
馬主会別	北海道馬主会	127	19.7	21.3	9.4	0.8	40.9	7.9	50.4	0.8	51.2		
	岩手県馬主会	179	12.8	26.8	7.3	1.1 0.6	45.8	5.0	46.9	2.2	49.2		
	埼玉県馬主会	109	5.5	22.0	6.4	1.8	57.8	6.4	33.9	1.8	35.8		
	千葉県馬主会	146	16.4	23.3	11.0	0.7 0.7	43.2	4.8	50.7	1.4	52.1		
	東京都馬主会	319	12.9	21.6	7.5	2.2 0.3	48.6	6.9	42.0	2.5	44.5		
	神奈川県馬主協会	148	12.8	23.0	10.8	2.7 0.7	45.9	4.1	46.6	3.4	50.0		
	石川県馬主協会	86	17.4	30.2	7.0	2.3 1.2	38.4	3.5	54.7	3.5	58.1		
	岐阜県馬主会	41	14.6	24.4	7.3	2.4	48.8	2.4	46.3	2.4	48.8		
	愛知県馬主協会	72	8.3	26.4	4.2		56.9	4.2	38.9	-	38.9		
	兵庫県馬主協会	194	12.4	24.7	6.2	1.5 0.5	48.5	5.7	43.3	2.6	45.9		
	高知県馬主協会	86	14.0	33.7	5.8	2.3 2.3	39.5	2.3	53.5	4.7	58.1		
	佐賀県馬主会	119	10.9	16.0	5.9	0.8 0.8	61.3	4.2	32.8	1.7	34.5		

クラブ法人（愛馬会）の会員登録状況

【すべての方に】

問 15 あなたは、クラブ法人（愛馬会）の会員となっていますか。（○は1つだけ）

▶クラブ法人（愛馬会）の会員登録状況について聞いたところ、「会員になっている」は、『全体』で23.7%であった。

【年代】

▶「会員になっている」は、『30～40代』で33.0%、『50代』で29.4%、『60代』で25.3%、『70代以上』で14.3%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶「会員になっている」は、『兵庫県馬主協会』が31.0%で最も高く、『愛知県馬主協会』が19.8%で最も低い。その他の馬主会では、2～3割であった。

【図表Ⅲ-15 クラブ法人（愛馬会）の会員登録状況】

		N	会員になっている	会員になっていない	無回答
全体		1,209	23.7	58.6	17.7
年代別	30～40代	230	33.0	47.0	20.0
	50代	265	29.4	55.8	14.7
	60代	288	25.3	56.3	18.4
	70代以上	419	14.3	69.2	16.5
馬主会別	北海道馬主会	207	24.6	60.4	15.0
	岩手県馬主会	327	30.0	56.9	13.1
	埼玉県馬主会	209	22.5	58.9	18.7
	千葉県馬主会	229	27.1	60.3	12.7
	東京都馬主会	500	21.2	63.8	15.0
	神奈川県馬主協会	265	26.4	56.2	17.4
	石川県馬主協会	176	27.8	51.1	21.0
	岐阜県馬主会	71	21.1	59.2	19.7
	愛知県馬主協会	126	19.8	64.3	15.9
	兵庫県馬主協会	306	31.0	54.2	14.7
	高知県馬主協会	160	30.6	50.0	19.4
	佐賀県馬主会	233	20.2	63.5	16.3

(%)

今後の競走馬所有意向

【すべての方に】

問 16 あなたは、今後も馬主として競走馬を所有していく考えをお持ちですか。（○は1つだけ）

▶今後、地方競馬の馬主として、競走馬を所有するかを聞いたところ、「馬主を続けていこうと考えている」は、『全体』で70.1%となっている。「何とも言えない」は12.0%、「馬主をやめようと考えている」は2.4%となっている。

【年代】

- ▶「馬主を続けていこうと考えている」は、『30～40代』で73.5%、『50代』で74.3%、『60代』で71.5%、『70代以上』で65.6%となっている。
- ▶『70代以上』は、他の年代と比べて、「馬主を続けていこうと考えている」（65.6%）が低く、「何とも言えない」（17.7%）が高い。

【所属馬主会】

- ▶「馬主を続けていこうと考えている」は、『石川県馬主協会』、『愛知県馬主協会』は6割台、その他の馬主会は7割台となっており、『高知県馬主協会』が77.5%で最も高い。

【図表Ⅲ-16 今後の競走馬所有意向】

		N	馬主を続けていこう と考えている	馬主をやめよう と考えている	何とも言えない	無回答
全体		1,209	70.1	2.4	12.0	15.6
年代別	30～40代	230	73.5	1.3	5.2	20.0
	50代	265	74.3	0.4	11.3	14.0
	60代	288	71.5	1.7	10.1	16.7
	70代以上	419	65.6	4.8	17.7	11.9
馬主会別	北海道馬主会	207	74.9	3.9	8.2	13.0
	岩手県馬主会	327	74.0	4.0	9.8	12.2
	埼玉県馬主会	209	73.7	2.4	8.6	15.3
	千葉県馬主会	229	72.9	5.7	11.4	10.0
	東京都馬主会	500	72.0	1.8	13.2	13.0
	神奈川県馬主協会	265	70.9	1.5	12.5	15.1
	石川県馬主協会	176	68.2	2.3	11.9	17.6
	岐阜県馬主会	71	76.1		7.0	16.9
	愛知県馬主協会	126	68.3		16.7	15.1
	兵庫県馬主協会	306	75.5	1.3	12.7	10.5
	高知県馬主協会	160	77.5		6.3	16.3
	佐賀県馬主会	233	73.4	1.3	12.0	13.3

(%)

新しい競走体系についての興味

【すべての方に】

問 17 あなたは、2022年6月に発表された3歳三冠競走ならびに11月に発表された新しい競走体系について、どう思われますか。

(○は1つだけ)

▶ 「2022年6月に発表された3歳三冠競走ならびに11月に発表された新しい競走体系」について聞いたところ、『全体』で「とても興味がある」が33.4%、「少し興味がある」が28.5%となっており、合わせた「興味あり・計」は62.0%であった。一方、「興味なし・計」（「あまり興味がない」＋「全く興味がない」）は、14.6%であった。

【年代】

▶ 「興味あり・計」は、『30～40代』で65.2%、『50代』で65.7%、『60代』で60.4%、『70代以上』で59.9%となっており、『50代以下』で興味が強い傾向がある。

【所属馬主会】

▶ 「興味あり・計」は、『高知県馬主協会』（70.0%）が最も高い。『高知県馬主協会』以外では、「興味あり・計」が、『北海道馬主会』、『岩手県馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』で6割台、その他の馬主会で5割台となっている。

地方競馬の実施
事業について

【図表III-17 新しい競走体系についての興味】

		N	とても 興味がある	少し 興味がある	どちらとも いえない	あまり 興味がない	全く 興味がない	無回答	興味あり・ 計	興味なし・ 計
全体		1,209	33.4	28.5	22.5	10.8	3.7	1.0	62.0	14.6
年代別	30～40代	230	43.5	21.7	18.3	10.9	5.7		65.2	16.5
	50代	265	37.7	27.9	24.2	7.5	1.9	0.8	65.7	9.4
	60代	288	29.2	31.3	23.6	12.8	2.8	0.3	60.4	15.6
	70代以上	419	28.6	31.3	23.4	11.7	4.5	0.5	59.9	16.2
馬主会別	北海道馬主会	207	43.5	19.8	23.2	7.7	5.8		63.3	13.5
	岩手県馬主会	327	30.6	32.7	22.3	9.5	4.3	0.6	63.3	13.8
	埼玉県馬主会	209	28.2	25.8	29.7	10.5	4.8	1.0	54.1	15.3
	千葉県馬主会	229	40.6	22.7	21.8	10.5	3.9	0.4	63.3	14.4
	東京都馬主会	500	35.8	28.4	22.8	9.4	2.8	0.8	64.2	12.2
	神奈川県馬主協会	265	34.7	26.8	23.8	10.2	3.8	0.8	61.5	14.0
	石川県馬主協会	176	31.3	27.3	22.2	13.1	5.7	0.6	58.5	18.8
	岐阜県馬主会	71	39.4	19.7	25.4	11.3	4.2		59.2	15.5
	愛知県馬主協会	126	24.6	34.1	26.2	11.9	3.2		58.7	15.1
	兵庫県馬主協会	306	31.0	26.8	27.1	10.8	3.9	0.3	57.8	14.7
	高知県馬主協会	160	36.3	33.8	18.1	8.8	2.5	0.6	70.0	11.3
	佐賀県馬主会	233	30.5	26.6	26.2	11.6	4.7	0.4	57.1	16.3

新しい競走体系による入厩意向

【すべての方に】

問 18 問 17 の発表を受けて、地方競馬に競走馬を入厩させようと思いますか。(○は1つだけ)

▶ 「2022年6月に発表された3歳三冠競走ならびに11月に発表された新しい競走体系」の発表を受けて、地方競馬に競走馬を入厩させようと思うかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が13.4%、「そう思う」が35.1%となっており、合わせた「思う・計」は48.5%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）は、15.8%であった。

【年代】

- ▶ 「思う・計」は、『30～40代』で48.3%、『50代』で49.4%、『60代』で46.5%、『70代以上』で50.1%となっている。
- ▶ 『30～40代』は、他の年代と比べて、「とてもそう思う」（22.6%）が高い。

【所属馬主会】

- ▶ 「思う・計」は、『千葉県馬主会』（57.6%）が最も高い。『千葉県馬主会』以外では、「思う・計」が、『北海道馬主会』、『岩手県馬主会』、『東京都馬主会』、『岐阜県馬主会』、『高知県馬主協会』で5割台、その他の馬主会で4割台となっている。

【図表Ⅲ-18 新しい競走体系による入厩意向】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	13.4	35.1		33.4	10.8	5.0 ^{2.3}	48.5	15.8
年代別	30～40代	230	22.6	25.7		30.9	14.8	6.1	48.3	20.9
	50代	265	16.2	33.2		32.5	12.5	4.5 ^{1.1}	49.4	17.0
	60代	288	7.3	39.2		39.2	8.3	4.5 ^{1.4}	46.5	12.8
	70代以上	419	11.0	39.1		32.0	9.3	5.3 ^{3.3}	50.1	14.6
馬主会別	北海道馬主会	207	18.8	35.7		25.6	13.0	6.3 ^{0.5}	54.6	19.3
	岩手県馬主会	327	14.4	37.6		30.3	11.9	4.3 ^{1.5}	52.0	16.2
	埼玉県馬主会	209	12.9	32.5		29.2	16.3	7.2 ^{1.9}	45.5	23.4
	千葉県馬主会	229	20.5	37.1		27.9	8.7	4.4 ^{1.3}	57.6	13.1
	東京都馬主会	500	14.2	36.0		32.4	11.0	4.4 ^{2.0}	50.2	15.4
	神奈川県馬主協会	265	15.5	32.8		34.0	9.8	5.7 ^{2.3}	48.3	15.5
	石川県馬主協会	176	15.9	32.4		26.7	15.9	6.3 ^{2.8}	48.3	22.2
	岐阜県馬主会	71	16.9	35.2		22.5	19.7	5.6	52.1	25.4
	愛知県馬主協会	126	12.7	33.3		33.3	15.1	3.2 ^{2.4}	46.0	18.3
	兵庫県馬主協会	306	13.4	29.7		35.6	14.4	5.2 ^{1.6}	43.1	19.6
	高知県馬主協会	160	16.9	33.1		32.5	11.9	4.4 ^{1.3}	50.0	16.3
	佐賀県馬主会	233	16.3	27.0		35.6	14.6	5.2 ^{1.3}	43.3	19.7

(%) (%) (%)

出走奨励金・褒賞金等の施策認知

【すべての方に】

問 19 あなたは、主催者・地方競馬全国協会が行っている下記の出走奨励金・褒賞金等の施策についてご存じですか。

(○はいくつでも)

- ▶ 「主催者・地方競馬全国協会が行っている下記の出走奨励金・褒賞金等の施策」について、知っているものを、複数回答で聞いたところ、『全体』で「優良2歳馬導入促進事業」(43.3%)が最も高く、以下「ダートグレード競走褒賞金」(36.9%)、「JBC出走奨励金」(29.5%)などの順となっている。
- ▶ 「いずれも知らない」は33.5%で、3人に1人は「いずれも知らない」という結果になった。

【年代】

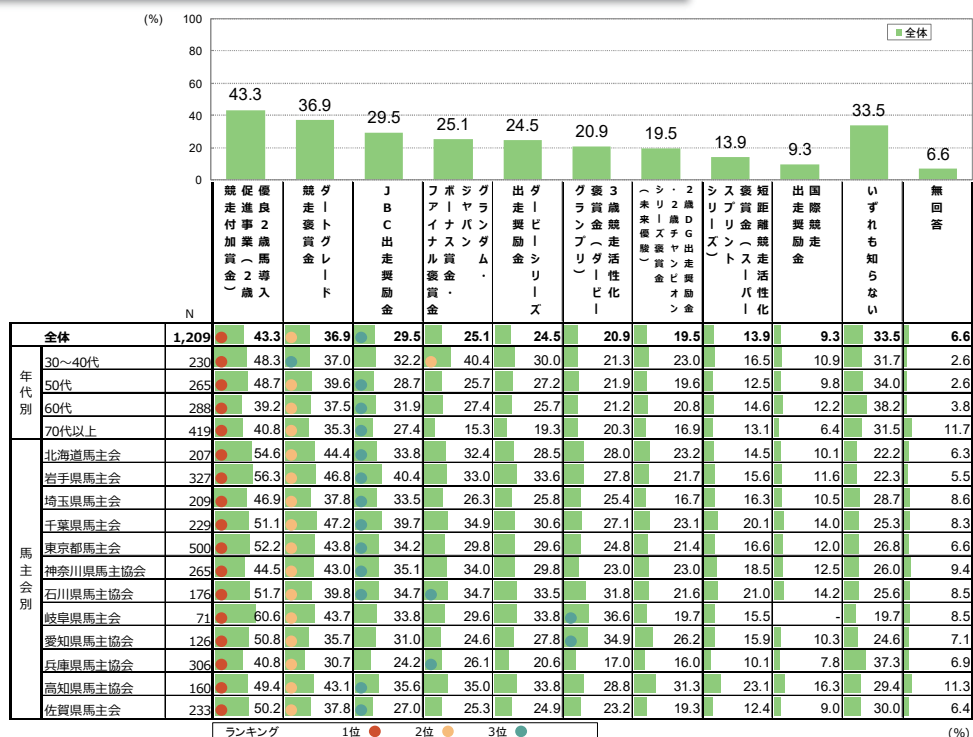
- ▶ いずれの年代も、「優良2歳馬導入促進事業」の認知が最も高い。次いで『30～40代』は、「グランダム・ジャパン ポーナス賞金・ファイナル褒賞金」(40.4%)、『50代以上』は「ダートグレード競走褒賞金」が続く。
- ▶ 他の年代と比べて、『30～40代』は、「グランダム・ジャパン ポーナス賞金・ファイナル褒賞金」の認知が高い。
- ▶ 「いずれも知らない」は、『30～40代』で31.7%、『50代』で34.0%、『60代』で38.2%、『70代以上』で31.5%となっている。

【所属馬主会】

- ▶ いずれの馬主会も、「優良2歳馬導入促進事業」の認知が最も高い。
- ▶ 「優良2歳馬導入促進事業」は、『岐阜県馬主会』(60.6%)で認知が最も高く、『兵庫県馬主協会』(40.8%)で最も低い。
- ▶ 「3歳競走活性化褒賞金」の認知は、『石川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『愛知県馬主協会』の中部エリアで3割を超えている。

地方競馬の実施
事業について

【図表Ⅲ-19 出走奨励金・褒賞金等の施策認知】



優良2歳馬導入促進事業による入厩意向

【すべての方に】

問 20 優良2歳馬導入促進事業は2歳競走に付加賞金を交付する事業ですが、付加賞金が交付されることで地方競馬に2歳馬を入厩させようと思いませんか。（○は1つだけ）

▶優良2歳馬導入促進事業で付加賞金が交付されることで、地方競馬に2歳馬を入厩させようと思うかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が22.7%、「そう思う」が44.3%となっており、合わせた「思う・計」は67.0%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」）は8.9%であった。

【年代】

- ▶「思う・計」は、『30～40代』で73.9%、『50代』で71.3%、『60代』で64.6%、『70代以上』で62.1%となっており、年代が下がるほど高い。
- ▶『30～40代』は、他の年代と比べて、「とてもそう思う」（34.8%）が高い。

【所属馬主会】

- ▶「思う・計」は、『岐阜県馬主会』（76.1%）が最も高い。『岐阜県馬主会』以外では、「思う・計」が、『北海道馬主会』、『千葉県馬主会』、『神奈川県馬主協会』で7割台、その他の馬主会で6割台となっている。

【図表Ⅲ-20 優良2歳馬導入促進事業による入厩意向】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	22.7	44.3		21.0	6.8	2.2 3.1	67.0	8.9
年代別	30～40代	230	34.8	39.1		16.5	6.1	2.2 3.1	73.9	7.8
	50代	265	26.0	45.3		16.2	6.8	2.3 3.4	71.3	9.1
	60代	288	19.8	44.8		24.7	6.3	1.7 2.8	64.6	8.0
	70代以上	419	15.8	46.3		24.1	7.4	2.6 3.8	62.1	10.0
馬主会別	北海道馬主会	207	25.1	50.7		14.0	3.9	2.9 3.4	75.8	6.8
	岩手県馬主会	327	21.1	48.0		21.1	5.8	1.5 2.4	69.1	7.3
	埼玉県馬主会	209	23.4	45.9		18.7	6.2	1.4 4.3	69.4	7.7
	千葉県馬主会	229	27.9	45.4		17.9	5.2	2.2 1.3	73.4	6.6
	東京都馬主会	500	22.0	47.8		19.0	5.6	1.8 3.8	69.8	7.4
	神奈川県馬主協会	265	26.8	44.9		17.0	5.7	1.5 4.2	71.7	7.2
	石川県馬主協会	176	20.5	39.8		25.6	8.0	4.5 1.7	60.2	12.5
	岐阜県馬主会	71	21.1	54.9		16.9	2.8	2.8 1.4	76.1	4.2
	愛知県馬主協会	126	19.8	50.0		19.8	5.6	4.0 0.8	69.8	6.3
	兵庫県馬主協会	306	19.3	44.4		23.9	5.2	2.9 4.2	63.7	8.2
	高知県馬主協会	160	27.5	38.8		20.6	8.8	1.9 2.5	66.3	10.6
	佐賀県馬主会	233	22.7	46.8		15.5	6.9	1.3 6.9	69.5	8.2

グランダム・ジャパンによる入厩意向

【すべての方に】

問 21 グランダム・ジャパンは世代別牝馬重賞シリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師に対し、ボーナス賞金を交付する事業ですが、牝馬競走へボーナス賞金が交付されることで、牝馬を入厩させようと思いませんか。（○は1つだけ）

▶ グランダム・ジャパンで牝馬競走へボーナス賞金が交付されることで、牝馬を入厩させようと思うかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が14.1%、「そう思う」が37.9%となっており、合わせた「思う・計」は51.9%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」）は、12.1%であった。

【年代】

- ▶ 「思う・計」は、『30～40代』で60.4%、『50代』で52.8%、『60代』で52.8%、『70代以上』で46.3%となっており、年代が下がるほど高い。
- ▶ 『30～40代』は、他の年代と比べて、「とてもそう思う」（23.5%）が高い。

【所属馬主会】

- ▶ 「思う・計」は、『北海道馬主会』（65.2%）が最も高い。『北海道馬主会』以外では、「思う・計」が、『千葉県馬主会』、『岐阜県馬主会』で6割台、『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』で4割台、その他の馬主会で5割台となっている。

地方競馬の実施事業について

【図表Ⅲ-21 グランダム・ジャパンによる入厩意向】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	14.1	37.9		32.5	9.0	3.1 3.5	51.9	12.1
年代別	30～40代	230	23.5	37.0		26.5	7.4	4.3 1.8	60.4	11.7
	50代	265	17.0	35.8		31.7	9.4	2.3 3.8	52.8	11.7
	60代	288	11.8	41.0		33.7	8.0	2.4 3.1	52.8	10.4
	70代以上	419	8.6	37.7		35.6	10.5	3.1 4.5	46.3	13.6
馬主会別	北海道馬主会	207	18.4	46.9		23.7	5.3	2.9 2.9	65.2	8.2
	岩手県馬主会	327	11.3	44.3		32.1	8.3	1.5 2.4	55.7	9.8
	埼玉県馬主会	209	12.9	41.6		31.1	7.7	2.4 4.3	54.5	10.0
	千葉県馬主会	229	18.3	43.2		28.4	5.7	2.2 2.2	61.6	7.9
	東京都馬主会	500	13.8	41.8		30.4	7.4	2.4 4.2	55.6	9.8
	神奈川県馬主協会	265	15.8	40.4		28.7	8.3	2.6 4.2	56.2	10.9
	石川県馬主協会	176	14.2	36.4		31.8	10.8	4.5 2.3	50.6	15.3
	岐阜県馬主会	71	14.1	46.5		29.6	4.2	2.8 2.8	60.6	7.0
	愛知県馬主協会	126	13.5	41.3		32.5	7.9	0.8 4.0	54.8	8.7
	兵庫県馬主協会	306	10.1	37.6		37.3	8.2	3.3 3.6	47.7	11.4
	高知県馬主協会	160	16.3	32.5		37.5	8.8	2.5 2.5	48.8	11.3
	佐賀県馬主会	233	15.9	38.6		29.6	8.6	1.3 6.0	54.5	9.9

(%) (%) (%)

国際競走出走奨励金による出走意向

【すべての方に】

問 22 国際競走出走奨励金は、地方所属馬が海外重賞に出走した場合、出走奨励金として最大 500 万円を交付する事業ですが、奨励金が交付されることで、国際競走へ出走させようと思いませんか。（○は 1 つだけ）

▶国際競走出走奨励金で奨励金が交付されることで、国際競走へ出走させようと思うかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が 10.2%、「そう思う」が 27.5%となっており、合わせた「思う・計」は 37.6%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」）は、26.2%であった。

【年代】

▶「思う・計」は、『30～40代』で 38.3%、『50代』で 38.1%、『60代』で 37.5%、『70代以上』で 36.3%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶「思う・計」は、『神奈川県馬主協会』（44.5%）が最も高い。『神奈川県馬主協会』以外では、「思う・計」が『北海道馬主会』、『岩手県馬主会』、『埼玉県馬主会』、『東京都馬主会』、『岐阜県馬主会』、『愛知県馬主協会』で 4 割台、その他の馬主会で 3 割台となっている。

【図表 III-22 幼駒の情報の取得方法】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	10.2	27.5		32.6	16.2	10.0	37.6	26.2
年代別	30～40代	230	15.7	22.6		35.2	15.2	10.0	38.3	25.2
	50代	265	10.6	27.5		30.2	17.4	10.6	38.1	27.9
	60代	288	8.3	29.2		33.3	15.3	11.1	37.5	26.4
	70代以上	419	7.6	28.6		32.7	16.9	8.8	36.3	25.8
馬主会別	北海道馬主会	207	11.1	30.4		33.8	12.1	9.7	41.5	21.7
	岩手県馬主会	327	8.9	31.2		32.1	15.9	9.2	40.1	25.1
	埼玉県馬主会	209	8.1	33.5		32.1	12.9	8.6	41.6	21.5
	千葉県馬主会	229	11.4	26.6		36.7	15.7	7.4	38.0	23.1
	東京都馬主会	500	9.6	31.6		31.2	14.8	8.2	41.2	23.0
	神奈川県馬主協会	265	11.7	32.8		30.2	14.3	7.2	44.5	21.5
	石川県馬主協会	176	10.2	23.3		30.7	18.8	15.3	33.5	34.1
	岐阜県馬主会	71	12.7	31.0		33.8	11.3	8.5	43.7	19.7
	愛知県馬主協会	126	11.1	31.0		26.2	19.0	7.9	42.1	27.0
	兵庫県馬主協会	306	8.5	30.1		34.6	16.0	6.9	38.6	22.9
	高知県馬主協会	160	11.3	27.5		30.0	19.4	9.4	38.8	28.8
	佐賀県馬主会	233	11.2	21.5		33.9	17.2	10.3	32.6	27.5

(%) (%) (%)

幼駒の情報の取得方法

【すべての方に】

問 23 あなたは、幼駒の情報を、主にどのようにして取得しますか。(〇はいくつでも)

▶ 幼駒情報の取得方法について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「せり市場等に参加して、自ら積極的に情報を取得する（以下：「せり市場等に参加して）」（56.5%）が最も高く、以下「生産、育成牧場等の関係者から情報を取得する（以下：「生産、育成牧場等の関係者から）」（39.2%）、「調教師から情報を取得する（以下：「調教師から）」（36.0%）などの順となっている。

【年代】

▶ いずれの年代も、「せり市場等に参加して」が最も高く、以下「生産、育成牧場等の関係者から」、「調教師から」などの順となっている。

▶ 「せり市場等に参加して」は、『30～40代』は70.0%、『50代』は60.8%、『60代』は50.7%、『70代以上』は50.8%となっており、『50代以下』で高い。

【所属馬主会】

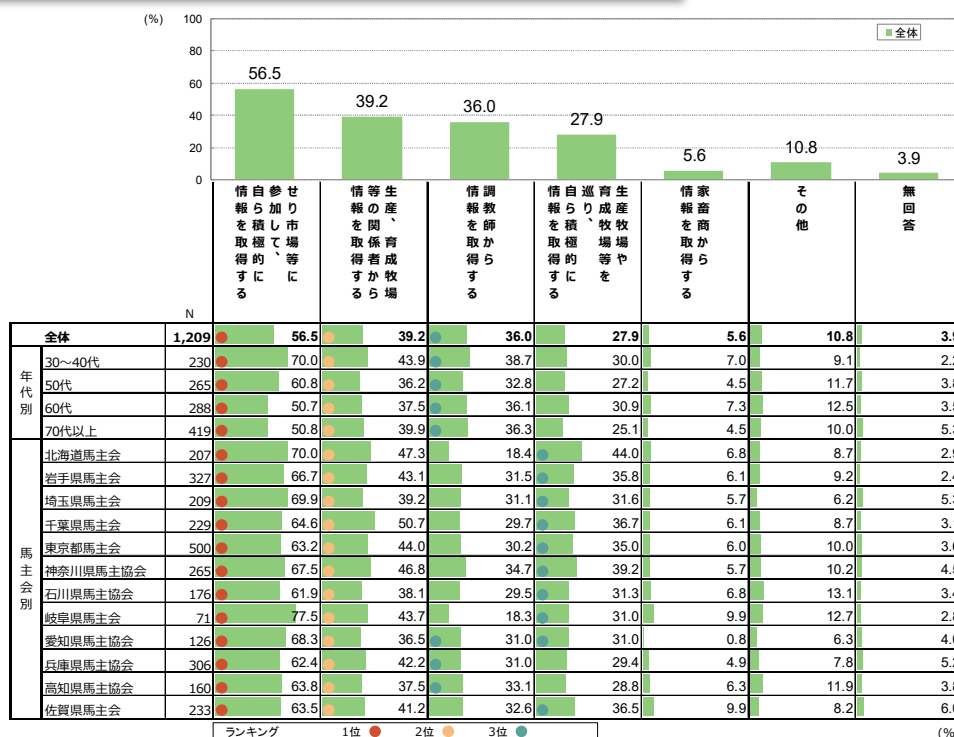
▶ いずれの馬主会も、「せり市場等に参加して」が最も高く、次いで「生産、育成牧場等の関係者から」の順。『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』は「調教師から」が続き、その他の馬主会は「生産牧場や育成牧場等を巡り、自ら積極的に情報を取得する（以下：「生産牧場や育成牧場等を巡る）」が続く。（『愛知県馬主協会』は、「調教師から」と「生産牧場や育成牧場等を巡る」が31.0%で同率に並ぶ。）

▶ 『北海道馬主会』は、唯一「生産牧場や育成牧場等を巡る」が4割を超えている一方で、「調教師から」は18.4%にとどまる。

▶ 「せり市場等に参加して」は、『岐阜県馬主会』（77.5%）が最も高い一方、「調教師から」は『岐阜県馬主会』（18.3%）が最も低い。

幼駒の購入について

【図表Ⅲ-23 国際競走出走奨励金による出走意向】



幼駒を購入する際の相談相手

【すべての方に】

問 24 あなたが、幼駒を購入する際、主にどなたと相談されますか。（〇はいくつでも）

- ▶ 幼駒を購入する際の相談相手について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「調教師」（61.1%）が最も高く、以下「生産牧場関係者」（37.4%）、「育成牧場関係者」（22.1%）などの順となっている。「誰とも相談しない」は11.2%。
- ▶ 「その他」には、「友人や仲間、エージェン特などの専門家」などが挙がっている。

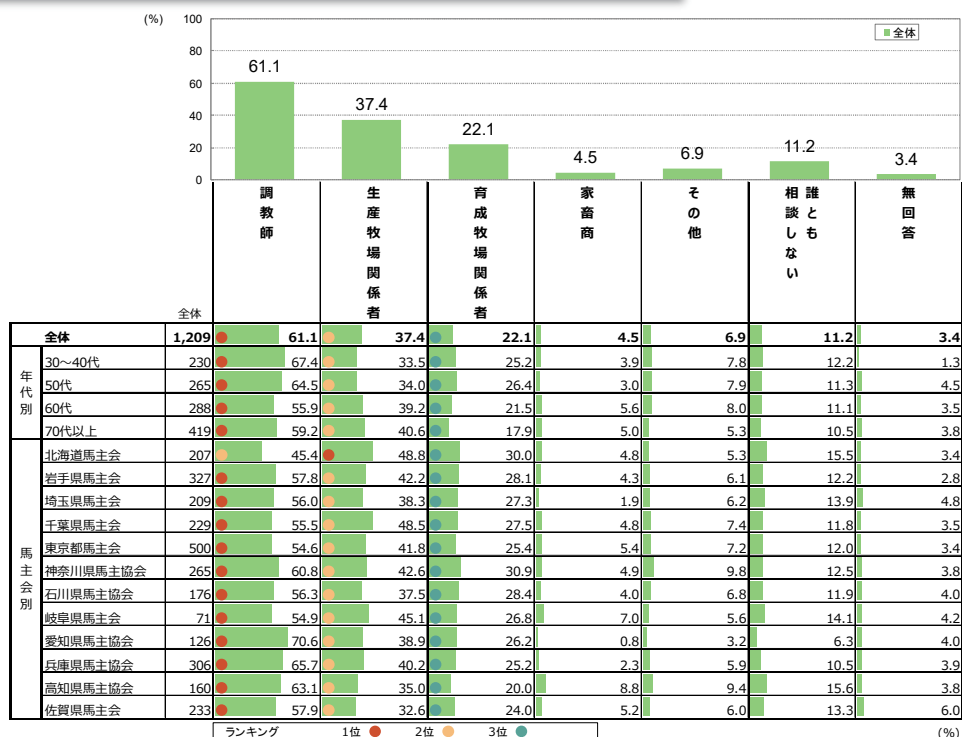
【年代】

- ▶ いずれの年代も、「調教師」が最も高く、以下「生産牧場関係者」、「育成牧場関係者」などの順となっている。
- ▶ 「調教師」は、『30～40代』で67.4%、『50代』で64.5%、『60代』で55.9%、『70代以上』で59.2%となっており、『50代以下』は、それ以上の年代と比べて、「調教師」が高い。
- ▶ 「生産牧場関係者」は、『30～40代』で33.5%、『50代』で34.0%、『60代』で39.2%、『70代以上』で40.6%となっており、年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『北海道馬主会』は、「生産牧場関係者」（48.8%）が最も高く、以下「調教師」（45.4%）、「育成牧場関係者」（30.0%）などの順となっている。
- ▶ 『北海道馬主会』以外では、「調教師」が5割～7割で最も高く、以下「生産牧場関係者」、「育成牧場関係者」などの順となっている。

【図表Ⅲ-24 幼駒を購入する際の相談相手】



幼駒を購入する際の購入方法

【すべての方に】

問 25 あなたが、幼駒を購入する際、主にどのような方法で購入されますか。(○はいつでも)

- ▶ 幼駒を購入する際の購入方法について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「市場（せり、トレーディングセール等）」(73.9%) が最も高く、以下「庭先取引で」(45.9%)、「家畜商を通じて」(7.2%) の順となっている。
- ▶ 「その他」には、「自家生産している」などが挙がっている。

【年代】

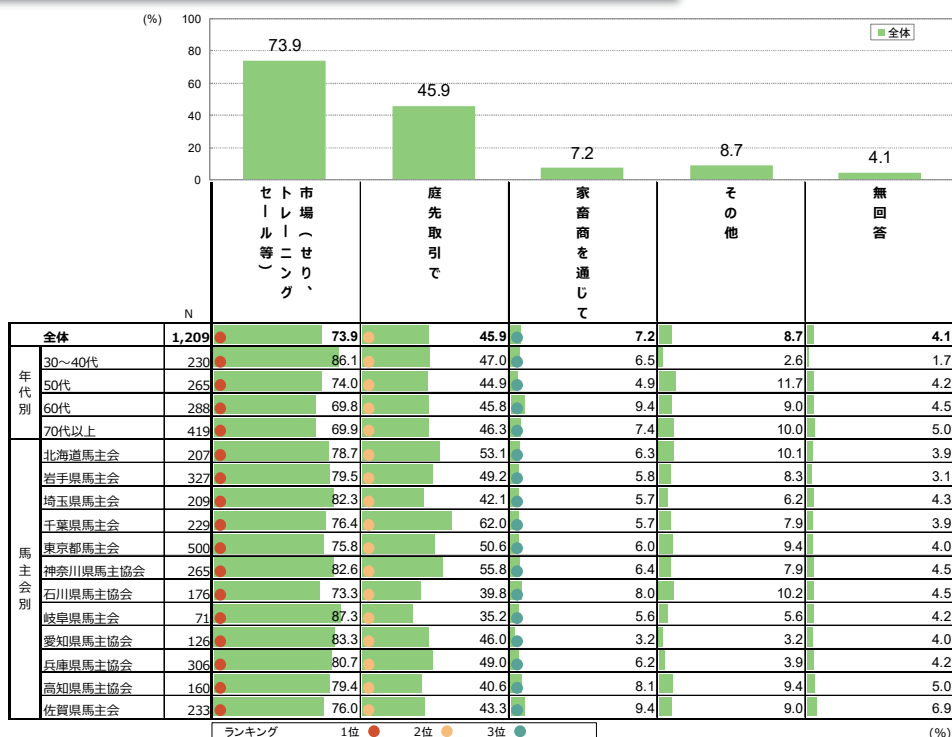
- ▶ いずれの年代も、「市場」が最も高く、以下「庭先取引で」、「家畜商を通じて」の順となっている。
- ▶ 「市場」は、『30～40代』で86.1%、『50代』で74.0%、『60代』で69.8%、『70代以上』で69.9% となっており、『30～40代』は、それ以上の年代と比べて、「市場」が高い。

【所属馬主会】

- ▶ いずれの馬主会も、「市場」が最も高く、以下「庭先取引で」、「家畜商を通じて」の順となっている。
- ▶ 「市場」は、『岐阜県馬主会』(87.3%) が最も高い一方、「庭先取引で」は、『岐阜県馬主会』(35.2%) が最も低い。

幼駒の購入について

【図表Ⅲ-25 幼駒を購入する際の購入方法】



購入する幼駒の平均的な価格帯

【すべての方に】

問 26 あなたが、購入する幼駒の平均的な価格帯をお答えください。(○は1つだけ)

- ▶ 購入する幼駒の平均的な価格帯について聞いたところ、『全体』で「100万～300万円未満」(31.2%)が最も高く、以下「300万～500万円未満」(28.4%)、「500万～700万円未満」(15.6%)などの順となっており、「500万円以上」が32.8%となっている。

【年代】

- ▶ 『60代以下』は、「100万～300万円未満」が最も高く、以下「300万～500万円未満」、「500万～700万円未満」などの順となっている。
- ▶ 『70代以上』は、「300万～500万円未満」(27.9%)が最も高く、以下「100万～300万円未満」(26.7%)、「500万～700万円未満」(19.6%)などの順となっている。
- ▶ 「500万円以上」は、『30～40代』で23.5%、『50代』で30.9%、『60代』で33.0%、『70代以上』で38.7%となっており、年代が上がるほど、高額な価格帯の比率が高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『高知県馬主協会』は、「100万～300万円未満」(32.5%)が最も高く、その他の馬主会は、「300万～500万円未満」が最も高い。(『愛知県馬主協会』は、「100万～300万円未満」と「300万～500万円未満」が31.0%で同率に並ぶ。)
- ▶ 『東京都馬主会』、『兵庫県馬主協会』は、「500万円以上」が4割を超えている。

【図表Ⅲ-26 購入する幼駒の平均的な価格帯】

		N	100万円未満	100万～300万円未満	300万～500万円未満	500万～700万円未満	700万～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	500万円以上
年代別	全体	1,209	2.5	31.2	28.4	15.6	8.9	8.4	5.1	32.8
	30～40代	230	3.9	38.7	31.7	12.2	5.7	5.7	2.2	23.5
	50代	265	2.6	32.1	26.4	13.2	7.9	9.8	7.9	30.9
	60代	288	2.8	31.3	28.1	13.9	10.1	9.0	4.9	33.0
	70代以上	419	1.4	26.7	27.9	19.6	10.5	8.6	5.3	38.7
馬主会別	北海道馬主会	207	1.0	29.5	32.4	15.5	8.7	9.2	3.9	33.3
	岩手県馬主会	327	2.8	27.5	31.5	13.5	7.6	11.9	5.2	33.0
	埼玉県馬主会	209	3.3	27.8	29.7	15.8	7.7	11.0	4.8	34.4
	千葉県馬主会	229	1.7	18.8	35.8	21.8	9.2	8.7	3.9	39.7
	東京都馬主会	500	1.0	20.4	31.2	19.0	11.4	12.0	5.0	42.4
	神奈川県馬主協会	265	1.5	29.1	29.4	17.4	8.3	7.9	6.4	33.6
	石川県馬主協会	176	2.8	29.0	33.5	13.1	8.5	8.5	4.5	30.1
	岐阜県馬主会	71	2.8	28.2	32.4	8.5	7.0	18.3	2.8	33.8
	愛知県馬主協会	126	3.1	31.0	31.0	15.1	5.6	12.7	4.8	33.3
	兵庫県馬主協会	306	2.0	22.5	25.5	18.6	13.7	13.7	3.9	46.1
	高知県馬主協会	160	3.8	32.5	26.3	16.9	6.9	7.5	6.3	31.3
	佐賀県馬主会	233	1.7	30.9	31.8	14.6	5.2	8.6	7.3	28.3

(%) (%)

幼駒を購入する際に実馬を見るか

【すべての方に】

問 27 あなたが、幼駒を購入する際、実馬を見て購入されていますか。(○は1つだけ)

- ▶ 幼駒を購入する際、実馬を見て購入するかを聞いたところ、『全体』で「必ず見て購入している」(50.6%) が最も高く、約半数を占める。以下、「その時々による」(31.5%)、「あまり見ないで購入している」(7.3%)、「全く見ないで購入している」(5.5%) となっている。

【年代】

- ▶ いずれの年代も、「必ず見て購入している」が最も高い。
- ▶ 「必ず見て購入している」は、『30～40代』で60.4%、『50代』で55.8%、『60代』で48.3%、『70代以上』で43.7%となっており、年代が下がるほど高い。
- ▶ 「全く見ないで購入している」は、『30～40代』で1.7%、『50代』で3.0%、『60代』で6.6%、『70代以上』で8.4%となっており、年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ いずれの馬主会も、「必ず見て購入している」が最も高い。
- ▶ 「必ず見て購入している」は、『北海道馬主会』が72.0%で最も高い。

幼駒の購入について

【図表III-27 幼駒を購入する際に実馬を見るか】

		N	必ず見て購入している	その時々による	あまり見ないで購入している	全く見ないで購入している	無回答	
全体		1,209	50.6		31.5	7.3	5.5	5.0
年代別	30～40代	230	60.4		27.0	8.7	1.7	2.2
	50代	265	55.8		29.1	4.2	3.0	7.9
	60代	288	48.3		33.7	6.3	6.6	5.2
	70代以上	419	43.7		33.9	9.3	8.4	4.8
馬主会別	北海道馬主会	207	72.0		21.7	1.9	3.9	0.5
	岩手県馬主会	327	57.8		27.8	5.5	3.4	5.5
	埼玉県馬主会	209	57.9		27.3	5.3	4.8	4.8
	千葉県馬主会	229	57.6		27.5	5.2	4.8	4.8
	東京都馬主会	500	56.2		29.8	4.4	4.6	5.0
	神奈川県馬主協会	265	53.6		32.8	4.9	2.3	6.4
	石川県馬主協会	176	51.7		31.8	7.4	5.1	4.0
	岐阜県馬主会	71	57.7		32.4	2.8	4.2	2.8
	愛知県馬主協会	126	58.7		26.2	7.9	3.2	4.0
	兵庫県馬主協会	306	51.0		33.0	7.8	4.2	3.9
	高知県馬主協会	160	55.0		30.0	2.5	5.6	6.9
	佐賀県馬主会	233	55.8		24.5	8.2	4.3	7.3

(%)

幼駒の販売情報の提供状況

【すべての方に】

問 28 あなたが、馬主の立場から見て、幼駒の販売情報が十分提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

▶馬主の立場から見て、幼駒の販売情報が十分提供されているかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が2.5%、「そう思う」が24.6%となっており、合わせた「思う・計」は27.0%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）は、29.2%であった。

【年代】

▶『60代以下』は、「思わない・計」が「思う・計」より高く、『70代以上』は「思う・計」の方が高い。

【所属馬主会】

▶『北海道馬主会』は、「思う・計」が35.7%、「思わない・計」が23.7%、『東京都馬主会』は、「思う・計」が28.2%、「思わない・計」が27.8%となっており、幼駒の販売情報が十分提供されていると「思う」人のほうが多い。
▶その他の馬主会は、「思わない・計」が「思う・計」より高く、幼駒の販売情報が十分提供されると「思わない」人のほうが多い。

【図表Ⅲ-28 幼駒の販売情報の提供状況】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	2.5	24.6	39.9	25.1	4.1	3.9	27.0	29.2
年代別	30～40代	230	3.0	22.6	36.5	29.6	6.1	2.2	25.7	35.7
	50代	265	2.3	23.4	39.6	25.7	4.5	4.5	25.7	30.2
	60代	288	1.7	21.5	42.7	26.7	3.5	3.8	23.3	30.2
	70代以上	419	2.9	28.4	40.1	21.5	2.6	4.5	31.3	24.1
馬主会別	北海道馬主会	207	6.3	29.5	37.7	19.3	4.3	2.9	35.7	23.7
	岩手県馬主会	327	1.8	22.6	37.3	29.1	5.2	4.0	24.5	34.3
	埼玉県馬主会	209	2.9	21.5	37.8	29.2	4.3	4.3	24.4	33.5
	千葉県馬主会	229	3.5	25.3	38.9	24.5	4.8	3.1	28.8	29.3
	東京都馬主会	500	3.0	25.2	40.4	24.2	3.6	3.6	28.2	27.8
	神奈川県馬主協会	265	1.1	23.0	43.8	23.8	3.8	4.5	24.2	27.5
	石川県馬主協会	176	4.0	17.0	40.3	29.0	6.3	3.4	21.0	35.2
	岐阜県馬主会	71	4.2	19.7	40.8	31.0	1.4	2.8	23.9	32.4
	愛知県馬主協会	126	3.2	22.2	40.5	27.8	2.4	4.0	25.4	30.2
	兵庫県馬主協会	306	2.0	21.2	41.2	28.8	2.9	3.9	23.2	31.7
	高知県馬主協会	160	1.3	18.8	36.3	33.8	5.0	5.0	20.0	38.8
	佐賀県馬主会	233	1.3	19.3	43.3	27.0	3.4	5.6	20.6	30.5

(%) (%) (%)

現役競走馬の購入状況

【すべての方に】

問 29 あなたは、現役の競走馬を購入されることはありますか。（○は1つだけ）

- ▶現役の競走馬を購入するかを聞いたところ、『全体』で「よく購入する」が14.0%、「たまに購入する」が41.9%となっており、合わせた「購入する・計」は55.8%であった。一方、「購入しない」は41.2%であった。

【年代】

- ▶「購入する・計」は、『30～40代』で69.1%、『50代』で53.2%、『60代』で53.5%、『70代以上』で51.8%となっており、『30～40代』は他の年代と比べて高い。

【所属馬主会】

- ▶他の馬主会と比べて、『高知県馬主協会』は、唯一「よく購入する」が3割を超えており、「購入する・計」が7割を占めている。
- ▶その他の馬主会は、「購入する・計」が5割～7割となっている。

【図表Ⅲ-29 現役競走馬の購入状況】

		N	よく購入する	たまに購入する	購入しない	無回答	購入する・計
全体		1,209	14.0	41.9	41.2	3.0	55.8
年代別	30～40代	230	13.9	55.2	29.6	1.3	69.1
	50代	265	11.7	41.5	43.0	3.8	53.2
	60代	288	13.2	40.3	43.1	3.5	53.5
	70代以上	419	15.8	36.0	45.1	3.1	51.8
馬主会別	北海道馬主会	207	12.1	42.0	44.0	1.9	54.1
	岩手県馬主会	327	17.7	46.2	33.9	2.1	63.9
	埼玉県馬主会	209	11.0	46.4	38.8	3.8	57.4
	千葉県馬主会	229	14.0	36.7	46.7	2.6	50.7
	東京都馬主会	500	10.0	40.6	46.2	3.2	50.6
	神奈川県馬主協会	265	17.0	41.9	37.0	4.2	58.9
	石川県馬主協会	176	22.7	46.6	29.0	1.7	69.3
	岐阜県馬主会	71	22.5	36.6	38.0	2.8	59.2
	愛知県馬主協会	126	14.3	43.7	38.9	3.2	57.9
	兵庫県馬主協会	306	11.4	38.6	46.7	3.3	50.0
	高知県馬主協会	160	31.9	41.9	24.4	1.9	73.8
	佐賀県馬主会	233	24.0	36.9	33.5	5.6	60.9

(%)

(%)

購入する現役競走馬の年齢

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 30 主に何歳の競走馬を購入されますか。(○は1つだけ)

- ▶現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、購入する現役競走馬の年齢について聞いたところ、『全体』で「3歳」(58.8%)が最も高く、以下「4～6歳」(24.9%)、「2歳」(13.0%)などの順となっている。

【年代】

- ▶いずれの年代も、「3歳」が5～6割を占め、最も高い。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「3歳」が最も高い。
- ▶他の馬主会と比べて、『愛知県馬主協会』は、「3歳」(76.7%)の構成比が高く、「4～6歳」が低い。

【図表 III-30 購入する現役競走馬の年齢】

		N	2歳	3歳	4～6歳	7歳以上	無回答
全体		675	13.0	58.8	24.9	0.7	2.5
年代別	30～40代	159	11.9	59.7	25.8	0.6	1.9
	50代	141	9.2	64.5	24.1	0.7	1.4
	60代	154	11.0	55.2	28.6	1.3	3.9
	70代以上	217	17.5	57.1	22.6	2.8	
	馬主会別	北海道馬主会	112	17.0	58.9	21.4	0.9
	岩手県馬主会	209	9.6	65.1	24.4	1.0	
	埼玉県馬主会	120	11.7	67.5	19.2	1.7	
	千葉県馬主会	116	14.7	57.8	25.0	0.9	1.7
	東京都馬主会	253	19.4	52.2	25.3	0.4	2.8
	神奈川県馬主協会	156	11.5	55.1	28.2	5.1	
	石川県馬主協会	122	10.7	63.1	22.1	0.8	3.3
	岐阜県馬主会	42	14.3	66.7	19.0	--	
	愛知県馬主協会	73	13.7	76.7	8.2	1.4	
	兵庫県馬主協会	153	14.4	58.2	26.1	1.3	
	高知県馬主協会	118	9.3	59.3	27.1	0.8	3.4
	佐賀県馬主会	142	9.9	68.3	21.1	0.7	

(%)

購入する現役競走馬の所属

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 31 主にどこ所属の競走馬を購入されますか。(○は1つだけ)

- ▶現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、主にどこの所属の競走馬を購入するかを聞いたところ、『全体』で「中央・地方競馬の所属のどちらでも」(47.4%)が最も高く、以下「中央競馬」(37.8%)、「地方競馬」(13.8%)の順となっている。
- ▶「地方競馬の競馬場名」には、「南関東や北海道(門別)」などの競馬場名が挙がっている。

【年代】

- ▶いずれの年代も、「中央・地方競馬の所属のどちらでも」が4割半ば～5割台を占め、最も高い。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「中央・地方競馬の所属のどちらでも」が4割半ば～6割を占め、最も高い。

【図表 III-31 購入する現役競走馬の所属】

		N	中央・地方競馬の所属のどちらでも	中央競馬	地方競馬	無回答
全体		675	47.4	37.8	13.8	1.0
年代別	30～40代	159	44.0	40.3	15.1	0.6
	50代	141	48.9	37.6	13.5	-
	60代	154	53.2	33.8	11.7	1.3
	70代以上	217	45.2	38.7	14.3	1.8
馬主会別	北海道馬主会	112	49.1	40.2	9.8	0.9
	岩手県馬主会	209	50.2	39.2	10.5	-
	埼玉県馬主会	120	50.8	30.0	18.3	0.8
	千葉県馬主会	116	47.4	37.9	13.8	0.9
	東京都馬主会	253	50.6	37.2	11.9	0.4
	神奈川県馬主協会	156	44.9	39.1	13.5	2.6
	石川県馬主協会	122	50.8	39.3	7.4	2.5
	岐阜県馬主会	42	57.1	31.0	11.9	-
	愛知県馬主協会	73	52.1	31.5	15.1	1.4
	兵庫県馬主協会	153	49.0	37.9	11.8	1.3
	高知県馬主協会	118	53.4	34.7	11.0	0.8
	佐賀県馬主会	142	54.9	30.3	14.8	-

(%)

現役競走馬の購入方法

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 32 購入方法は、主にどのようにされていますか。(○は1つだけ)

- ▶ 現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、現役競走馬の主な購入方法について聞いたところ、『全体』で「ネットオークションを通じて」(46.2%) が最も高く、以下「調教師等を介して」(34.2%)、「馬主と直接交渉して」(12.0%) などの順となっている。
- ▶ 「その他」には、「生産牧場や育成関係者を介して」などが挙がっている。

【年代】

- ▶ 『70代以上』は、「調教師等を介して」(50.7%) が最も高く、以下「ネットオークションを通じて」(25.3%)、「馬主と直接交渉して」(11.5%) などの順となっている。
- ▶ 『60代以下』では、「ネットオークションを通じて」が最も高く、以下「調教師等を介して」、「馬主と直接交渉して」などの順となっている。
- ▶ 「ネットオークションを通じて」は、年代が下がるほど高く、「調教師等を介して」は年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ いずれの馬主会も、「ネットオークションを通じて」が最も高く、以下「調教師等を介して」、「馬主と直接交渉して」などの順となっている。
- ▶ 「ネットオークションを通じて」は、『岩手県馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』で5割を超えている。

【図表 III-32 現役競走馬の購入方法】

N		ネットオークション を通じて	調教師等を 介して	馬主と 直接交渉して	家畜商を 通じて	その他	無回答
全体	675	46.2	34.2	12.0	3.7	2.5	1.3
年代別	30~40代	67.3	22.0	8.2	1.9	0.6	0.6
	50代	60.3	23.4	12.1	2.8	1.4	1.1
	60代	42.2	33.1	15.6	5.2	3.2	0.6
	70代以上	25.3	50.7	11.5	4.6	4.1	3.7
馬主会別	北海道馬主会	47.3	30.4	12.5	1.8	4.5	3.6
	岩手県馬主会	59.8	22.5	11.5	2.4	3.3	0.5
	埼玉県馬主会	47.5	33.3	8.3	4.2	4.2	2.5
	千葉県馬主会	48.3	30.2	11.2	6.0	4.3	4.3
	東京都馬主会	46.2	33.6	11.5	3.6	3.6	1.6
	神奈川県馬主協会	55.1	25.6	10.9	2.6	3.8	1.9
	石川県馬主協会	45.1	32.8	11.5	3.3	5.7	1.6
	岐阜県馬主会	45.2	31.0	19.0	2.4	2.4	2.4
	愛知県馬主協会	49.3	28.8	16.4	1.4	2.7	1.4
	兵庫県馬主協会	60.1	23.5	8.5	2.6	4.6	0.7
	高知県馬主協会	66.9	21.2	5.1	4.2	1.7	0.8
	佐賀県馬主会	47.9	31.7	11.3	5.6	3.5	3.5

(%)

購入する現役競走馬の平均的な価格帯

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 33 あなたが、購入する現役競走馬の平均的な価格帯をお答えください。(○は1つだけ)

▶現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、購入する現役競走馬の平均的な価格帯について聞いたところ、『全体』で「100万～200万円未満」(39.0%)が最も高く、以下「200万～300万円未満」(21.5%)、「50万～100万円未満」(20.6%)などの順となっている。

【年代】

▶『70代以上』は、「100万～200万円未満」(30.9%)が最も高く、以下「200万～300万円未満」(27.2%)、「300万～500万円未満」(15.7%)などの順となっている。

▶それ以外の年代では、「100万～200万円未満」が最も高く、以下「50万～100万円未満」、「200万～300万円未満」などの順となっている。

▶「200万円以上」は、『30～40代』で27.7%、『50代』で25.5%、『60代』で31.8%、『70代以上』で49.3%となっており、『70代以上』は「200万円以上」が約半数を占めている。

【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「100万～200万円未満」が最も高い。

▶「200万円以上」は、『北海道馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『高知県馬主協会』で4割台、『岩手県馬主会』、『埼玉県馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『兵庫県馬主協会』で3割台、その他の馬主会で2割台となっている。

現役競走馬の購入

【図表 III-33 購入する現役競走馬の平均的な価格帯】

		N	50万円未満	50万～100万円未満	100万～200万円未満	200万～300万円未満	300万～500万円未満	500万～1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	200万円以上
全体		675	4.1	20.6	39.0	21.5	9.3	3.4	1.0	1.0	35.3
年代別	30～40代	159	4.4	23.9	42.8	18.9	6.9	1.9	1.3	27.7	
	50代	141	7.1	19.1	48.2	15.6	6.4	2.1	1.4	25.5	
	60代	154	3.9	26.0	38.3	20.8	5.8	3.2	1.9	31.8	
	70代以上	217	2.3	15.2	30.9	27.2	15.7	5.5	2.3	0.9	49.3
馬主会別	北海道馬主会	112	2.7	14.3	41.1	17.9	19.6	2.7	1.8	40.2	
	岩手県馬主会	209	4.8	22.0	37.3	20.1	12.0	2.4	0.5	35.4	
	埼玉県馬主会	120	5.8	18.3	36.7	21.7	11.7	4.2	1.7	37.5	
	千葉県馬主会	116	1.7	8.6	43.1	23.3	18.1	4.3	0.9	45.7	
	東京都馬主会	253	3.6	12.6	36.8	23.3	14.2	5.9	2.8	46.2	
	神奈川県馬主協会	156	4.5	13.5	39.7	21.8	11.5	5.8	2.8	39.7	
	石川県馬主協会	122	5.7	16.4	45.1	16.4	10.7	2.5	3.3	29.5	
	岐阜県馬主会	42	4.8	23.8	42.9	9.5	16.7	2.4	28.6		
	愛知県馬主協会	73	1.4	23.3	52.1	8.2	11.0	1.4	2.7	20.5	
	兵庫県馬主協会	153	3.3	15.7	44.4	20.9	9.8	3.9	1.3	35.3	
	高知県馬主協会	118	1.7	16.1	40.7	22.9	13.6	3.4	0.8	40.7	
	佐賀県馬主会	142	3.5	21.8	44.4	20.4	6.3	2.8	0.7	29.6	

現役競走馬を購入する魅力

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 34 幼駒を購入する場合と比較して、現役の競走馬を購入する魅力はどこにありますか。(〇はいくつでも)

- ▶ 現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、幼駒と比較した際の現役競走馬を購入する魅力について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」(75.3%) が最も高く、以下「競走成績から今後の活躍が見込めるから」(44.4%)、「競走成績から能力、癖、体質などよくわかるから」(36.1%) などの順となっている。
- ▶ 「その他」には、「繁殖のため」などが挙がっている。

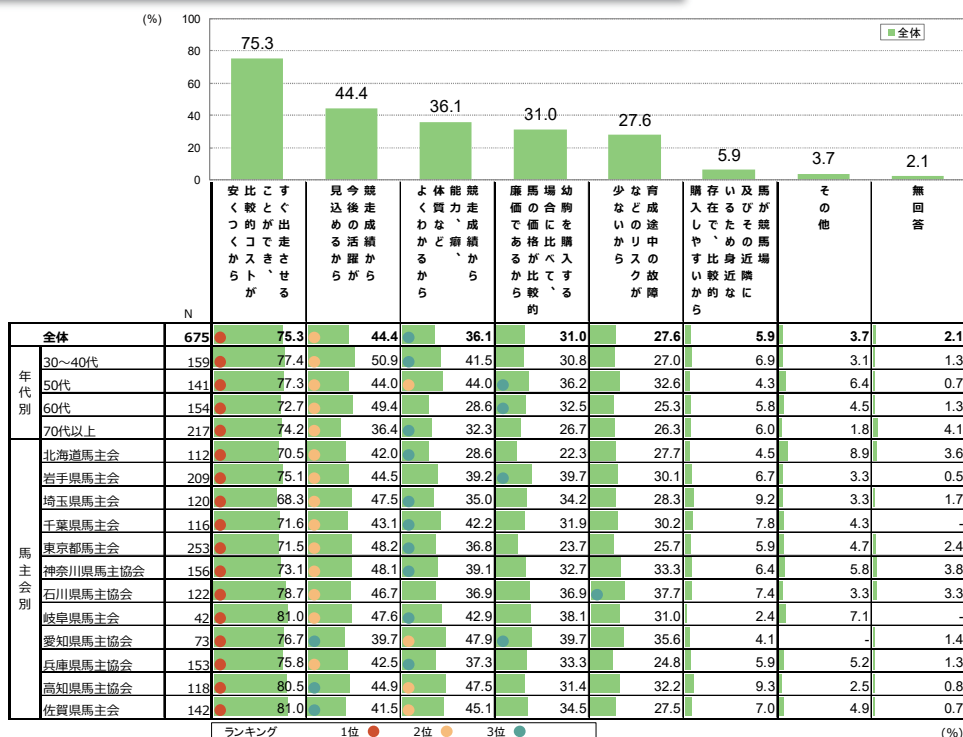
【年代】

- ▶ いずれの年代も、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」が最も高い。
- ▶ 「競走成績から能力、癖、体質などよくわかるから」は、『30～40代』で41.5%、『50代』で44.0%、『60代』で28.6%、『70代以上』で32.3%となっており、『50代以下』は、それ以上の年代と比べて高い。

【所属馬主会】

- ▶ いずれの馬主会も、「すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから」が最も高い。次いで『愛知県馬主協会』、『高知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』は、「競走成績から能力、癖、体質などよくわかるから」、その他の馬主会は、「競走成績から今後の活躍が見込めるから」が高い。

【図表Ⅲ-34 現役競走馬を購入する魅力】



現役競走馬の販売希望馬情報の情報源

【問 29 で現役の競走馬を「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 35 あなたは、現役の競走馬の販売希望馬情報を、主に誰から得ていますか。(○はいくつでも)

▶現役の競走馬を「よく購入する」または「たまに購入する」と回答された方に、現役の競走馬の販売希望馬情報の情報源について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「ネットオークション」(48.0%)が最も高く、以下「地方競馬調教師」(42.1%)、「地方競馬馬主」(16.9%)などの順となっている。

【年代】

▶『60代以下』は、「ネットオークション」が最も高く、以下「地方競馬調教師」などの順、『70代以上』は、「地方競馬調教師」(50.7%)が最も高く、以下「ネットオークション」(29.5%)などの順となっている。

▶「ネットオークション」は、『30～40代』で64.2%、『50代』で64.5%、『60代』で43.5%、『70代以上』で29.5%となっており、『70代以上』は、それ以下の年代と比べて低い。

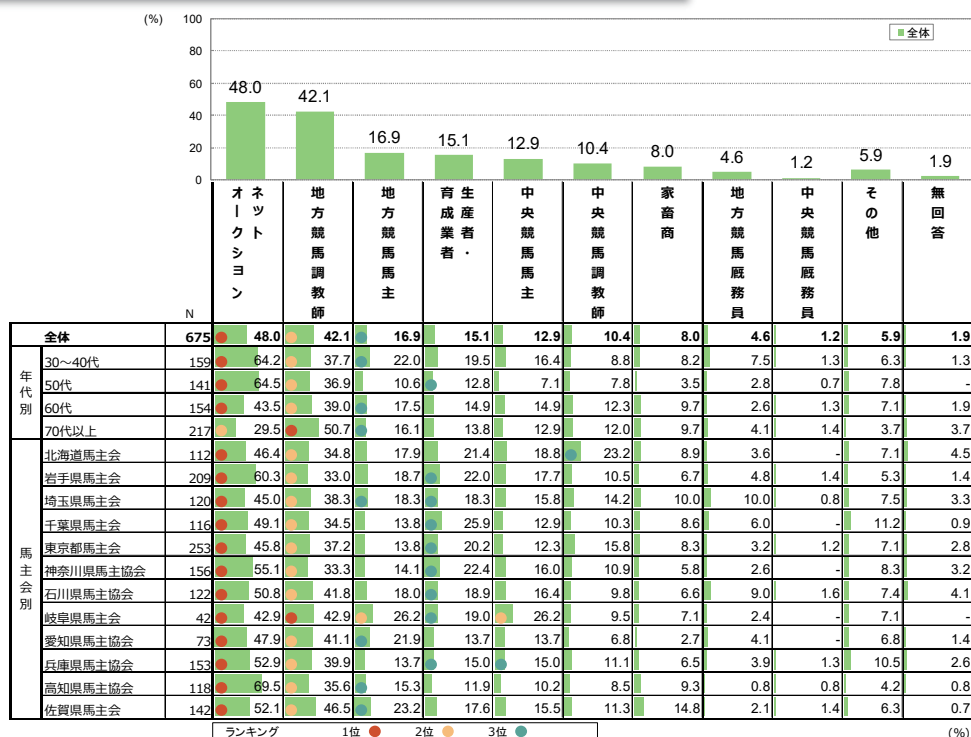
【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「ネットオークション」が最も高く、次いで「地方競馬調教師」が続く。(『岐阜県馬主会』は、「ネットオークション」と「地方競馬調教師」が同率で最も高い。)

▶「ネットオークション」は、『高知県馬主協会』が69.5%で最も高い。

現役競走馬に購入したい馬主の

【図表 III-35 現役競走馬の販売希望馬情報の情報源】



現役競走馬の販売情報の提供状況

【すべての方に】

問 36 あなたが、馬主の立場から見て、現役競走馬の販売希望馬情報は十分に提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

▶馬主の立場から見て、現役競走馬の販売希望馬情報が十分提供されているかを聞いたところ、『全体』で「とてもそう思う」が0.7%、「そう思う」が15.5%となっており、合わせた「思う・計」は16.2%であった。一方、「思わない・計」（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）は35.5%であった。

【年代】

▶「思わない・計」は、『30～40代』で39.6%、『50代』で33.6%、『60代』で37.5%、『70代以上』で33.2%となっており、いずれの年代も、現役競走馬の販売情報が十分提供されていると「思わない」人のほうが多い。

【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「思わない・計」が「思う・計」より高く、現役競走馬の販売情報が十分提供されていると「思わない」人のほうが多い。

▶『石川県馬主協会』は、「思わない・計」が47.7%で、約半数を占めている。

【図表Ⅲ-36 現役競走馬の販売情報の提供状況】

		N	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	思う・計	思わない・ 計
全体		1,209	0.7	15.5	41.6	29.0	6.5	6.7	16.2	35.5
年代別	30～40代	230	0.9	17.4	39.1	30.4	9.1	3.0	18.3	39.6
	50代	265	0.4	15.5	43.8	28.7	4.9	6.8	15.8	33.6
	60代	288	0.7	14.6	41.0	30.6	6.9	6.3	15.3	37.5
	70代以上	419	1.0	15.0	42.0	27.9	5.3	8.8	16.0	33.2
馬主会別	北海道馬主会	207	1.4	13.0	42.5	30.0	5.3	7.7	14.5	35.3
	岩手県馬主会	327	0.9	14.1	40.4	33.0	5.8	5.8	15.0	38.8
	埼玉県馬主会	209	1.0	11.0	44.5	30.1	5.7	7.7	12.0	35.9
	千葉県馬主会	229	0.9	16.6	40.6	29.7	6.6	5.7	17.5	36.2
	東京都馬主会	500	0.8	15.6	40.4	28.8	6.6	7.8	16.4	35.4
	神奈川県馬主協会	265	0.8	15.8	38.5	27.2	6.8	10.9	16.6	34.0
	石川県馬主協会	176	1.7	11.4	33.0	39.2	8.5	6.3	13.1	47.7
	岐阜県馬主会	71	1.4	12.7	43.7	33.8	5.6	2.8	14.1	39.4
	愛知県馬主協会	126	0.8	14.3	40.5	34.9	2.4	7.1	15.1	37.3
	兵庫県馬主協会	306	0.7	12.4	39.9	33.0	7.5	6.5	13.1	40.5
	高知県馬主協会	160	1.3	13.1	35.0	35.6	9.4	6.9	13.1	45.0
	佐賀県馬主会	233	0.4	15.0	41.2	27.0	7.7	8.6	15.5	34.8

(%) (%) (%)

所有馬の転厩意向

【すべての方に】

問 37 他場に所有馬を転厩させることについて、あなたは、どのようにお考えですか。（○は1つだけ）

▶他場に所有馬を転厩させることについて聞いたところ、『全体』で「積極的に転厩させたい」が10.3%、「転厩させたい」が17.0%となっており、合わせた「転厩させたい・計」は27.3%であった。一方、「転厩させたくない・計」（「あまり転厩させたくない」＋「転厩させたくない」）は、40.7%であった。

【年代】

▶「転厩させたくない・計」は、『30～40代』で31.7%、『50代』で37.7%、『60代』で40.6%、『70代以上』で46.8%となっており、いずれの年代も「転厩させたくない・計」が「転厩させたい・計」より高い。「転厩させたい・計」は、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶「転厩させたい・計」は、『北海道馬主会』、『石川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『高知県馬主協会』が4割台、その他の馬主会は3割台となっている。

▶『埼玉県馬主会』、『東京都馬主会』、『兵庫県馬主協会』は、「転厩させたくない・計」が「転厩させたい・計」より高い。

【図表III-37 所有馬の転厩意向】

		N	積極的に 転厩させたい	転厩させたい	どちらとも いえない	あまり転厩 させたくない	転厩 させたくない	無回答	転厩させ たい計	転厩させ たくない計
全体		1,209	10.3	17.0	31.1		31.3	9.3	27.3	40.7
年代別	30～40代	230	14.3	17.0	36.5		27.8	3.9	31.3	31.7
	50代	265	10.6	20.0	30.6		30.6	7.2	30.6	37.7
	60代	288	9.4	15.6	33.3		30.2	10.4	25.0	40.6
	70代以上	419	8.6	16.2	27.4		33.7	13.1	24.8	46.8
馬主会別	北海道馬主会	207	18.8	27.1	33.8		18.8	1.0	45.9	19.8
	岩手県馬主会	327	14.4	23.9	28.1		27.8	5.5	38.2	33.3
	埼玉県馬主会	209	9.1	23.4	33.0		29.2	4.8	32.5	34.0
	千葉県馬主会	229	14.0	22.7	28.8		28.8	3.5	36.7	32.3
	東京都馬主会	500	11.4	20.2	34.0		28.6	4.6	31.6	33.2
	神奈川県馬主協会	265	14.7	20.4	33.2		26.0	4.9	35.1	30.9
	石川県馬主協会	176	17.6	23.3	25.0		25.0	9.1	40.9	34.1
	岐阜県馬主会	71	16.9	28.2	25.4		25.4	4.2	45.1	29.6
	愛知県馬主協会	126	15.1	22.2	27.0		26.2	8.7	37.3	34.9
	兵庫県馬主協会	306	10.8	19.9	27.5		32.7	8.5	30.7	41.2
	高知県馬主協会	160	20.6	21.9	27.5		26.3	2.5	42.5	28.8
	佐賀県馬主会	233	15.5	23.6	27.5		25.3	6.9	39.1	32.2

転厩所有馬のついで

転厩させる場合の所有馬の継続所有意向

【すべての方に】

問 38 他場に所有馬を転厩させる場合、あなたは、引き続き当該馬を所有されますか。(○は1つだけ)

- ▶他場に所有馬を転厩させる場合に、引き続き当該馬を所有するかを聞いたところ、『全体』で「引き続き馬主として所有する」(54.0%)が最も高く、以下「その時々による」(39.2%)、「他場に転厩させる場合は転売する」(5.2%)の順となっている。

【年代】

- ▶いずれの年代も、「引き続き馬主として所有する」が約半数を占めており、最も高い。
- ▶「他場に転厩させる場合は転売する」は、『30~40代』で2.6%、『50代』で3.0%、『60代』で5.2%、『70代以上』で8.1%となっており、年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「引き続き馬主として所有する」が最も高く、以下「その時々による」、「他場に転厩させる場合は転売する」の順となっている。
- ▶「引き続き馬主として所有する」は、『北海道馬主会』、『石川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『高知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』で6割台、その他の馬主会で5割台となっている。

【図表 III-38 転厩させる場合の所有馬の継続所有意向】

		N	引き続き馬主として所有する	その時々による	他場に転厩させる場合は転売する	無回答
全体		1,209	54.0	39.2	5.2	1.6
年代別	30~40代	230	57.0	40.0	2.6	0.4
	50代	265	51.7	43.0	3.0	2.3
	60代	288	49.0	44.1	5.2	1.7
	70代以上	419	57.3	32.9	8.1	1.7
馬主会別	北海道馬主会	207	62.3	34.3	2.9	0.5
	岩手県馬主会	327	59.0	36.7	4.0	0.3
	埼玉県馬主会	209	56.0	40.2	3.8	
	千葉県馬主会	229	59.8	33.6	4.8	1.7
	東京都馬主会	500	55.8	40.4	2.2	1.6
	神奈川県馬主協会	265	57.4	38.1	3.4	1.1
	石川県馬主協会	176	64.8	30.7	3.4	1.1
	岐阜県馬主会	71	63.4	35.2	1.4	
	愛知県馬主協会	126	53.2	40.5	3.2	3.2
	兵庫県馬主協会	306	54.9	38.9	4.6	1.6
	高知県馬主協会	160	61.3	35.0	2.5	1.3
	佐賀県馬主会	233	60.1	35.2	3.9	0.9

(%)

転厩させる場合の相談相手

【すべての方に】

問 39 他場に所有馬を転厩させる場合、あなたは、主にどなたと相談して決めますか。(〇はいくつでも)

▶他場に所有馬を転厩させる場合の主な相談相手について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「管理調教師」(82.4%)が最も高く、以下「馬主」(13.4%)、「生産者・育成業者」(12.3%)などの順となっている。

【年代】

▶『50代以下』は、「管理調教師」が最も高く、以下「馬主」、「生産者・育成業者」などの順となっている。

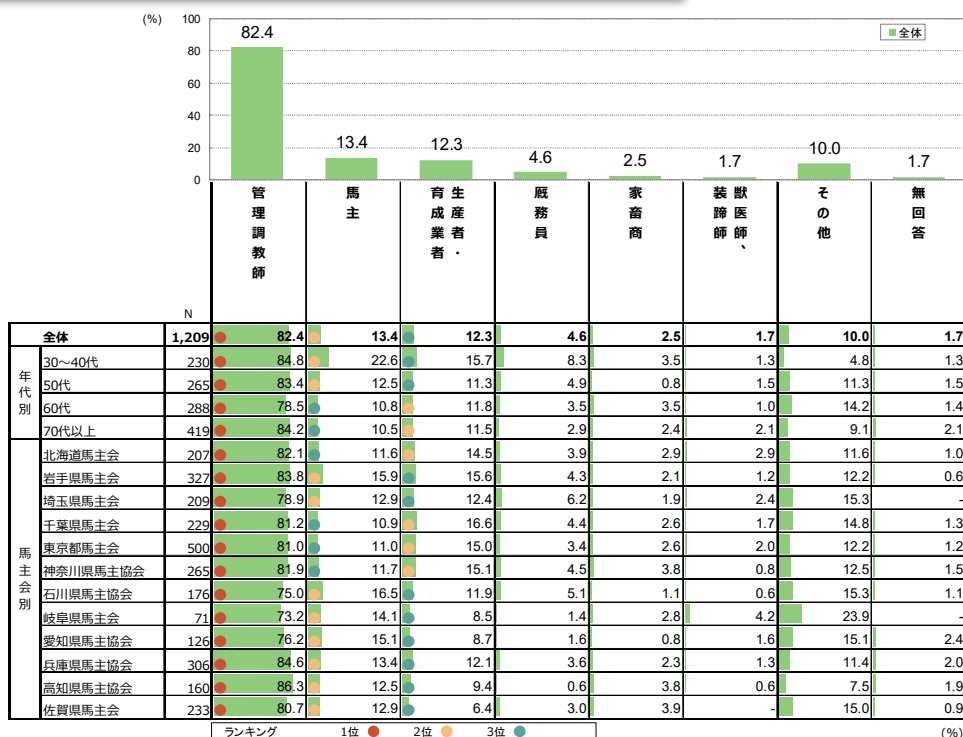
▶『60代以上』は、「管理調教師」が最も高く、以下「生産者・育成業者」、「馬主」などの順となっている。

▶「馬主」は、『30~40代』で22.6%、『50代』で12.5%、『60代』で10.8%、『70代以上』で10.5%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

▶いずれの馬主会も、「管理調教師」が最も高い。次いで『北海道馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』は、「生産者・育成業者」、「馬主」などの順、その他の馬主会は、「馬主」、「生産者・育成業者」などの順となっている。

【図表Ⅲ-39 転厩させる場合の相談相手】



転厩
所有馬
について

地方競馬場の転入条件等の認知状況

【すべての方に】

問 40 あなたは、各地の地方競馬場の転入条件等について、どの程度ご存知ですか。(○は1つだけ)

▶各地の地方競馬場の転入条件等について、どの程度知っているかを聞いたところ、『全体』で「よく知っている」が5.8%、「知っている」が33.7%となっており、合わせた「知っている・計」は39.5%であった。一方、「分からない・計」(「あまり分からない」+「全く分からない」)は59.6%であった。

【年代】

- ▶「分からない・計」は、『30~40代』で56.1%、『50代』で53.6%、『60代』で60.4%、『70代以上』で64.9%となっており、いずれの年代も、「分からない・計」が「知っている・計」より高い。
- ▶『50代以下』は、それ以上の年代と比べて、「知っている・計」が高い。

【所属馬主会】

- ▶『北海道馬主会』、『岩手県馬主会』、『埼玉県馬主会』、『千葉県馬主会』、『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『高知県馬主協会』は、「知っている・計」が5割台で、「分からない・計」より高い。
- ▶その他の馬主会は、「分からない・計」が5割を超えており、「知っている・計」より高い。

【図表 III-40 地方競馬場の転入条件等の認知状況】

		N	よく知っている	知っている	あまり分からない	全く分からない	無回答	知っている・計	分からない・計
全体		1,209	5.8	33.7		51.4	8.3	39.5	59.6
年代別	30~40代	230	5.2	37.8		50.0	6.1	43.0	56.1
	50代	265	5.7	40.0		45.3	8.3	45.7	53.6
	60代	288	6.6	32.3		51.0	9.4	38.9	60.4
	70代以上	419	5.7	28.4		56.1	8.8	34.1	64.9
馬主会別	北海道馬主会	207	11.1	43.0		42.5	2.9	54.1	45.4
	岩手県馬主会	327	11.3	40.4		43.4	4.6	51.7	48.0
	埼玉県馬主会	209	10.5	42.1		41.6	5.3	52.6	46.9
	千葉県馬主会	229	6.6	46.7		41.9	3.5	53.3	45.4
	東京都馬主会	500	9.6	42.0		41.0	6.4	51.6	47.4
	神奈川県馬主協会	265	8.7	45.7		41.5	3.8	54.3	45.3
	石川県馬主協会	176	13.6	32.4		42.0	11.9	46.0	54.0
	岐阜県馬主会	71	16.9	26.8		54.9	1.4	43.7	56.3
	愛知県馬主協会	126	11.9	30.2		54.0	2.4	42.1	56.3
	兵庫県馬主協会	306	7.5	28.1		56.5	6.5	35.6	63.1
	高知県馬主協会	160	8.8	41.3		45.0	4.4	50.0	49.4
	佐賀県馬主会	233	10.7	31.8		47.6	9.4	42.5	57.1

(%) (%) (%)

中央競馬から地方競馬に転入する際に重視する点

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録をしている」とお答えの方に】

問 41 地方競馬に転入するにあたり、あなたはどのようなことを最も重視されますか。(○は1つだけ)

- ▶中央競馬の馬主登録をしている方に、地方競馬に転入するにあたり、最も重視する点を聞いたところ、『全体』で「厩舎関係者の人材」(36.7%)が最も高く、以下「本賞金」(23.3%)、「出走手当」(17.0%)などの順となっている。
- ▶「その他」には、「馬の適性や調教師」などが挙がっている。

【年代】

- ▶『30～40代』、『70代以上』は、「厩舎関係者の人材」が最も高く、以下「本賞金」、「出走手当」などの順となっている。
- ▶『50代』は、「本賞金」(35.0%)が最も高く、以下「厩舎関係者の人材」(32.1%)、「出走手当」(14.6%)などの順となっている。
- ▶『60代』は、「厩舎関係者の人材」(36.6%)が最も高く、以下「出走手当」(21.4%)、「本賞金」(17.9%)などの順となっている。
- ▶「厩舎関係者の人材」は、年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶『埼玉県馬主会』、『千葉県馬主会』、『石川県馬主協会』は、「厩舎関係者の人材」が最も高く、以下「出走手当」、「本賞金」などの順となっている。
- ▶『岐阜県馬主会』は、「本賞金」(36.6%)が最も高く、以下「厩舎関係者の人材」(26.8%)、「出走手当」(22.0%)などの順となっている。
- ▶その他の馬主会は、「厩舎関係者の人材」が最も高く、以下「本賞金」、「出走手当」などの順となっている。

【図表Ⅲ-41 中央競馬から地方競馬に転入する際に重視する点】

		N	厩舎関係者の人材	本賞金	出走手当	調教施設	厩舎施設	その他	無回答
年代別	全体	589	36.7	23.3	17.0	6.5	3.4	11.7	1.5
	30～40代	82	30.5	23.2	19.5	1.2	2.4	20.7	2.4
	50代	137	32.1	35.0	14.6	3.6	1.5	12.4	0.7
	60代	145	36.6	17.9	21.4	6.9	6.2	9.7	1.4
	70代以上	225	41.8	19.6	14.7	9.8	3.1	9.3	1.8
馬主会別	北海道馬主会	127	40.2	22.0	17.3	8.7	0.8	11.0	-
	岩手県馬主会	179	33.0	22.3	16.8	6.7	4.5	16.2	0.6
	埼玉県馬主会	109	39.4	18.3	19.3	5.5	2.8	13.8	0.9
	千葉県馬主会	146	34.2	17.1	21.9	9.6	4.8	10.3	2.1
	東京都馬主会	319	33.9	25.4	18.8	6.3	3.8	11.0	0.9
	神奈川県馬主協会	148	29.1	24.3	18.2	6.1	3.4	17.6	1.4
	石川県馬主協会	86	39.5	17.4	18.6	7.0	4.7	12.8	-
	岐阜県馬主会	41	26.8	36.6	22.0	9.8	-	4.9	-
	愛知県馬主協会	72	40.3	30.6	15.3	4.2	6.9	2.8	-
	兵庫県馬主協会	194	36.1	25.3	13.9	8.8	3.1	11.3	1.5
	高知県馬主協会	86	30.2	19.8	19.8	7.0	1.2	19.8	2.3
	佐賀県馬主会	119	36.1	27.7	16.0	6.7	-	12.6	0.8

(%)

中央競馬から地方競馬に転入する際の改善点

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録をしている」とお答えの方に】

問 42 どのような点が改善されれば、転入を考えられますか。(○は1つだけ)

- ▶ 中央競馬の馬主登録をしている方に、どのような点が改善されれば、転入を考えるか聞いたところ、『全体』で「本賞金」(39.6%) が最も高く、以下「出走手当」(27.0%)、「厩舎関係者の人材」(12.2%) などの順となっている。
- ▶ 「その他」には、「事故見舞金や環境」などの意見が挙がっている。

【年代】

- ▶ 『50代』は、「本賞金」(41.6%) が最も高く、以下「出走手当」(29.2%)、「調教施設」(16.1%)、などの順となっている。
- ▶ 『50代以外』も、「本賞金」が最も高いが、以下「出走手当」、「厩舎関係者の人材」などの順となっている。
- ▶ 「本賞金」は、『30～40代』で46.3%、『50代』で41.6%、『60代』で38.6%、『70代以上』で36.4%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『高知県馬主協会』は、「出走手当」(36.0%) が最も高く、その他の馬主会は、「本賞金」が最も高い。
- ▶ 「調教施設」は、『石川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』では2割を超えている。

【図表Ⅲ-42 中央競馬から地方競馬に転入する際の改善点】

N		本賞金	出走手当	厩舎関係者の人材	調教施設	厩舎施設	その他	無回答	
全体	589	39.6	27.0	12.2	10.4	2.4	5.8	2.7	
年代別	30～40代	46.3	22.0	12.2	7.3	1.2	9.8	1.2	
	50代	41.6	29.2	5.8	16.1	2.2	2.9	2.2	
	60代	38.6	29.7	11.0	9.0	3.4	6.2	2.1	
	70代以上	36.4	25.8	16.9	8.9	2.2	5.8	4.0	
馬主会別	北海道馬主会	35.4	27.6	11.0	15.7	2.4	6.3	1.6	
	岩手県馬主会	38.0	30.7	7.3	14.0	1.7	7.3	1.1	
	埼玉県馬主会	37.6	27.5	12.8	13.8	0.9	3.7	3.7	
	千葉県馬主会	34.2	33.6	13.7	8.2	2.1	4.8	3.4	
	東京都馬主会	37.6	29.2	11.0	12.9	1.6	5.0	2.8	
	神奈川県馬主協会	148	40.5	33.8	8.8	7.4	2.0	6.1	1.4
	石川県馬主協会	86	32.6	27.9	12.8	23.3	1.2	2.3	
	岐阜県馬主会	41	29.3	26.8	9.8	26.8	2.4	4.9	
	愛知県馬主協会	72	31.9	26.4	15.3	19.4	1.4	2.8	2.8
	兵庫県馬主協会	194	36.6	25.3	13.9	12.4	3.1	6.7	2.1
	高知県馬主協会	86	34.9	36.0	10.5	10.5	2.3	5.8	
	佐賀県馬主会	119	39.5	23.5	15.1	11.8	2.5	5.9	1.7

(%)

所有馬の引退後の利活用状況

【すべての方に】

問 43 最近、あなたの所有馬を競走から引退させた後に、どのように利活用されましたか。(〇はいくつでも)

- ▶ 所有馬を競走から引退させた後に、どのように利活用したかを、複数回答で聞いたところ、『全体』で「乗馬」(72.4%) が最も高く、以下「繁殖供用」(47.2%)、「廃用」(32.9%) の順となっている。
- ▶ 「その他」には、「転売や養老牧場」などが挙がっている。

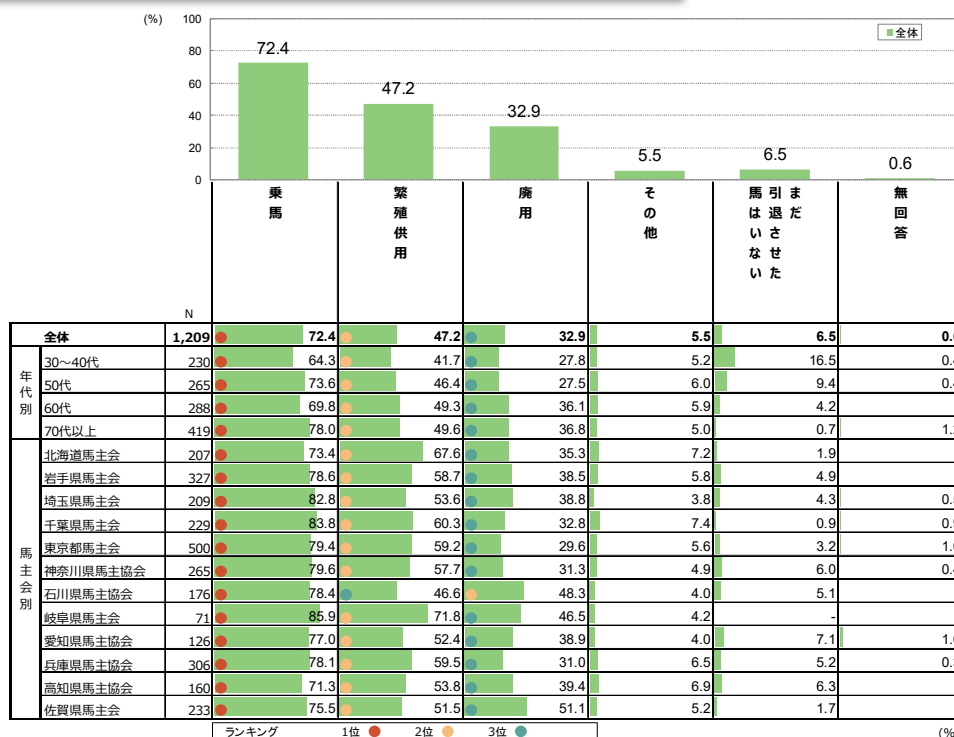
【年代】

- ▶ いずれの年代も、「乗馬」が最も高く、以下「繁殖供用」、「廃用」の順となっている。
- ▶ 「繁殖供用」は、『30～40代』は41.7%、『50代』は46.4%、『60代』は49.3%、『70代以上』は49.6%となっており、年代が上がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『石川県馬主協会』は、「乗馬」(78.4%) が最も高く、以下「廃用」(48.3%)、「繁殖供用」(46.6%) の順となっている。
- ▶ その他の馬主会は、「乗馬」が最も高く、以下「繁殖供用」、「廃用」の順となっている。

【図表Ⅲ-43 所有馬の引退後の利活用状況】



引退後の利活用について

所有馬の引退後の利活用についての考え

【すべての方に】

問 44 あなたは、競走馬引退後の利活用について、どのようにお考えですか。（○はいくつでも）

- ▶ 競走馬引退後の利活用について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「できるだけ乗馬に転用したい」（70.3%）が最も高く、以下「できるだけ繁殖に供したい」（50.6%）、「廃用も含め一番収入のある方法で対応したい」（19.9%）の順となっている。
- ▶ 「その他」には、「養老牧場」などが挙がっている。

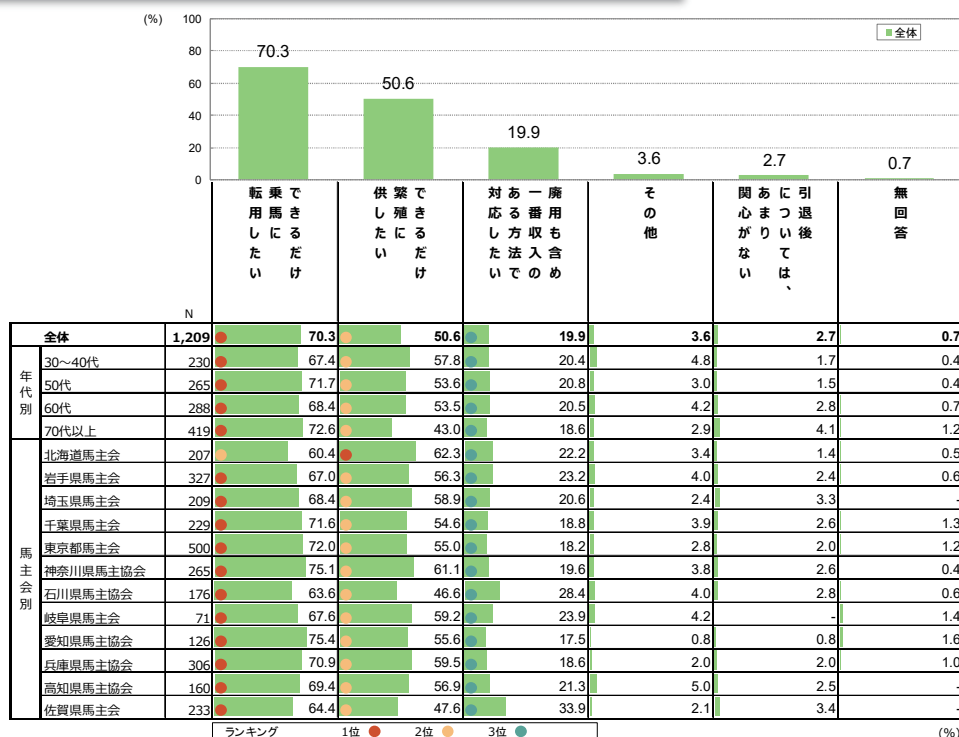
【年代】

- ▶ いずれの年代も、「できるだけ乗馬に転用したい」が最も高く、以下「できるだけ繁殖に供したい」、「廃用も含め一番収入のある方法で対応したい」の順となっている。
- ▶ 「できるだけ繁殖に供したい」は、『30～40代』は57.8%、『50代』は53.6%、『60代』は53.5%、『70代以上』は43.0%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶ 『北海道馬主会』は、「できるだけ繁殖に供したい」（62.3%）が最も高く、以下「できるだけ乗馬に転用したい」（60.4%）、「廃用も含め一番収入のある方法で対応したい」（22.2%）の順となっている。
- ▶ その他の馬主会は、「できるだけ乗馬に転用したい」が最も高く、以下「できるだけ繁殖に供したい」、「廃用も含め一番収入のある方法で対応したい」の順となっている。
- ▶ 「廃用も含め一番収入のある方法で対応したい」は、『佐賀県馬主会』で33.9%となっており、最も高い。

【図表Ⅲ-44 所有馬の引退後の利活用についての考え】



所有馬の引退後の相談相手

【すべての方に】

問 45 引退後の転用先について、あなたは、主にどなたにご相談されますか。（予定も含む）（○はいくつでも）

- ▶引退後の転用先についての相談相手を、複数回答で聞いたところ、『全体』で「調教師」（76.9%）が最も高く、以下「生産者・育成業者」（25.3%）、「馬主」（9.7%）などの順となっている。
- ▶「相談しないで自分で決める」は10.8%。
- ▶「その他」には、「友人・知人、親族、乗馬クラブ」などが挙がっている。

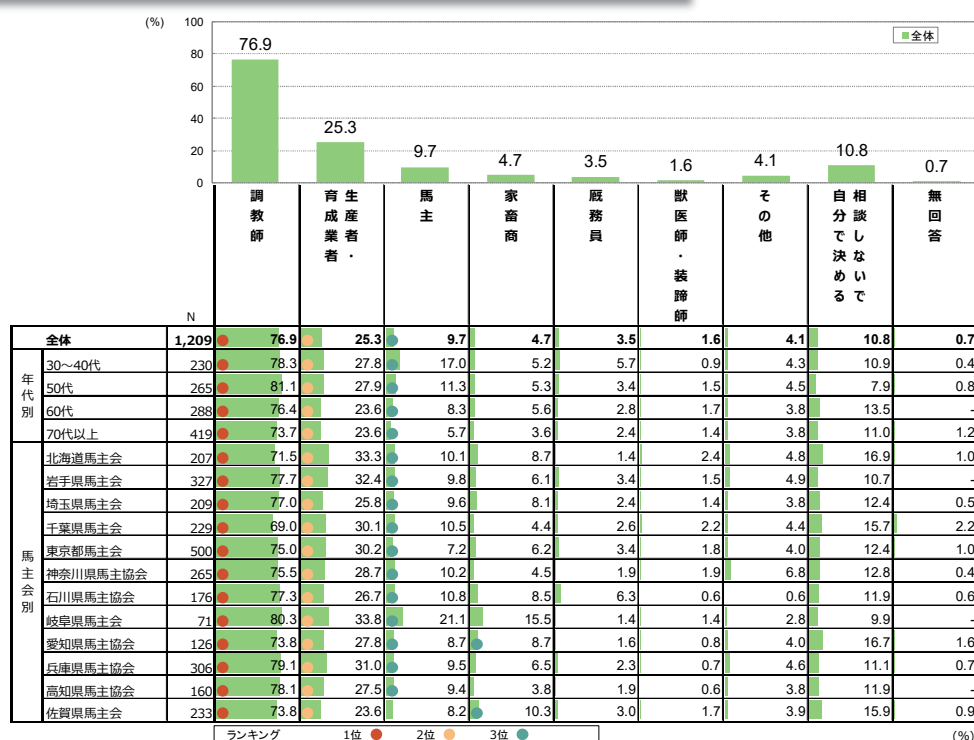
【年代】

- ▶いずれの年代も、「調教師」が最も高く、以下「生産者・育成業者」、「馬主」などの順となっている。
- ▶「馬主」は、『30～40代』は17.0%、『50代』は11.3%、『60代』は8.3%、『70代以上』は5.7%となっており、年代が下がるほど高い。

【所属馬主会】

- ▶『佐賀県馬主会』は、「調教師」（73.8%）が最も高く、以下「生産者・育成業者」（23.6%）、「家畜商」（10.3%）などの順となっている。
- ▶その他の馬主会は、「調教師」が最も高く、以下「生産者・育成業者」、「馬主」などの順となっている。（『愛知県馬主協会』は、「家畜商」が8.7%で「馬主」と同率で並ぶ。）

【図表Ⅲ-45 所有馬の引退後の相談相手】



引退後の
利活用について

繁殖に供したいと考えた場合の相談相手

【すべての方に】

問 46 繁殖に供したいと考えた場合、あなたは、主にどなたにご相談されますか。（予定も含む）（○はいくつでも）

- ▶繁殖に供したいと考えた場合の相談相手を、複数回答で聞いたところ、『全体』で「調教師」（49.3%）が最も高く、以下「生産者・育成業者」（47.5%）、「馬主」（9.1%）などの順となっている。
- ▶「相談しないで自分で決める」は13.6%。
- ▶「その他」には、「親族、乗馬クラブ」などが挙がっている。

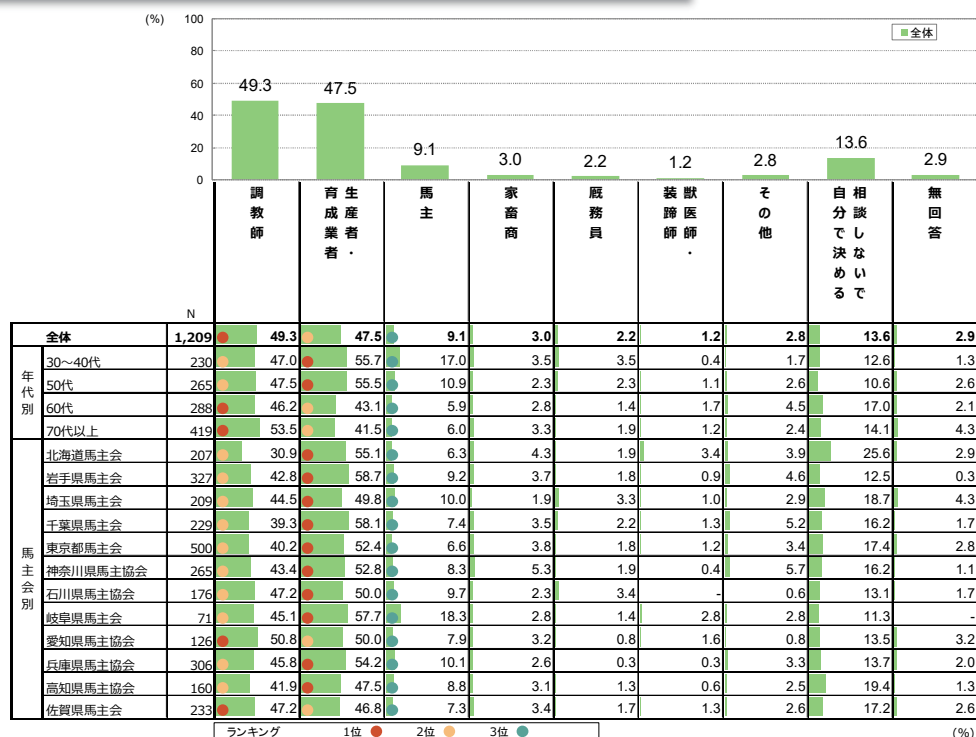
【年代】

- ▶『50代以下』は、「生産者・育成業者」が最も高く、以下「調教師」、「馬主」などの順となっている。『60代以上』は、「調教師」が最も高く、以下「生産者・育成業者」、「馬主」などの順となっている。
- ▶「生産者・育成業者」は、『30～40代』は55.7%、『50代』は55.5%、『60代』は43.1%、『70代以上』は41.5%となっており、年代が下がるほど、「生産者・育成業者」が高い。

【所属馬主会】

- ▶『愛知県馬主協会』、『佐賀県馬主会』は、「調教師」が最も高く、以下「生産者・育成業者」、「馬主」などの順となっている。
- ▶その他の馬主会は、「生産者・育成業者」が最も高く、以下「調教師」、「馬主」などの順となっている。
- ▶『北海道馬主会』は、「相談しないで自分で決める」が25.6%で、4人に1人は相談せずに、自分で決めている。

【図表Ⅲ-46 繁殖に供したいと考えた場合の相談相手】



乗馬に転用させたいと考えた場合の対応方法

【すべての方に】

問 47 乗馬に転用させたいと考えた場合は、どのような対応をしていますか。(予定も含む) (〇はいくつでも)

- ▶乗馬に転用させたいと考えた場合の対応について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」(80.9%)が最も高く、以下「自分のルートで、直接乗馬クラブなどへ手配する」(22.1%)、「家畜商を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」(6.5%)などの順となっている。
- ▶「その他」には、「生産者、育成事業者」などが挙がっている。

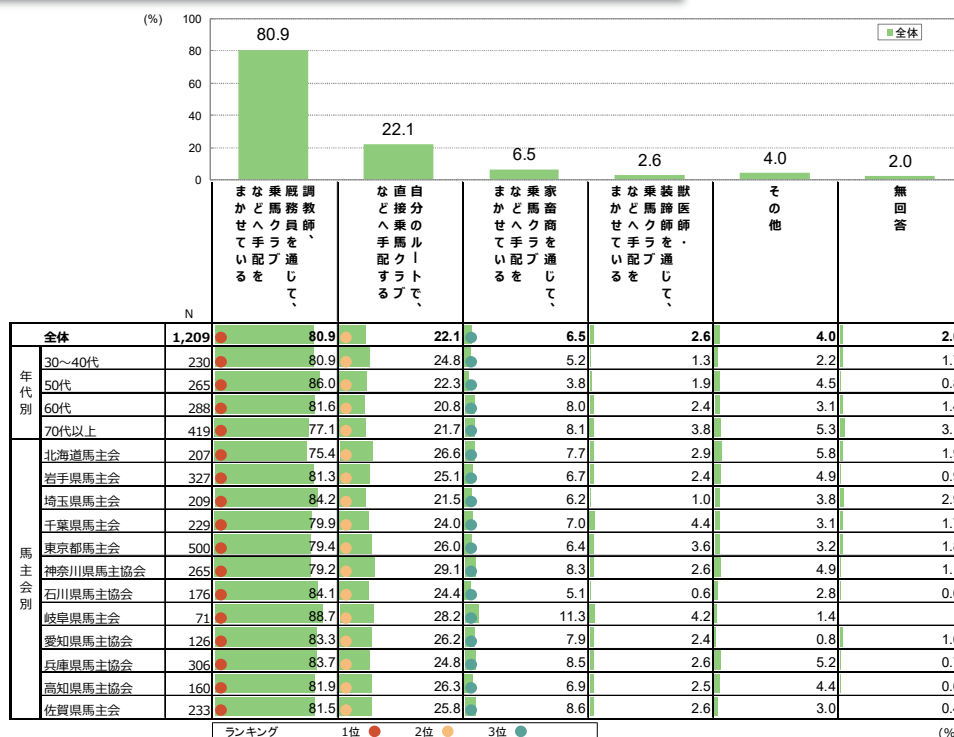
【年代】

- ▶いずれの年代も、「調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」が最も高く、以下「自分のルートで、直接乗馬クラブなどへ手配する」、「家畜商を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」などの順となっている。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」が最も高く、以下「自分のルートで、直接乗馬クラブなどへ手配する」、「家畜商を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている」などの順となっている。

【図表III-47 乗馬に転用させたいと考えた場合の対応方法】



引退後の
利活用について

乗馬に転用させたいと考えた場合の障害

【すべての方に】

問 48 乗馬に転用したいと考えた時に、乗馬に転用できなかった場合について、その際の理由、障害となった事項はどんなことでしたか。(○はいくつでも)

- ▶乗馬に転用したいと考えた時に、乗馬に転用できなかった場合の理由および障害となった事項について、複数回答で聞いたところ、『全体』で「馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった」(27.3%)が最も高く、以下「馬の気性が荒く、乗馬に向かなかった」(18.1%)、「転用する際のルート、方法を知らなかった」(14.1%)などの順となっている。
- ▶「特に障害はなかった」は33.2%。

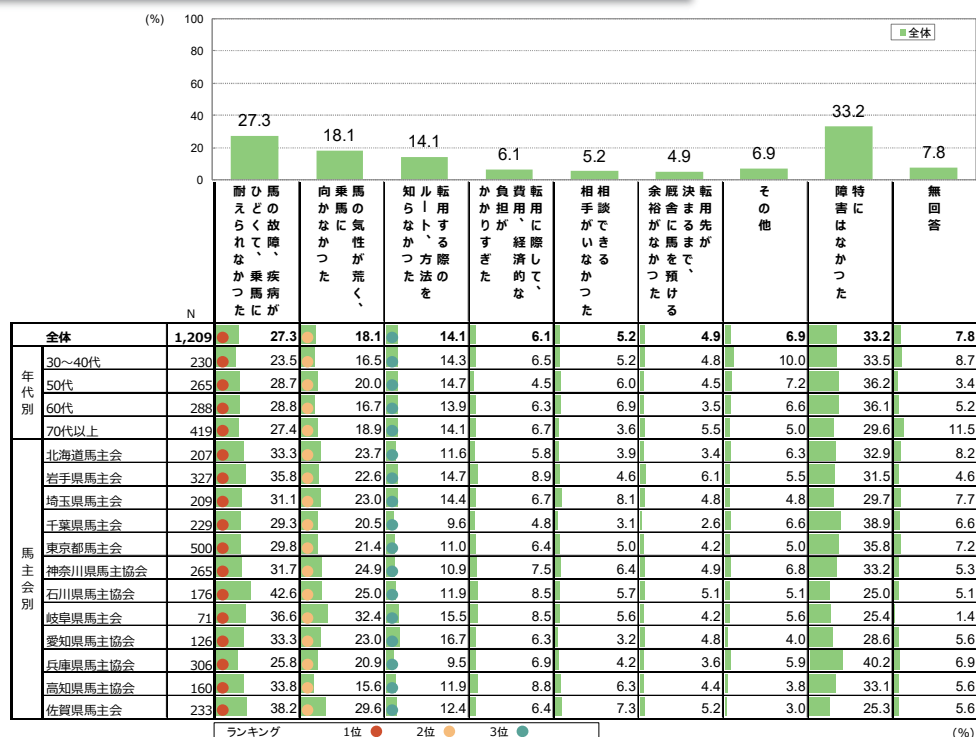
【年代】

- ▶いずれの年代も、「馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった」が最も高く、以下「馬の気性が荒く、乗馬に向かなかった」、「転用する際のルート、方法を知らなかった」などの順となっている。

【所属馬主会】

- ▶いずれの馬主会も、「馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった」が最も高く、以下「馬の気性が荒く、乗馬に向かなかった」、「転用する際のルート、方法を知らなかった」などの順となっている。

【図表Ⅲ-48 乗馬に転用させたいと考えた場合の障害】



所有馬が乗馬に転用になった場合の関心

【すべての方に】

問 49 所有馬が、乗馬に転用になった場合のその後について関心がありますか。(○は1つだけ)

▶所有馬が、乗馬に転用になった場合のその後について聞いたところ、『全体』で「大いに関心がある」が25.6%、「少し関心がある」が32.8%となっており、合わせた「関心がある・計」は58.4%であった。一方、「関心はない・計」(「あまり関心はない」+「全く関心はない」)は、23.9%であった。

【年代】

▶「関心がある・計」は、『30~40代』で63.0%、『50代』で66.4%、『60代』で53.1%、『70代以上』で55.1%となっており、『50代以下』は、それ以上の年代と比べて高い。

【所属馬主会】

▶「関心がある・計」は、『東京都馬主会』、『神奈川県馬主協会』、『岐阜県馬主会』、『愛知県馬主協会』、『兵庫県馬主協会』、『高知県馬主協会』で6割台、その他の馬主会で5割台となっている。

【図表III-49 所有馬が乗馬に転用になった場合の関心】

		N	大いに 関心がある	少し 関心がある	どちらとも いえない	あまり 関心はない	全く 関心はない	無回答	関心 がある・計	関心 はない・計
全体		1,209	25.6	32.8	16.3	17.9	6.0	1.4	58.4	23.9
年代別	30~40代	230	37.8	25.2	17.0	13.0	5.2	1.7	63.0	18.3
	50代	265	29.4	37.0	15.5	13.6	4.2	0.4	66.4	17.7
	60代	288	21.5	31.6	18.4	21.5	5.6	1.4	53.1	27.1
	70代以上	419	19.6	35.6	15.0	20.5	7.4	1.9	55.1	27.9
馬主会別	北海道馬主会	207	22.7	32.9	21.7	17.4	4.3	1.0	55.6	21.7
	岩手県馬主会	327	24.8	34.3	16.2	16.8	6.7	1.2	59.0	23.5
	埼玉県馬主会	209	23.4	34.9	16.7	18.7	5.3	1.0	58.4	23.9
	千葉県馬主会	229	18.8	37.1	17.9	18.3	7.0	0.9	55.9	25.3
	東京都馬主会	500	25.2	35.6	16.0	17.8	3.8	1.6	60.8	21.6
	神奈川県馬主協会	265	30.6	31.7	18.5	14.0	4.5	0.8	62.3	18.5
	石川県馬主協会	176	18.8	39.8	15.3	15.9	10.2	-	58.5	26.1
	岐阜県馬主会	71	23.9	42.3	14.1	14.1	5.6	-	66.2	19.7
	愛知県馬主協会	126	28.6	38.1	13.5	12.7	5.6	1.6	66.7	18.3
	兵庫県馬主協会	306	28.1	36.6	13.1	15.7	5.2	1.3	64.7	20.9
	高知県馬主協会	160	32.5	33.8	10.0	16.3	7.5	-	66.3	23.8
	佐賀県馬主会	233	26.6	32.2	16.7	18.5	5.2	0.9	58.8	23.6

引退後の
利活用について

地方競馬へのご意見やご要望

【すべての方に】

問 50 地方競馬へのご意見やご要望等がございましたら、ご記入ください。（自由記述欄）

Q50 地方競馬へのご意見やご要望等につきまして、合計 316 件のご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見ご要望につきまして、下記のとおり集計いたしました。主な意見については、地方競馬全国協会より今後の展望等を聞いておりますので、併せて掲載いたします。

【図表Ⅲ-50 地方競馬へのご意見やご要望】

		(%)				
N		賞金・出走手当の改善について	施設・設備について	競走関係について	関係者について	その他
全体	316	29.2	16.5	16.8	11.6	25.9

賞金・出走手当の改善について

Q. 馬代金や預託料の負担軽減のため、賞金や出走手当、着外手当等の拡充をしてほしい。

A. 近年、売上の増加による収益の改善に伴い、各主催者は賞金・諸手当の増額に取り組んでおり、賞典奨励費は増加傾向で推移しています。今後も、全日本的な競走体系の整備や強い馬づくりの推進を図るため、主催者と連携して着実に賞典奨励費の適正化に取り組んで行く必要があると考えています。

施設・設備について

Q. 施設について不十分だと考えており、より馬のためになる環境の整った施設を整備してほしい。

A. これまでの売上の低迷に伴う長年にわたる施設整備の抑制により、現状では施設の老朽化が進んでいますが、近年の売上の増加を踏まえて、多くの主催者は整備計画に基づく施設整備に着手しています。競馬開催や日々の飼養・調教を継続しながらの整備となるため、小刻みに行わざるを得ない状況ですが、地方競馬が将来にわたり安定的に発展していくために必要な取組であり、当協会でも必要な支援を行いながら、主催者の積極的な取組を促していきたいと考えています。

競走関係について

Q. どの世代にも通ずることではあるが、短距離適性の競走馬の目標となる競走が少なく、特に、3歳・古馬牝馬路線ではそれが顕著であることから、より短距離路線の充実を目指し、活躍の場を増やせるようにしてほしい。

A. 昨年発表した「全日本的なダート競走体系の整備」において、3歳三冠競走の創設等と併せて、各世代の短距離路線の体系もしっかりと整備していくことといたしました。具体的には、2・3歳短距離路線については、各主催者・各ブロックにおいて高額賞金の重賞級認定競走（ネクストスター）の新設に加えて、兵庫チャンピオンシップを3歳春季の頂点競走と位置付け、また古馬においては、さきたま杯を短距離競走の頂点に位置付ける等、新しい競走体系を今年後から順次スタートさせます。

関係者について

Q. 厩務員不足が特に目立っており、一人当たりの持ち馬が増えることで愛馬のパフォーマンスにも影響することから、厩務員の待遇改善を目指してほしい。

A. 在厩頭数の増加に比べて、厩務員の確保は進んでおらず、高齢化や労働負荷の増加に伴う人材不足が顕在化しています。将来にわたり地方競馬を発展させ、強い馬づくりを推進するためには、適切な馬の飼養・調教が必要であり、そのために厩舎関係者、とりわけ厩務員の確保が不可欠です。雇用主である調教師の取組に加え、上述の賞典奨励費の増額・適正化を行うとともに、厩舎・宿舎の整備や被用者保険の加入支援等に取り組む必要があると考えています。当協会では、主催者や関係者と課題認識の共有を進めるとともに、厩舎・宿舎の整備に対する助成など、できる限り支援を行ってまいりたいと考えています。

まとめ

また、新馬戦の馬名入りゼッケンの導入についてもご意見・ご要望をいただきましたが、現在、全主催者との調整の結果、今年度中の導入に向けて準備が進められています。

その他にも多くのご意見ご要望をいただきました。地方競馬の益々の発展に資するべく、関係部署に共有のうえ、今後の業務に役立ててまいりたいと考えております。

IV 卷末資料 調査票

アンケートへのご協力をお願い

このたび、地方競馬全国協会では、今後の強い馬づくり事業に繋げていくため、日本地方競馬馬主振興協会の各馬主会の会員である馬主の皆様を対象としたアンケートを実施する運びとなりました。

大変ご多用の折、突然のお願いとなり誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨ご理解の上、ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、皆様のご回答は、統計的数字にまとめ、お名前やご回答内容を、他の目的に利用することは決してございません。

令和4年12月
日本地方競馬馬主振興協会
地方競馬全国協会

<ご回答にあたってのお願い>

- ◆ **法人・組合のいずれの場合も、代表者様にご回答をお願いいたします。**
- ◆ 回答の選択肢(1, 2, 3 …の数字)に○を付けてご回答下さい。複数回答が可能な質問(○はいくつでも)は、指示に従ってお答え下さい。また、「その他()」等の箇所は具体的な内容をご記入ください。
- ◆ 調査票や返信用封筒には、お名前をご記入いただく必要はありません。

お手数ですが、ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒にて、
2023年1月6日(金)までにご投函下さい。
お名前の記入、切手は不要です。

【調査主体】

一般社団法人 日本地方競馬馬主振興協会
〒140-0012 東京都品川区勝島 2-1-2
ホームページ <http://www.nichibashin.com/>

地方競馬全国協会

〒106-8639 東京都港区麻布台 2-2-1
ホームページ <https://www.keiba.go.jp/>



【調査事務局】

株式会社日本リサーチセンター
〒130-0022 東京都墨田区江東橋 4-26-5
ホームページ <https://www.nrc.co.jp>

日本リサーチセンター
Member of WIN and Gallup International Association



お問い合わせ電話 0120-922-526 (通話料無料)

受付時間 平日 10時~12時/13時~17時(土日祝祭日、12/29~1/4を除く)

あなたに関することをお伺いします

【すべての方に】

問1 あなたの年齢についてお知らせください。(○は1つだけ)

1	20代	2	30代	3	40代	4	50代	5	60代	6	70才以上
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-------

【すべての方に】

問2 あなたの性別についてお知らせください。(○は1つだけ)

1	男性	2	女性
---	----	---	----

【すべての方に】

問3 あなたの職業についてお知らせください。(○は1つだけ)

1	自営業	2	会社役員	3	会社員	4	公務員	5	自由業	6	その他
---	-----	---	------	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

【問3で「1 自営業」または「2 会社役員」とお答えの方に】

問4 問3でご回答いただいた職業の業種についてお知らせください。(○は1つだけ)

1	農林水産業	3	建設業	5	サービス業	7	その他
2	製造業	4	不動産業	6	卸売・小売業		

【すべての方に】

問5 あなたは、軽種馬の生産、育成、販売等の業務に関係されていますか。(○はいくつでも)

1	生産関係に従事	2	育成関係に従事	3	販売関係に従事	4	いずれにも従事していない
---	---------	---	---------	---	---------	---	--------------

【すべての方に】

問6 あなたは、どの馬主会に所属されていますか。(○はいくつでも)

1	北海道馬主会	5	東京都馬主会	9	愛知県馬主協会
2	岩手県馬主会	6	神奈川県馬主協会	10	兵庫県馬主協会
3	埼玉県馬主会	7	石川県馬主協会	11	高知県馬主協会
4	千葉県馬主会	8	岐阜県馬主会	12	佐賀県馬主会

馬主の経歴などについてお伺いします

【すべての方に】

問7 あなたは、地方競馬の馬主歴は何年になりますか。(○は1つだけ)

1	2年未満	3	5年以上～10年未満	5	20年以上
2	2年以上～5年未満	4	10年以上～20年未満		

【すべての方に】

問8 馬主の登録としては、あなたは、次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

1	個人馬主	2	法人馬主	3	組合馬主
---	------	---	------	---	------

【すべての方に】

問9、10 現在の地方競馬に所属する所有馬は何頭ですか。(○は1つだけ)

問9 専有の競走馬について

1	1頭	3	5～9頭	5	15～19頭	7	現在はいない
2	2～4頭	4	10～14頭	6	20頭以上		

問10 共有の競走馬について

1	1頭	3	5～9頭	5	15～19頭	7	現在はいない
2	2～4頭	4	10～14頭	6	20頭以上		

【すべての方に】

問 11 あなたが、馬主になろうと思われた動機は何でしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 馬が好き | 6 馬の成長をみるのが楽しいから |
| 2 競馬が好き | 7 自分で生産した馬を走らせたい |
| 3 名誉が得られる | 8 親族から引き継いだため |
| 4 多額の賞金が取得できる可能性がある | 9 友人等に勧められたため |
| 5 人との交流が深まり楽しいから | 10 その他() |

【すべての方に】

問 12 あなたは、中央競馬の馬主登録をされていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 登録をしている | 2 登録をしていない |
|-----------|------------|

【問 12 で「1 登録をしている」とお答えの方に】

問 13、14 現在の中央競馬に所属する所有馬は何頭ですか。(〇は1つだけ)

問 13 専有の競走馬について

- | | | | |
|--------|----------|----------|----------|
| 1 1頭 | 3 5～9頭 | 5 15～19頭 | 7 現在はいない |
| 2 2～4頭 | 4 10～14頭 | 6 20頭以上 | |

問 14 共有の競走馬について

- | | | | |
|--------|----------|----------|----------|
| 1 1頭 | 3 5～9頭 | 5 15～19頭 | 7 現在はいない |
| 2 2～4頭 | 4 10～14頭 | 6 20頭以上 | |

【すべての方に】

問 15 あなたは、クラブ法人(愛馬会)の会員となっていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 会員になっている | 2 会員になっていない |
|------------|-------------|

【すべての方に】

問 16 あなたは、今後も馬主として競走馬を所有していく考えをお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------------------|-----------------|-----------|
| 1 馬主を続けていこうと考えている | 2 馬主をやめようと考えている | 3 何とも言えない |
|-------------------|-----------------|-----------|

地方競馬が実施している事業についてお伺いします

【すべての方に】

問 17 あなたは、2022年6月に発表された3歳三冠競走ならびに11月に発表された新しい競走体系について、どう思われますか。(〇は1つだけ)

- | | | | | |
|------------|-----------|-------------|------------|-----------|
| 1 とても興味がある | 2 少し興味がある | 3 どちらともいえない | 4 あまり興味がない | 5 全く興味がない |
|------------|-----------|-------------|------------|-----------|

【すべての方に】

問 18 問 17 の発表を受けて、地方競馬に競走馬を入厩させようと思いませんか。(〇は1つだけ)

- | | | | | |
|-----------|--------|-------------|-------------|------------|
| 1 とてもそう思う | 2 そう思う | 3 どちらともいえない | 4 あまりそう思わない | 5 全くそう思わない |
|-----------|--------|-------------|-------------|------------|

【すべての方に】

問 19 あなたは、主催者・地方競馬全国協会が行っている下記の出走奨励金・褒賞金等の施策(詳細は 8～9 ページ)についてご存じですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 ダートグレード競走褒賞金 | 7 国際競走出走奨励金 |
| 2 ダービーシリーズ出走奨励金 | 8 2歳 DG 出走奨励金 |
| 3 グランダム・ジャパン ボーナス賞金・ファイナル褒賞金 | ・2歳チャンピオンシリーズ褒賞金(未来優駿) |
| 4 3歳競走活性化褒賞金(ダービーグランプリ) | 9 優良2歳馬導入促進事業(2歳競走付加賞金) |
| 5 短距離競走活性化褒賞金(スーパースプリントシリーズ) | 10 いずれも知らない |
| 6 JBC 出走奨励金 | |

【すべての方に】

問 20 優良 2 歳馬導入促進事業は 2 歳競走に付加賞金を交付する事業ですが、付加賞金が交付されることで地方競馬に 2 歳馬を入厩させようと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 とてもそう思う 2 そう思う 3 どちらともいえない 4 あまりそう思わない 5 全くそう思わない

【すべての方に】

問 21 グランダム・ジャパンは世代別牝馬重賞シリーズのポイント獲得上位馬の馬主・調教師に対し、ボーナス賞金を交付する事業ですが、牝馬競走へボーナス賞金が交付されることで、牝馬を入厩させようと思いますか。
(○は1つだけ)

- 1 とてもそう思う 2 そう思う 3 どちらともいえない 4 あまりそう思わない 5 全くそう思わない

【すべての方に】

問 22 国際競走出走奨励金は、地方所属馬が海外重賞に出走した場合、出走奨励金として最大 500 万円を交付する事業ですが、奨励金が交付されることで、国際競走へ出走させようと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 とてもそう思う 2 そう思う 3 どちらともいえない 4 あまりそう思わない 5 全くそう思わない

幼駒(当歳、1 歳及び 2 歳の競走未経験馬)の購入方法などについてお伺いします

【すべての方に】

問 23 あなたは、幼駒の情報を、主にどのようにして取得しますか。(○はいくつでも)

- 1 生産牧場や育成牧場等を巡り、自ら積極的に情報を取得する
2 せり市場等に参加して、自ら積極的に情報を取得する
3 生産、育成牧場等の関係者から情報を取得する
4 家畜商から情報を取得する
5 調教師から情報を取得する
6 その他

【すべての方に】

問 24 あなたが、幼駒を購入する際、主にどなたと相談されますか。(○はいくつでも)

- 1 生産牧場関係者 3 家畜商 5 その他()
2 育成牧場関係者 4 調教師 6 誰とも相談しない

【すべての方に】

問 25 あなたが、幼駒を購入する際、主にどのような方法で購入されますか。(○はいくつでも)

- 1 市場(セリ、トレーニングセール等) 3 庭先取引で
2 家畜商を通じて 4 その他()

【すべての方に】

問 26 あなたが、購入する幼駒の平均的な価格帯をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 100 万円未満 4 500 万～ 700 万円未満
2 100 万～300 万円未満 5 700 万～1,000 万円未満
3 300 万～500 万円未満 6 1,000 万円以上

【すべての方に】

問 27 あなたが、幼駒を購入する際、実馬を見て購入されていますか。(○は1つだけ)

- 1 必ず見て購入している 3 あまり見ないで購入している
2 その時々による 4 全く見ないで購入している

【すべての方に】

問 28 あなたが、馬主の立場から見て、幼駒の販売情報が十分提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 とてもそう思う 2 そう思う 3 どちらともいえない 4 あまりそう思わない 5 全くそう思わない

現役の競走馬を購入する場合についてお伺いします

【すべての方に】

問 29 あなたは、現役の競走馬を購入されることはありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 よく購入する | 2 たまに購入する | 3 購入しない |
|----------|-----------|---------|
- 問 36 にお進みください

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 30 主に何歳の競走馬を購入されますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------|------|--------|--------|
| 1 2歳 | 2 3歳 | 3 4～6歳 | 4 7歳以上 |
|------|------|--------|--------|

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 31 主にどこの所属の競走馬を購入されますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 中央競馬 | 3 中央・地方競馬の所属のどちらでも |
| 2 地方競馬(競馬場名:) | |

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 32 購入方法は、主にどのようにされていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|----------|
| 1 ネットオークションを通じて | 3 馬主と直接交渉して | 5 その他() |
| 2 調教師等を介して | 4 家畜商を通じて | |

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 33 あなたが、購入する現役競走馬の平均的な価格帯をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|------------------|-------------|
| 1 50万円未満 | 4 200万～300万円未満 | 7 1,000万円以上 |
| 2 50万～100万円未満 | 5 300万～500万円未満 | |
| 3 100万～200万円未満 | 6 500万～1,000万円未満 | |

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 34 幼駒を購入する場合と比較して、現役の競走馬を購入する魅力はどこにありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 競走成績から今後の活躍が見込めるから |
| 2 競走成績から能力、癖、体質などよくわかるから |
| 3 育成途中の故障などのリスクが少ないから |
| 4 すぐ出走させることができ、比較的成本が安くつくから |
| 5 幼駒を購入する場合に比べて、馬の価格が比較的廉価であるから |
| 6 馬が競馬場及びその近隣にいるため身近な存在で、比較的購入しやすいから |
| 7 その他() |

【問 29 で「1 よく購入する」または「2 たまに購入する」とお答えの方に】

問 35 あなたは、現役の競走馬の販売希望馬情報を、主に誰から得ていますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 地方競馬馬主 | 5 地方競馬厩務員 | 8 生産者・育成業者 |
| 2 中央競馬馬主 | 6 中央競馬厩務員 | 9 ネットオークション |
| 3 地方競馬調教師 | 7 家畜商 | 10 その他 |
| 4 中央競馬調教師 | | |

【すべての方に】

問 36 あなたが、馬主の立場から見て、現役競走馬の販売希望馬情報は十分に提供されていると思いますか。

(○は1つだけ)

- | | | | | |
|-----------|--------|-------------|-------------|-------------|
| 6 とてもそう思う | 7 そう思う | 8 どちらともいえない | 9 あまりそう思わない | 10 全くそう思わない |
|-----------|--------|-------------|-------------|-------------|

所有馬を他場へ転厩させる場合についてお伺いします

【すべての方に】

問 37 他場に所有馬を転厩させることについて、あなたは、どのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 積極的に転厩させたい | 4 あまり転厩させたくない |
| 2 転厩させたい | 5 転厩させたくない |
| 3 どちらともいえない | |

【すべての方に】

問 38 他場に所有馬を転厩させる場合、あなたは、引き続き当該馬を所有されますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 引き続き馬主として所有する | 3 その時々による |
| 2 他場に転厩させる場合は転売する | |

【すべての方に】

問 39 他場に所有馬を転厩させる場合、あなたは、主にどなたと相談して決めますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1 管理調教師 | 3 獣医師、装蹄師 | 5 馬主 |
| 2 厩務員 | 4 家畜商 | 6 生産者・育成業者 |
| | | 7 その他 |

【すべての方に】

問 40 あなたは、各地の地方競馬場の転入条件等について、どの程度ご存知ですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|---------|------------|-----------|
| 1 よく知っている | 2 知っている | 3 あまり分からない | 4 全く分からない |
|-----------|---------|------------|-----------|

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録している」とお答えの方に】

問 41 地方競馬に転入するにあたり、あなたはどのようなことを最も重視されますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|------------|
| 1 本賞金 | 3 調教施設 | 5 厩舎関係者の人材 |
| 2 出走手当 | 4 厩舎施設 | 6 その他() |

【問 12 で中央競馬の馬主登録を「1 登録している」とお答えの方に】

問 42 どのような点が改善されれば、転入を考えられますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|------------|
| 1 本賞金 | 3 調教施設 | 5 厩舎関係者の人材 |
| 2 出走手当 | 4 厩舎施設 | 6 その他() |

あなたの所有馬を競走から引退させる場合、その後の利活用等についてお伺いします

【すべての方に】

問 43 最近、あなたの所有馬を競走から引退させた後に、どのように利活用されましたか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------|----------|----------------|
| 1 繁殖供用 | 3 廃用 | 5 まだ引退させた馬はいない |
| 2 乗馬 | 4 その他() | |

【すべての方に】

問 44 あなたは、競走馬引退後の利活用について、どのようにお考えですか。(〇はいくつでも)

- | |
|------------------------|
| 1 できるだけ繁殖に供したい |
| 2 できるだけ乗馬に転用したい |
| 3 廃用も含め一番収入のある方法で対応したい |
| 4 その他() |
| 5 引退後については、あまり関心がない |

【すべての方に】

問 45 引退後の転用先について、あなたは、主にどなたにご相談されますか。(予定も含む) (〇はいくつでも)

- | | | | |
|-------|-----------|------------|----------------|
| 1 馬主 | 3 厩務員 | 5 家畜商 | 7 その他() |
| 2 調教師 | 4 獣医師・装蹄師 | 6 生産者・育成業者 | 8 相談しないで自分で決める |

【すべての方に】

問 46 繁殖に供したいと考えた場合、あなたは、主にどなたにご相談されますか。(予定も含む) (〇はいくつでも)

- | | | | |
|-------|-----------|------------|----------------|
| 1 馬主 | 3 厩務員 | 5 家畜商 | 7 その他() |
| 2 調教師 | 4 獣医師・装蹄師 | 6 生産者・育成業者 | 8 相談しないで自分で決める |

【すべての方に】

問 47 乗馬に転用させたいと考えた場合は、どのような対応をしていますか。(予定も含む) (〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1 自分のルートで、直接乗馬クラブなどへ手配する |
| 2 調教師、厩務員を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている |
| 3 獣医師・装蹄師を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている |
| 4 家畜商を通じて、乗馬クラブなどへ手配をまかせている |
| 5 その他() |

【すべての方に】

問 48 乗馬に転用したいと考えた時に、乗馬に転用できなかった場合について、その際の理由、障害となった事項はどんなことでしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 転用する際のルート、方法を知らなかった | 5 馬の気性が荒く、乗馬に向かなかった |
| 2 相談できる相手がいなかった | 6 馬の故障、疾病がひどくて、乗馬に耐えられなかった |
| 3 転用に際して、費用、経済的な負担がかかりすぎた | 7 その他() |
| 4 転用先が決まるまで、厩舎に馬を預ける余裕がなかった | 8 特に障害はなかった |

【すべての方に】

問 49 所有馬が、乗馬に転用になった場合のその後について関心がありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 大いに関心がある | 4 あまり関心はない |
| 2 少し関心がある | 5 全く関心はない |
| 3 どちらともいえない | |

【すべての方に】

問 50 地方競馬へのご意見やご要望等がございましたら、ご記入ください。(自由記述欄)

～ご協力ありがとうございました～

問 19 別紙

(1)ダートグレード競走褒賞金

- ・対象競走 GI・Jpn I 競走：全競走
その他の競走：ブリーダーズゴールドカップ、浦和記念、白山大賞典、名古屋グランプリ、兵庫チャンピオンシップ、黒船賞、佐賀記念
- ・支給対象 GI・Jpn I 競走：地方競馬最先着馬（馬主）
その他の競走：○着以内（※）の地方競馬最先着馬（馬主）
※要綱等に定められた JRA 所属馬の出走可能頭数により、以下のとおり設定する。（JRA 所属馬 1 頭には先着の趣旨）
4 頭の競走：4 着以内、5 頭の競走：5 着以内
- ・支給額 GI・Jpn I 競走＝200 万円、その他の競走＝100 万円
※JBC3 競走については JBC 協会より「JBC プレミアム」が支給されるため、100 万円の支給とする。

(2)ダービーシリーズ出走奨励金

- ・対象競走 ジャパンダートダービー
- ・支給対象 ダービーシリーズ優勝馬が出走した場合（馬主）
- ・支給額 100 万円

(3)グランダム・ジャパンファイナル褒賞金

- ・対象競走 関東オークス、レディスプレリュード
- ・支給対象 地方競馬最先着馬（馬主）
- ・支給額 100 万円

(4)3歳競走活性化褒賞金

- ・対象競走 ダービーグランプリ
- ・支給対象 別に定める要件を満たした馬が優勝した場合（馬主）
- ・支給額 （下表記載）

[表]

区分	ボーナス対象競走及び要件	褒賞金額
A	JDD（大井）最先着地方馬、黒潮盃（大井）の1着馬	10,000,000円
B	王冠賞（北海道）、戸塚記念（川崎）、園田オータムトロフィー（園田）、岐阜金賞（笠松）、西日本ダービー（園田）、不來方賞（盛岡）、黒潮菊花賞（高知）の1着馬 ※上記区分Aに該当する馬を除く。	8,000,000円
C	サラブレッド大賞典（金沢）、ロータスクラウン賞（佐賀）の1着馬 ※上記区分A又はBに該当する馬を除く。	5,000,000円

(5)短距離競走活性化褒賞金

- ・対象競走 習志野きらっとスプリント
- ・支給対象 スーパースプリントシリーズトライアル1着馬が優勝した場合（馬主）
- ・支給額 100万円

(6)JBC 出走奨励金

- ・対象競走 JBC3競走（JBCレディスクラシック・JBCスプリント・JBCクラシック）
- ・支給対象 Road to JBC4競走（日本テレビ盃、東京盃、レディスプレリュード、マイルチャンピオンシップ南部杯）の3着以内かつ地方最先着馬、またはダービーグランプリ1着馬が上記JBC3競走のいずれかに出走した場合。（地方所属馬に限る）
- ・支給額 Road to JBC4競走=100万円、ダービーグランプリ=200万円

(7)国際競走出走奨励金

地方競馬で行われるDG競走及びJRAで行われる重賞競走で1着となった地方所属馬、地方所属時に獲得したレーティングが100以上の地方所属馬又は競走実施主催者から招待された地方所属馬が国際セリ名簿基準書（インターナショナルカタログギングスタンダードズ）の定めるPart Iの海外重賞及び理事長が特に認めるPart II・Part IIIの海外重賞に出走した場合、出走奨励金として、登録料・輸送費・交通費部分のうち、現に馬主が支払いを行った費用について予算の範囲内で支援する。

- ・支給額 登録料・輸送費・関係者の交通費について最大500万円×3頭を原則とする

(8)2歳競走振興のための2歳 DG 競走出走奨励金

ダートの2歳～3歳クラシック競走の価値と魅力の向上を図り、全日本2歳優駿等のDG競走を中心としたダート2歳競走の振興、さらに「地方競馬における強い馬づくり計画」に掲げる2歳馬の地方競馬への入厩促進、生え抜きの有力馬の輩出を推進するため、2歳の地方競馬有力馬（「未来優駿」の内指定した8競走の勝馬、2歳DG競走地方最先着馬）の2歳DG競走の出走促進を支援することとし、該当馬の馬主に対して出走奨励金を支給する。

【内訳】

- ①未来優駿競走（8競走）勝ち馬=8,000,000円（1頭あたり1,000,000円 ※最大8頭）
- ②2歳DG競走地方最先着馬（5着以内）=12,000,000円（1頭あたり2,000,000円 ※最大6頭）

対象	エーデルワイス賞	JBC2歳優駿	兵庫ジュニアGP	全日本2歳優駿
① 未来優駿勝ち馬	上記DG競走いずれか1Rのみ支給対象			
②-1 エーデルワイス賞最先着馬	—	支給対象	支給対象	支給対象
②-2 JBC2歳優駿最先着馬	—	—	支給対象	支給対象
②-3 兵庫ジュニアGP 最先着馬	—	—	—	支給対象

※①対象競走：ゴールドジュニア（大井）、サンライズカップ（門別）、鎌倉記念（川崎）、兵庫若駒賞（園田）、ゴールドウイング賞（名古屋）、平和賞（船橋）、南部駒賞（盛岡）、ハイセイコー記念（大井）

